

社会福祉法人宝山寺福祉事業団平成 30 年度事業報告

法人本部

平成 30 年度は、新たな法人体制を定着化し事業の安定的な運営と今後の課題について検討を進める年度であった。4 月 1 日付けで新しくあすかの保育園園長、老人総合福祉施設あくなみ苑施設長、こども支援センターあすなろセンター長が着任するとともに、いこまこども園に副園長が、梅寿荘に事務長が新しく選任されそれぞれの陣容を整えてスタートがきられた。会計監査人による法定監査も着実に実施され法人ガバナンスの見直しも進めることができつつある。生駒市の保育園待機児対策の一環としてのいこまこども園乳所保育棟の整備については、入札不調となるなど建築業界の情勢に苦慮したが、なんとか年度内に形を整えることができた。また極楽坊保育園については隣接する奈良市立飛鳥幼稚園との統合化に向けて市との具体的な協議の緒につくことができ大きな展望が開けてきた。一方、児童発達支援事業として奈良市からの指定管理を受託している児童発達支援いっぽについては、市の総合センター整備計画に伴って契約年限の前倒しの申出があり、今後の大きな宿題となっている。また、奈良県からの受託事業である奈良県発達障害者支援センターでいあーは、奈良県社会福祉事業団障害者総合支援センターの一面に移転し新たな歩みをふみだした。高齢者部門の各施設は報酬単価の改正に対応したサービスの提供や施設、在宅を問わず多様なサービスの提供に取り組んでいる。

1. 法人の概況

定款に定める社会福祉事業として児童養護施設愛染寮をはじめ第一種社会福祉事業 8 施設、極楽坊保育園をはじめとする第二種社会福祉事業 29 の事業を実施している、また公益事業として生駒市梅寿荘地域包括支援センターをはじめとする 6 の公益事業を標榜しておりこの中には福祉の増進を目的とする基金運営事業としての福祉基金、ひめゆり基金も含まれている。

実施している事業のうち七町広域組合の設置によるあくなみ苑、生駒市デイセンター寿楽、デイセンター憩の家、奈良市児童発達支援事業いっぽ、奈良県発達障害支援センターでいあーの四事業はそれぞれ所管の行政庁からの指定管理であり、生駒市梅寿荘地域包括支援センターは行政からの事業委託である。

- (1) 法律顧問等の状況については、法律顧問を山本純弥弁護士、人事・労務管理等の顧問に社会保険労務士法人フォーシーズン堀内洋典社会保険労務士を委嘱している。財務・会計等の顧問については税理士法人谷野会計事務所に適宜に適切なアドバイスと対応をお願いしている。

- (2) 職員の状況（平成 31 年 3 月 31 日現在）

職員の総数は、正規職員 360 名、常勤契約職員 87 名、パート 278 名、その他 1 名の合計 726 名となっている。

児童部門：正規職員 195 名、常勤契約職員 32 名、パート 90 名、その他 1 名。計 318 名

高齢部門：正規職員 165 名、常勤契約職員 55 名、パート 188 名。
計 408 名

(3) 施設長等幹部職員の新任状況

＜30 年 4 月 1 日付就任＞

あくなみ苑総合施設長 田中将史氏

あすかの保育園園長 小林美香氏

児童発達支援センターあすなろセンター長 西野敦氏

いこまこども園副園長 西浦正翁氏

梅寿荘事務長 東口謙氏

2. 役員会等の開催

5・28 監事監査、会計監査人彌榮会計社並びに法人監事。何れも適正意見。

6・12 理事会（事業報告、監査報告、決算の承認、職務執行状況報告、定款変更、経理規程その他諸規定の改正、理事の補充選任候補者の推薦、定時評議員会の開催について、会計監査人の選任及び契約、いこまこども園の定員増及び増築計画、その他）

6・27 定時評議員会（事業報告・決算の承認議決、職務執行状況報告、定款変更、監事の選任議決、理事の選任議決）

12・10 理事会（第一次補正予算の承認、就業規則の改正、上半期事業の概要報告、職務執行状況報告等）

3・20 理事会（第二次補正予算の承認、31 年度事業計画、当初予算案の承認、就業規則の改正、施設長人事案件の承認、法人苦情等対策委員改選、職務執行状況報告、その他報告事項、永年勤続表彰等）

3. 法人本部の体制等

（本部会議の開催）

理事長並びに副理事長（総務）、企画、庶務、財務、人事・研修の 5 部長による本部会議は原則月一回開催することとして、計 12 回実施した。

（月曜会及び部門会議の開催）

理事長並びに各施設長による幹部会議（月曜会）は計 40 回実施し課題と情報の共有化を図った。部門特有の課題の検討のため児童、高齢それぞれの部門会議は計 9 回開催した。

(法人苦情等対策委員会の開催)

3月4日に年間を通じた各施設の苦情対応に関する報告と検討の委員会を開催。
谷口誠委員長他委員4名、理事長、各部長が出席。

あすかの保育園小林園長、あすなろ西野センター長が代表して苦情の受付と対応状況を説明。質疑応答のあと適切に対応できているとの講評を得た。なお3月20日開催の理事会において任期満了に伴う委員の改選が行われ上田利雄、中尾高章両委員に代わって谷川義明、小川千恵里委員が選任された。

(会計監査人の往査等の状況)

監査法人彌榮会計社と平成30年6月30日付けで30年度の監査契約を締結。658時間の監査時間。8月3日、9月14日、11月2日、11月17日、1月10日に法人本部及び関係施設での往査実施。法人監事とのコミュニケーションも実施され財務の状況、その他規定の整備状況などのチェック指導を受けた。

(職員の人事案件等について)

理事長、副理事長が各施設の個別の運営状況の把握と職員の配置計画等の検討のために各施設長から人事等のヒアリング(1・24,28、2・4,6)を行い、必要な検討を行い施設間の人事異動を実施した。

4. 研修会等の開催

法人本部並びに研修委員会の企画運営による法人独自の研修会は、新採用職員研修、新任管理職を対象とした管理研修(5・11)の他、恒例の年頭幹部連絡会(1・18)を開催。各施設長並びに幹部職員を対象に「新しい年の心構え」～法人の基本理念とサービス提供の基本原則～をテーマに、理事長が今年の干支己亥の漢字の意味の解説を交えチャレンジャーとして福祉サービスの提供に取り組む姿勢を強調して研鑽を深めた。また研修委員会として下記の研修を実施し、職員の資質向上に努めた。その他、年度初め(4・2,3,5,7,)には理事長がすべての施設に出向いて法人の事業方針を説明し重要課題等について必要な訓示を行った。

<階層別研修>

①ステップアップ研修(7月5日)

テーマ:「アセスメントの基礎」

対象:初級～中級 参加者数17名

②主任研修(9月6日、10月11日、11月29日)

テーマ:「元興寺と宝山寺福祉事業団の福祉」「人事考課」、「リスクマネジメント」、

「福祉の最新トピックス」

対象：主任を目指す職員 参加者数 18 名

③新採用職員研修（平成 31 年 3 月 26 日・27 日）

テーマ：「コンプライアンス」、「リスクの理解」、「理解力・伝達力」、「接遇・マナー」

対象：新採用職員 正規職員 28 名 契約職員 15 名 基礎研修 5 名

④ 内定者研修（平成 31 年 2 月 26 日）

テーマ：「社会人になるにあたって」、「SNS の利用について」

対象：平成 30 年度採用内定者 参加者数 19 名

<テーマ別研修>

① 研究発表会ポスター発表（平成 30 年 1 月 27 日）

発表数：16 発表（事前に発表内容、発表方法等を委員会で検討、研修を実施）

<栄養士、調理員等の研修>

① 衛生管理研修会（6 月 1 日）

会場：セイセイビル会議室

テーマ：「みんなで防ごう食中毒」

講師：木村恒太氏 サラヤ（株）メディカル事業部大阪支店課長

対象：給食関係職員他 参加者数 40 名

② 調理実習研修会（11 月 10 日）

会場：南コミュニティセンターせせらぎ調理実習室

テーマ：「野菜を使った料理～献立のバリエーションを増やそう～」

対象：栄養士、調理師他 参加者数 22 名

③ 栄養士研修会（2 月 22 日）

会場：料亭「菊水楼」

テーマ：「今年度の振り返りと次年度の取り組みについて」

対象：栄養士 参加者数 12 名

<第 22 回法人研究発表会>

1 月 27 日 生駒市コミュニケーションセンターにて

「学びを実践に」～エンジョイ・エブリデイ～をテーマに児童部門 3 施設（児童養護施設愛染寮、あすかの保育園、いこまこども園）が発表。武庫川女子大学発達臨床心

理学研究所研究員才村眞理教授に講評をいただいた。第二部記念講演では「さわむらしげはるとにこにこ楽団」～笑顔がつながる うたあそび・おとあそび～で会場が一体となって楽しんだ。またロビーでは16のポスターセッションがあり多くの質疑や意見交換がなされていた。

5. 国際交流

全社協第35期アジア社会福祉従事者研修研修生としてタイ王国からウィラシニー・ゼーペー女史の施設実習を受け入れ（10・1～1・18）各施設が交流を深めた。また、5月28日にはアジア福祉教育財団が毎年招聘しているアジア諸国の社会福祉担当政府幹部の視察研修先として仔鹿園がその受け入れを行った。

法人に事務局を置いている日本スリランカ仏教福祉協会の支援先であるスリランカネセック財団との情報交換や交流を深めるとともに継続して支援を行った。

6. 情報の発信等

法人の機関誌「ひめゆり通信」は154号～156号各2500部を発行、各施設の事業内容などを紹介している。また各施設においてもそれぞれ工夫を凝らした機関紙などを発行して情報の発信に努めている。法人のホームページではひめゆり通信を掲載するとともに求人やイベント情報も掲載、また財務情報などの開示も行い、法人運営の透明化を図っている。求人関係については大手の求人サイトであるマイナビと契約して広報に努めるとともに、福祉就職フェアなどにも積極的に参加しアピールに努めた。

理事長は時事通信社発行の厚生福祉巻頭打診欄に寄稿（年間4回）して広く提言活動を行った。また、10月10日東京ビッグサイトで開催された福祉新聞社主催の福祉フォーラムにシンポジストとして招かれ、社会的養育新ビジョンに関連して意見を表明した。

7. 地域に対する積極的な貢献活動

奈良県、県社会福祉協議会、県社会福祉法人経営者協議会が合同事業として立ち上げた地域貢献事業「まほろば幸いネット」に参画、リーディング事業としてのレスキュー事業の一員となっており物資の提供などの具体的対応ケースが1例あった。憩の家地域支援室は、毎月のサロン活動が定着、発展するとともに、地元自治会とも連携を強化している。

総合支援センターあずさの交流ホールを利用してひめゆり講座を開講。高齢者部門の施設職員が中心となって市民を対象とした啓発講座を展開、介護のノウハウや制度の紹介など積極的な情報発信に努めている。

恒例の滝寺花祭りは4月22日に法人傘下のすべての施設が協力して開催できた。釈尊のお誕生をお祝いする行事であるとともに、多くのボランティアや地域の人々、

障害者施設の人々も参加してにぎわった。

愛染寮を本拠とするボーイスカウト生駒第1団は施設の児童は勿論のこと地域の子供たちの参加も受け入れて活動を展開するとともに、参画している職員ともども地域での奉仕活動についても積極的に取り組んでいる。

8. 地域社会に対する人的貢献

理事長ほか各施設長や職員は、本務の他に人権擁護委員、自治会役員、県・市社会福祉協議会役員など地域での活動に参加している者が多い。ボーイスカウト活動など地域のボランティア活動に積極的に参加している職員も多く、法人として把握できていない職員の個人的な活動を含めると、社会に対する人的貢献は大きなものがある。

理事長については、奈良県老人福祉施設協議会顧問、近畿老人福祉協議会顧問、奈良県社会福祉法人経営者協議会会長、近畿社会福祉法人経営者協議会会長、全国社会福祉法人経営者協議会常任協議員、奈良県社会福祉協議会副会長として福祉分野の種別協議会の役務を担当するとともに、奈良県社会福祉審議会委員長、奈良県医療審議会委員、生駒市介護保険認定審査会副会長、生駒市介護保険運営協議会委員、生駒市障害者自立支援協議会委員、生駒市社会福祉協議会理事など県、市等の委員会に参画して幅広く福祉の増進啓発に協力した。また、12月から社会福祉法人奈良県社会福祉事業団理事長を引き受けるなど他の社会福祉法人の理事としても福祉事業に参画している。

9. 表彰等

愛染寮職員の奥悦代氏が厚生労働大臣表彰を受賞、他9名が全国レベルの表彰を受賞した。いずれも永年にわたって社会福祉の増進に寄与したことが認められたものである。

また梅寿荘施設長辻村泰範氏が45年、養護老人ホーム梅寿荘介護職員河合治氏が40年、延寿施設長の井上太氏が35年の永年勤続表彰を受賞し、他2名が勤続30年以上の法人永年勤続表彰を受けた。

児童養護施設 愛 染 寮・愛染寮あずさ

1. 事業の概要

この年度最も力を入れたのは「接遇のスキルが上がれば、対人援助の質が上がる。」という観点から外部講師を呼んで3回シリーズで接遇研修を行い、職員の資質向上を図ったことである。児童の動きとしては充足率が上がり暫定定員ではなくなったことの背景として、まさしく「家庭環境不遇」による緊急一時保護委託とその長期化のはて入所となった児童数の増加がある。また、大きなイベントとしては秋にボーイスカウトの記念事業を行い、多くの方にご臨席を賜った。

経費的には、桃李館に置いて配管や地下タンクの経年劣化が顕著化し、水漏れや故障による対処療法的な修繕に費用がかかった。

2. 主な年間行事 毎月1回:児童自治会、避難訓練

月	行 事 内 容
4	1 児童部屋がえ・全体自治会 7 理事長訓示・新入生を祝う会 15BS入隊上進式・育成会総会 22 滝寺お花祭り 29BS県連大会 各入学式
5	3～5 曾爾高原キャンプ 13 元町2丁目懇親会 26 泰圓師墓参り
6	12 法人理事会 17 元町2丁目自治会清掃 24西旭が丘自治会清掃27法人評議員会・児童健康診断
7	1県社協就職フェア 20 であー開所式 21 生駒ケーブル100周年記念イベント23～25 奈児連臨海訓練(鳥羽市相差海岸) 29～30CS・BVS 隊夏季キャンプ
8	2 滝寺墓参り 3 奈児連クッキング 3～10 日本ジャンボリー4名参加(珠洲市) 4 どんどこ祭り(BS奉仕)9 梅寿荘夏祭り童笑出演 13～15 海への里帰り(串本方面) 2127 奈児連キックベース 23 元興寺地蔵盆(献花) 24 滝寺地蔵盆、副住職による 仏教のお話し 26 愛染夏祭り 30 あくなみ苑夏祭り
9	14 こども園敬老参観 17 梅寿荘敬老会幼児参加 24 滝寺彼岸法要・お墓参り
10	1 新任採用内定式 10 寮創立記念日 28 生駒第一団再発足 40 周年記念行事
11	1 オレンジリボンキャンペーン 3 寮運動会 13 七五三参り
12	8 児童採用試験 3 人形供養 23 クリスマス会 28 餅つき 29～31 大掃除正月準備
1	1 元旦行事 2 宝山寺初詣・あすなろ会すきやき 14 とんど 26 寒中金剛登山 27 法人研究発表会 18～20 奈養協児童キャンプ
2	3 元興寺節分 9 奈児連アートコミュニケーション 17 童笑ちびっこ文化祭出演 22 県指導監査 24BVS,CS 隊スケート
3	2 春への誘い会 10 童笑福祉センター祭出演・BS団審査 24 春の彼岸法要・あす なろ会総会 他、各学校卒業式

3. 職種別職員構成

職種	施設長	事務	直接処遇	相談員	心理職	栄養士	調理員	嘱託医	合計
国の示す定数	1	1	15	1	1	1	4	1	25
正規（含契約）	1	1	17	2	1	1	4		27
パート		1	1		1		3	1	6
現員数合計	1	2	18	2	1	1	8	1	34

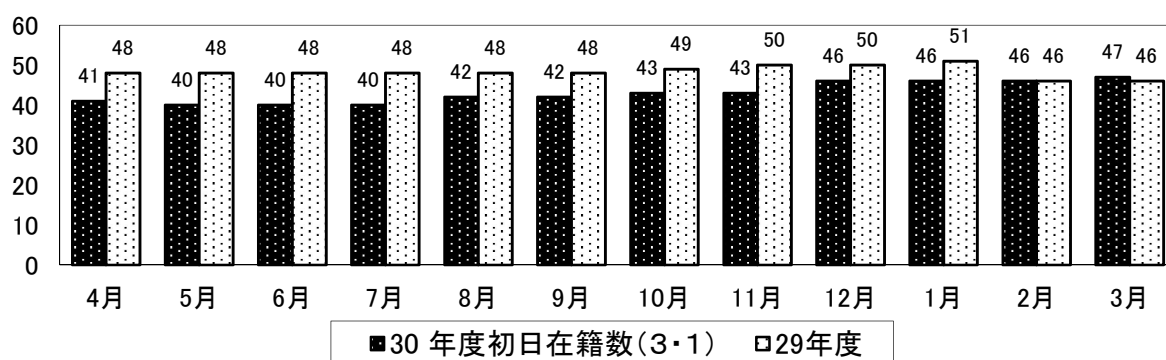
4. 入所児童の動向（数字は31年3. 1現在）定員51名（あずさ6名含む）

平均 43人（充足率84. 3%） 一時保護委託21名延べ422日間

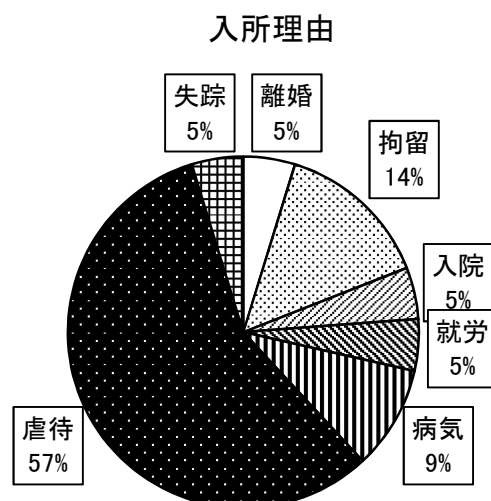
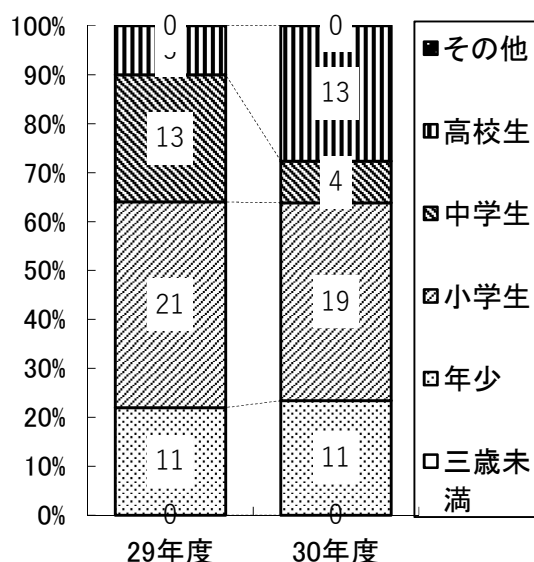
入所:いこま乳児院より3名 家庭より9名

退所:家庭引き取り7名 就職2名

子育て短期支援事業:生駒市、奈良市、天理市より 延べ27名93日間



年齢別構成(3月初日在籍)



5. 主な研修・会議

※ 奈児連＝奈良県児童福祉連盟 近養協＝近畿児童養護施設協議会 童笑＝和太鼓

クラブ BS＝ボーイスカウトこ家相＝こども家庭相談センター 全養協＝全国児童養護施設長連絡協議会奈養協＝奈良県児童養護施設連絡協議会 LSW＝ライフストーリーワーク

月1回職員会議、全体ミーティング、ホームミーティング、給食会議、各委員会県下社会的養護の施設長会、LSW 毎週：法人施設長会議 採用のための説明会 隔月：BS団会議、不定期：BS各種委員会、ラウンドテーブル、スカウト協議会、京滋奈保育士養成協議会 奈養協、奈児連各々部会・研修会 要保護対策協議会

月	内 容
4	7 施設内新任研修 15BS 育成会総会 22 地区総会 27 小学校連絡会
5	16 中学校連絡会 17 奈児連栄養士会議 18 赤十字研修 12 花祭り反省会 13BS 奈良県連盟総会 24 心理事例検討会 27 県里親会総会 30 経営協セミナー
6	5～6 近養協京都大会 8 奈児連理事会 21 奈児連新任研修 12 法人理事会 26 施設内研修① 27 法人評議員会 29～30 養育問題研究会
7	5 法人フォローアップ研修 11 要対協代表者会議 12 暴力・性問題研修会
9	6 法人主任者研修、11～14 こどもの虹研修会 19～21 西日本研修会 26 奈児連夏期行事反省会 27 児相・施設心理職事例検討会
10	11 法人主任者研修 17 法人事務研修 17～19 全養協北海道大会 29 県こども子育て推進会議 30～31 奈児連県外研修
11	12 施設内研修③ 19～21 小舎制研修会 29 法人主任者研修 21～22 福岡蓮華院にてダライラマ師法話 27、28 職員見学研修あゆみ学園 30 法人事務研修
12	10 法人理事会 12 県福祉大会
1	4BS 県連互礼会 10～11 性教育研修会 18 県キャリアアップ研修(虐待防止) 18 法人年頭連絡会 20BS 地区互礼会
2	4 法人苦情委員会 10 セカンドステップトレーナー研修 112 施設内研修③4～15 フォスタリング研修 27 事務研
3	8 県キャリアアップ研修 20 法人役員会 26～27 法人新任職員研修

6. 施設の改善・備品購入・修繕等

- (1) 児童向けITシステムソフト購入、運用(75万県より補助)
- (2) 桃李館地下タンク改修(91万)・消防設備修繕(21万)
- (3) 男子棟エアコン購入(40万)・給湯器購入(21万)
- (4) 他、キャンプ場設備(110万) すぎのこLED(230万) あずさLED(90万)

7. 県、市からの委託事業

- (1) 子育て支援短期利用事業委託契約と実施。
- (2) 里親研修受け入れ。

8. 地域貢献・広報活動

- (1) 地元自治会への清掃活動や夏祭り他、行事への参加や応援。
- (2) 生駒第一団としてのボーイスカウト活動並びにキャンプ場の他団や社会教育団体、自治会への貸し出し。こども園での勧誘活動の実施。
- (3) ホームページや機関誌すずを通じて、施設の現状や情報を広報。

9. 主な寄付金、補助金等

- (1) 生駒市社会福祉協議会様より、新入学生人数相応の入学祝い金及びお年玉。
- (2) 森田記念福祉財団様、(株) フリーズ様より高校卒業生へ自立支援金。
- (3) 故廣田氏より、司法書士事務所を通じ 1,000 万。

10. ボランティア・招待

【団体】 (敬称略)

北大阪サイクリングクラブ (金剛登山応援) 生駒お話の会、絵本の会、チューリップキッズ・童心の会 (幼児対象に童話等) 大阪ガス (ミュージカル・クッキング教室) 寿司屋忠兵衛 (にぎり寿司ふるまい) 奈良パークホテル (パークホテルプール) 株式会社フリーズ (クリスマスパーティー、高3生へのスーツ贈呈) ワールドメイト、紫芳の丘 (クリスマスパーティー) 全日本建設運輸連帯労働組合関西支部 (夏祭り) ゴールドマンサックス証券株式会社・鳴和電機 (プロ野球オリックス戦) かつば座 (人形劇) 森田記念福祉財団 (高校3年生のための自立支援研修会、USJ) 奈良レオクラブ (遊び、もの作り) カットサロンスナイパー (散髪) 生駒小学校校区老人会 (昔のあそび等) 関西電力労働組合 (お花祭りゲーム) プロレスドラゴンゲート (生駒市スポーツ振興課) 奈良クラブ (サッカー試合) 大阪樟蔭学生 (幼児遊び)

【個人】

華道指導・和太鼓指導・理髪奉仕・幼児保育・学習指導・おやつ作り・ピザふるまい

11. 実習生の受け入れ

保育実習 60 名 介護等体験 1 名 社会福祉士 1 名
全社協より海外研修生 1 名

12. 主な見学者

5月 青和地区民生児童委員 17 名 奈良文化女子短大 6 名
6月 椿市地区民生児童委員 17 名 東地区民生児童委員 29 名
7月 サポートセンターゆう 30 名 王寺町役場職員 15 名
8月 県議会より 15 名 11月 帝塚山大学生 8 名 1月 上牧町民生児童委員 34 名
2月 奈良学園学生 15 名 登美ヶ丘校区少年指導協議会 15 名
3月 11 生駒市議会議員 15 名 帝塚山大学生 8 名

13. 苦情の実情

受付 4 件、主に家族から養護内容について。説明をして解決済み。

14. その他

- (1) 乳児院や高齢者施設との交流、行事への参加。
- (2) 県下の社会的養護の 8 施設長及びこども家庭課、児童相談所との連絡会議を月 1 回持ち、新社会的養育ビジョン等について情報共有。
- (3) ライフストーリーや性教育、虐待暴力禁止等、児童も交えて委員会や勉強会を実施。

いこま乳児院

1. 事業の概要

基本方針に則り、巣作りルームや小規模ケアを利用し、出来るだけ家庭的な養育看護に努めた。 予定通り①施設内照明器具をLEDに交換 ②情報共有化の為、県補助金(ICT化)を得て、入所児童情報化システムソフト導入して、施設内のIT環境を整えた。

2. 主な年間実施行事

月	行 事 内 容
4	18:どんぐりクラス遠足 22:花まつり
5	5:こどもの日 16:ネコバスクラス遠足 31:トロクラス遠足
6	21:職員検診
7	4:プール開き 7:七夕 12~13:1泊旅行 27:合同食育
8	24:滝寺地藏盆 26:夏祭り 29:どんぐりクラス市民プール
9	21:トロクラス遠足 26:施設見学①
10	12:ネコバスクラス遠足① ネコバスクラス遠足② 25:どんぐりクラス遠足 31:施設見学②
11	3:愛染寮運動会 8:トロクラス遠足 13:七五三 14施設見学③ 16施設見学④ 17:合同食育
12	24:クリスマス会
1	1:元旦 24:職員検診
2	3:節分
3	3:ひな祭り 15:どんぐり・ネコバスクラス遠足 18:トロクラス遠足

※毎月の行事:お誕生日会・おくい初め・健康発達健診・回診・予防接種・職員会議・給食会議・避難訓練・退所児お別れ会

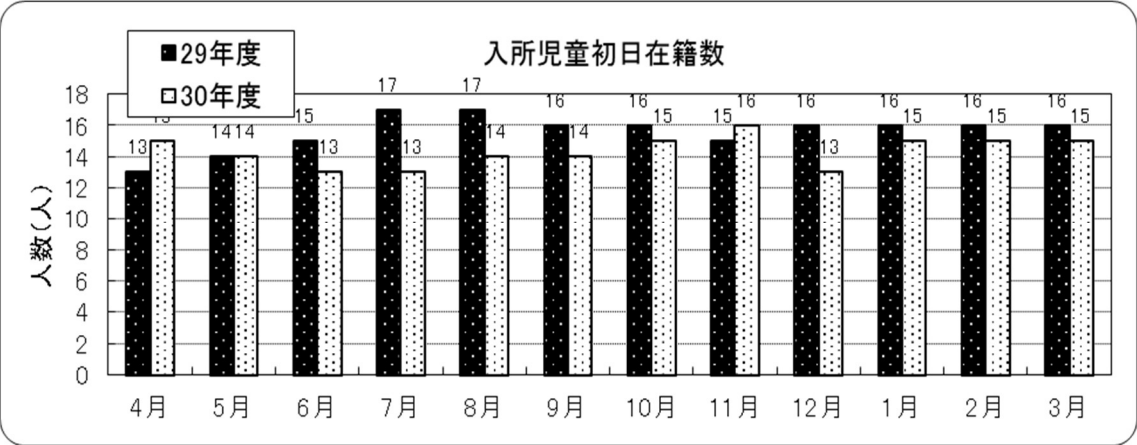
3. 職種別職員構成

職種	施設長	事務	保育士	看護師	栄養士	調理員 等	心理士	嘱託医	合計
基準(定数)	1	1	16	3	1	4			26
正規(含契約)	1	1	16	3 (1)	1	4 (1)			26 (2)
非常勤							1(1)	1	2 (1)
現員数合計	1	1	16	3 (1)	1	4 (1)	2 (1)	1	28 (3)

()は産休・育休中

4. 入所児童の動向(平成 31 年 3 月 1 日現在) 定員 25 名 暫定 19 名

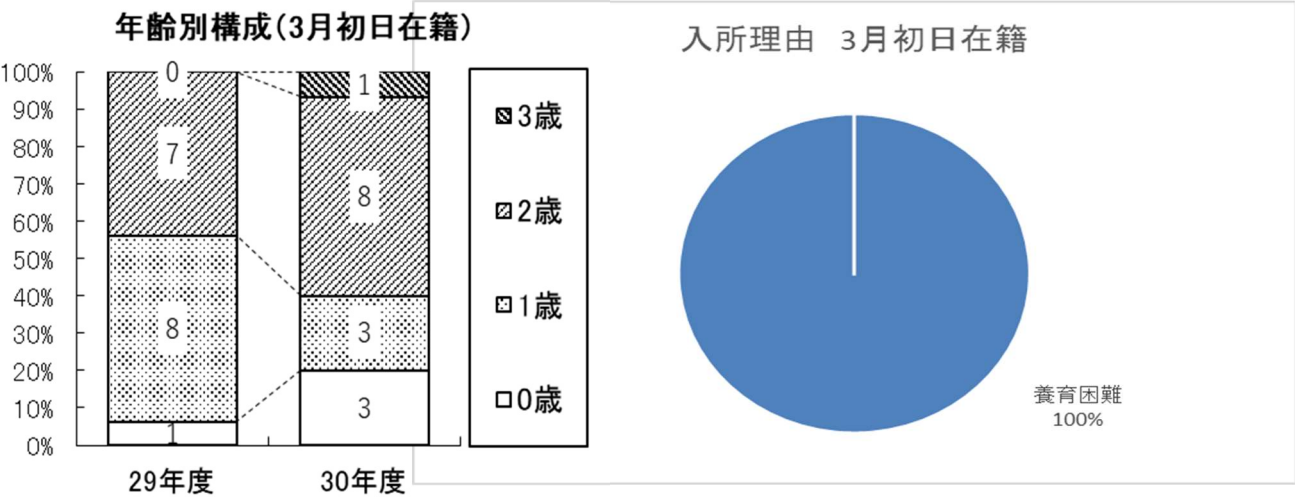
(1) 平均 14 人 (一時保護 14 名)



(2) 退所は、家庭復帰 6 名・里親委託 1 名・愛染寮へ移行 2 名・愛の集い学園へ 1 名・飛鳥学院へ 1 名

子育て支援短期利用事業 生駒市 (12 名)・奈良市(8 名)・橿原市(5 名)・大和高田市(3 名)・田原本町(2 名) 計 30 名

(3) 年齢別状況・入所理由



(4) 充足率

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
H30 年度	79%	74%	68%	68%	74%	74%	79%	84%	68%	79%	79%	79%

5. 主な研修

月	研 修 内 容
4	13:奈児連研修部会 27:生駒市要保護会議
5	1:県社協新任者研修 9:サービスマナー研修 11:奈児連職員研修会 17:奈良県児童福祉養護入所施設給食研修会 18:LSW 研修会 仔鹿園へ研修
6	1:スーパーバイザー養成講座・法人衛生管理研修会 2:里親シンポジウム 15:LSW 研修 20～21:奈児連新任研修 21～22:近畿乳児福祉協議会
7	5:法人ステップアップ研修 24～26:全国乳児院研修会
8	13・27:県社協中堅研修 17:新人交流会
9	6:法人主任研修 10・11:県社協新任者研修 13:奈児連研修会 13～14:施設長研修
10	11～12:全乳協議会 19:近乳栄養士部会 30～31:奈児連県外研修
11	1:実務者研修 13:近乳保育士部会 24:京滋奈研修会 27～29:上級者研修
12	1:県社協研修 3:対人援助技術研修
1	21:近乳看護師部会 27:法人研究発表会 29～2/1:子どもの虹研修
2	14:奈児連研修 22:近乳家庭支援部会・法人栄養士部会
3	5:H30 年度児童福祉施設給食関係研修会 14:奈児連栄養士会議 26:法人新契約職員研修 26・27:法人新任研修

※職員会議・リーダー会議(月1回)・院内勉強会(不定期)・クラスミーティング(月一回)

6. 施設の改善・備品購入・修繕等

- (1)すぎのこ照明器具 LED 化工事 (150 万)
- (2)職員寮証明器具 LED 化工事 (25 万)
- (3)パソコン入れ替え 6 台 (120 万)
- (4)京都島津五月人形 (35 万)
- (5)東レこいのぼり (15 万)
- (6)ICT 化推進事業 (140 万)

7. 県、市からの委託事業、補助事業

- (1)里親指導(特別養子縁組を前提とした、里親に対する指導等)
- (2)機能強化推進事業実施
- (3)グループケア実施

8. 地域貢献、広報活動

- (1)いこま乳児保育園地域子育て支援事業に看護師・管理栄養士を派遣。
- (2)ちよぼら活動や自治会サロン活動に参加して、地域のニーズを捉える。
- (3)ホームページを通して、情報開示に努めた。

9. 主な寄付金・補助金等

(1) 寄付物品(紙おむつ、ミルク等)・・・ 108 件

廣田様(遺贈金) 1 千万円

貯蔵金(図書カード他)・・・6 件(11,000 円)

(2) 補助金

福利厚生センター 生活習慣病予防検診 74,948 円

(株)ジェイストリーム「幼い子供の豊かな育ち応援助成金」 120,000 円

ICT 化助成金 奈良県 750,000 円

10. ボランティア

(1) ボランティア受け入れ

①衣類補修 1 名 ②保育補助 学生 (13 名)・一般 (7 名)

③理学療法士 (1 名) ④ベビーマッサージ(1 名)

11. 実習生、職場体験の受け入れ

(1) 実習生受け入れ

奈良文化女子短期大学 2 名・奈良教育大学 1 名

大阪府:16 校、23 名 京都府:5 校、9 名 兵庫県:3 校 4 名 計:39 名

(2) 職場体験受入れ 0 名

12. 主な見学者

5 月 奈良市青和地区民生児童委員 17 名, 高校生 2 名

6 月 奈良医大医科大学 看護学生 13 名, 奈良市民生児童委員 17 名
信貴山病院医師 5 名

7 月 北葛城郡民生児童委員 15 名 サポートセンターゆう 30 名

8 月 奈良県県会議員 15 名

11 月 帝塚山大学 5 名,

12 月 小鳩乳児院 7 名

1 月 上牧町民生児童委員 34 名

2 月 奈良学園 15 名, 登美が丘中学校区少年指導協議会 15 名,

3 月 帝塚山大学大学院生 15 名

13. 苦情の事情

0 件

14. その他、特筆すべき事業内容等

①感染委員会・危機管理委員会(保護者・環境)・養育委員会の 3 委員会を立ち上げ、

各委員会で第 3 者評価の自己評価を行い、課題を検討することが出来た。

② 感染症では、年末にアデノウィルスの児が 1 名出たが、それ以外では目立った感染はなく、昨年に引き続き、子どもも職員も手洗いを徹底した結果であると考えられる。

児童発達支援センター こども支援センター 仔鹿園

1. 事業の概要

児童発達支援センターとして地域療育の拠点となるよう、関係機関との連携を図り、新たに創設された他のセンターや児童支援事業所等への助言や指導を含め、奈良県の発達支援の道しるべとなるよう努力を重ねてきた。

当センター利用の子どもと保護者に対しても個別療育支援と集団療育支援の柱を基に発達助長に力を注いだ。

子どもの状況としては年長児が多く、就学に向けての機関連携が不可欠であった。交流保育については市町村関係機関とも連携を密にとった。

また、県からの委託事業でモデル地域（大和郡山市）の児童発達支援や放課後等デイサービスについての現状を知ることができ、新たな関係を構築する機会を得た。

2. おもな行事

4月	入園式（5日）	家庭訪問（16日～24日）
5月	家族通園（20日）	
6月	プール開き（29日）	園児健康診断（15日）
7月	夏祭り・地藏盆（28日）	
10月	運動会（21日）	
11月	愛護会主催チャリティバザー（11日）	
12月	園児健康診断（14日）	父子通園（2日） クリスマス会（12日）
1月	園児集合写真（11日）	
2月	作品展こじかの広場（17日）	
3月	お別れ会（13日）	卒園式（23日）

＊誕生会・消火避難訓練は毎月

3. 職員構成（平成31年3月）

職種	園長	主任	保育士	相談員	栄養士	運転手	調理員	嘱託医	事務	計
基準（定数）	1	1	15		1	1	1	1	1	22
正規（契約）	1	1	18	1	1	1	1		1	25
非常勤			4			2	2	1		9
現員数合計	1	1	22	1	1	3	3	1	1	34

4. 園児の状況

(1) 月別実績 利用率 定員 57 名 契約児童数 59 名

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月 末 在 籍	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	平均 59
開園日数	18	22	23	21	21	19	22	22	20	20	19	20	247
平 均 人 数	49	50	50	50	40	50	51	50	44	44	49	43	47, 5
月 出 席 率%	83	84	85	85	68	85	87	85	75	75	83	72	80, 6

(2) 園児年齢構成

年 齢	3歳以下	3～5歳	6～就学	計
人 数	0	39	20	59

(3) 利用経路

障害児相談支援事業所

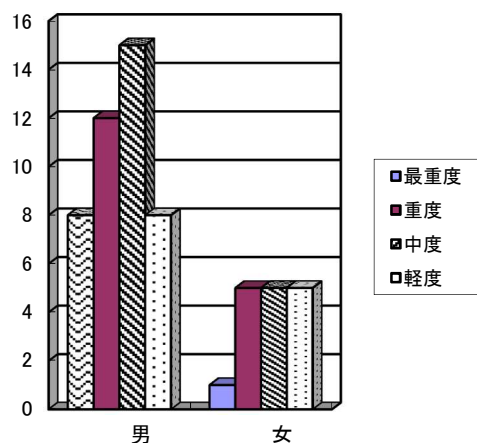
児童発達支援センター

医療診断・保健センター

医療診断・幼稚園・保育園 → 仔鹿園

(4) 障害の程度

	男	女	計	DQ
最 重 度	8	1	9	0～19
重 度	12	5	17	20～34
中 度	15	5	20	35～49
軽 度	8	5	13	50～75
計	43	16	59	



(5) 通園の地域状況

地 域 名	男	女	計
奈 良 市	8	6	14
大 和 郡 山 市	1	1	2
天 理 市	17	4	21
橿 原 市	5	0	5
大 和 高 田 市	2	1	3
桜 井 市	1	1	2
磯 城 郡	8	1	9
高 取 町	1	0	1
川 合 町	0	1	1
安 堵 町	0	1	1
計	43	16	59

(6) 障害の種類

常染色体異	ダウン氏症候群 21 t	6	脳原性両上肢運動機能障害	1
	歌舞伎メイキャップ症候群	1	自閉症スペクトラム症（広汎性発達障	41
痙性四肢麻痺・脳性まひ		2	精神発達遅滞	7
A T R X症候群		1	計	59

5. 主な研修

月	園 内・法人内 研修	各種団体 研修
5 月	法人事務研修 園内研修（療育内容について①）	
6 月	法人衛生管理研修	奈良児童福祉施設連盟初任者研修 （県内）
7 月	園内研修（療育内容について②）	ポーターページ初級セミナー（東京）
9 月	園内研修（療育内容について③） 法人主任者研修	
10 月	法人事務研修・法人主任者研修	奈良県児童福祉連盟県外研修（鳥取県）
11 月	法人主任者研修 園内研修（療育内容について④）	全国知的障害関係施設職員研究大会（山口県）
12 月	園内研修（療育内容について⑤）	
1 月	法人研究発表会	
2 月	法人事務研修	

6. 県、市からの委託事業、補助事業

- (1) 奈良県から障害児専門療育指導事業の委託を受けた。
- (2) 奈良県から地域療育支援ネットワーク推進事業の委託を受けた。
- (3) 奈良市から療育指導事業の委託を受けた。

専門療育指導事業（奈良県・奈良市委託）の内容

訪問療育……家庭訪問による支援、各地域における療育教室や母子教室での相談などで支援を行い、重度心身障害児宅や医療的ケア児の在宅でも支援を行った。

施設支援……福祉施設、保育園、幼稚園、学校などに訪問して相談、援助を行った。

外来療育……療育相談、個別指導（ポーターページプログラム）

定期的療育相談児と不定期での相談を受けた。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
施 設 支 援	0	5	3	10	4	3	4	3	0	1	1	0	34
外 来 療 育 相 談	22	24	16	22	19	20	17	12	11	10	18	28	219
訪 問 療 育	13	26	24	19	19	23	15	21	22	35	40	14	271

7. 施設の改善、備品購入、修繕等

公用車のリース契約を行った。

保育室室外機修理を行った。

8. 地域貢献、広報活動

- (1) 毎月園だよりを出し、保護者との連携を深めた。
- (2) ホームページで園の行事報告・情報を紹介している。
- (3) 愛護会が文集「みんなだいすきこじかえん」第29号発行。
- (4) 地域の社会活動に参加

地区社会福祉協議会や民生児童委員など、施設の事業内容について理解を求める機会を持った。
高円の杜を守る会（護国神社）・東市地区防災会議・東市まるごとフェスタ・東人権文化センター主催こころあったかコンサート・春さきコンサート等への参加

9. 寄付報告

- (1) 仔鹿園愛護会様より金品の寄付を頂いた。
- (2) 奈良市東市校区まるごとフェスタ実行委員会から絵本の寄付を頂いた。
- (3) イオングループ様よりイエローシートを介して物品を頂いた。
- (4) 奈良パイロットクラブ様より物品を頂いた。
- (5) 京都豆新さんから節分の豆を園児数頂いた。

10. ボランティア

- 1) 行事等では実習経験学生や佐保短期大学等に声を掛け手伝って頂いた。
- (2) 地区の民生児童委員（29名）及び天理教修養科（65名）に環境整備ボランティアとして参加いただいた。

11. 実習生の受け入れ

(保 育) 奈良文化女子短期大学	5 名	奈良保育学院	3 名
(保 育) 大阪樟蔭女子大学	1 名	奈良佐保短期大学	4 名
(保 育) 帝塚山大学	2 名	常磐会短期大学	1 名
(保 育) 関西科学福祉大学	1 名	武庫川女子短期大学	2 名
(保 育) 畿央大学	1 名	武庫川女子大学	2 名

(保 育) 花園大学	1 名	東大阪大学	1 名
(介 護) 天理大学	1 名		
計	25 名		

12. 見学、来園

- (1) 奈良教育大学から 30 名、佐保短期大学 30 名、帝塚山大学 15 名の見学者があった。
- (2) 入園希望者等の見学者 44 名があった。
- (3) 県内の児童発達支援事業所や放課後等デイサービス事業所からも見学や実習の受け入れをした。

13. 苦情処理・事故報告

- (1) 苦情 1 件 内容 処遇について 1 件
職員対応について 0 件
その他 0 件
対応 保護者からの要望などに関してはチーフ会議及び職員会議で検討後、対応した。
- (2) 事故 0 件
緊急受診等を行うような事故発生はなかった

14. その他

- (1) 奈良県障害者自立支援協議会に参加
- (2) 奈良県教育支援委員会に参加
- (3) 奈良市障害者自立支援協議会に参加
- (4) 奈良市教育支援委員会に参加
- (5) 日本知的障害者福祉協会 近畿地区児童発達支援部会代表
- (6) 全国相談支援連絡協議会に役員として参加
- (7) 天理市特別支援教育巡回指導事業へ相談員として参加
- (8) 山添村特別支援教育巡回指導事業へ相談員として参加
- (9) 奈良西養護学校評議委員として委員会に参加

奈良仔鹿園

1. 事業の概要

施設の利用を他の機関へも周知し、利用して頂く事業計画に基づき、障害者団体の勉強会や集会に利用。また相談支援では奈良市の委託相談支援事業所として多様化する相談内容や困難事例等に対応した。一方、サービス等利用計画の作成数は前年度より減少ではありますが、これは新規の利用者を制限したためです。

2. 主な事業

(1) 障害児(者)基本相談支援

電話での相談後に訪問若しくは来所での相談を受けた。

(2) 障害者生活支援事業は各連携機関との会議を持つ機会が増えた。

(3) サービス等利用計画作成およびモニタリング実数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
計 画 作 成 数	9	6	24	5	3	6	4	4	6	4	8	22	101
モニタリング	0	6	2	4	7	17	2	5	3	5	4	4	59

(4) 施設利用

研修会での利用や仔鹿園OB会や保護者会等が利用された。

3. 職員配置

管理者 1 名 (兼務)

専門相談員 1 名 相談員 2 名 (仔鹿園・ばんび相談員兼務)

事務員 (兼務) 1 名

4. 主な研修

月	事業所外参加研修
6 月	相談支援従事者指導養成研修
8 月	相談支援初任者研修講師
10 月	児童青年精神医学会研修
2 月	障害者虐待防止研修会

5. 対外活動

奈良市障害者自立支援協議会相談支援部会、子ども部会へ参加

全国相談支援連絡協議会に参加

児童発達支援事業 ばんび

1. 事業の概要

平成 30 年度は各地域に児童発達支援事業所が増加したため、利用者数が激減した。加えて並行通園児が多いことから幼稚園や保育園等の行事を優先されることが多いことから欠席が増えた。利用児の状況として発達障害児（主に行動障害に類する）が多く通常の集団では適応しにくい幼児が増えている。

幼稚園や保育園との連携を持つために個々の状況に合わせて訪問した。

2. おもな行事

月	行 事	月	行 事
4 月	家庭訪問（16～27 日）	1 月	待機児クラス（23 日）
6 月	保護者勉強会（9・22 日）	2 月	待機児クラス（2 日）
8 月	いっば交流会（21 日） 和太鼓体験（28 日）		年間 3 回各グループ保護者交流会を開催した

3. 職員構成

職種	管理者	サービス管理 責任者	保育士	相談員	事務員	合計
基準（定数）	1	1	2			4
正規(含契約)	1（兼務）	1	3	1	1（兼務）	6
非常勤			3			3
現員数合計	1（兼務）	1	6	1	1（兼務）	10

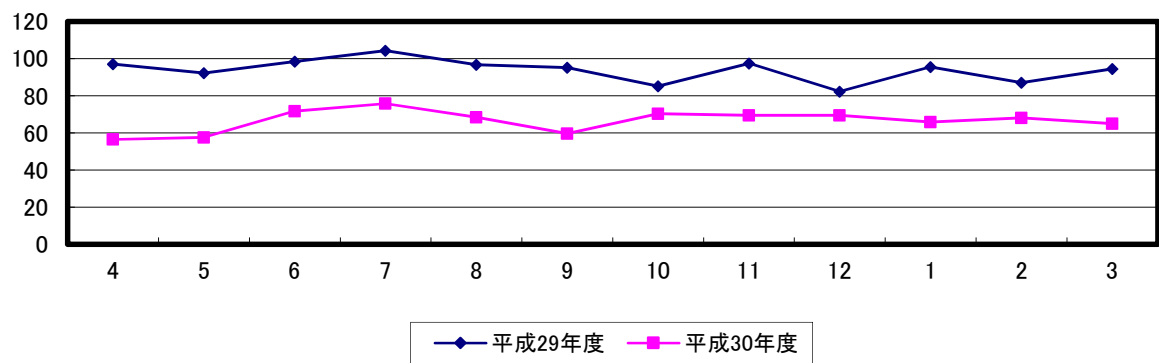
4. 園児の状況（平成 31 年 3 月現在）

（1）利用児年齢構成

年 齢	2 歳以下		3～4 歳		5～就学		計	
人 数	3		13		36		52	
男 女	3	0	6	7	29	7	38	14

（2）月別実績 一日利用定員 10 名

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	20	24	24	22	24	20	24	24	21	22	21	22	269
延 べ 数	113	138	140	158	182	137	143	169	146	145	143	143	146
利 用 率 30	56,5	57,5	58,3	71,8	75,8	68,5	59,6	70,4	69,5	65,9	68,1	65	65,6
利 用 率 29	97.0	92.2	98.4	104.3	96.7	95.2	85.2	97.4	82.3	95.5	87.1	94.5	93.8



(3) 通園状況 (市町村別)

天理市	25 名	王寺町	4 名	木津川市	1 名
宇陀市	1 名	田原本町	3 名		
葛城市	2 名	川西町	1 名		
大和郡山市	9 名	広陵町	2 名		
斑鳩町	3 名	河合町	1 名		

(4) 利用経路

医療診断→仔鹿園相談支援センター→ばんび

医療診断→ばんび

保健センター→医療診断→ばんび

幼稚園・保育園→ばんび

5. 主な研修参加

月	事業所外参加研修
1 月	法人研究発表会
2 月	全国発達支援協議会研修会（東京）

他に県内で行われる研修会へその都度参加また、仔鹿園の開催する研修に参加

6. 施設の改善、備品購入、修繕等

特にない

7. 苦情処理・事故報告

特にない

8. その他

県内児童デイサービス連絡会への参加

並行通園児の通う幼稚園等の連絡会議へ参加

奈良市自立支援協議会こども部会への参加

奈良県発達障害者支援センター でいあー

1 事業の概要

発達障害者支援センターが設置されて14年が経過して、障害の受け止めも少しずつ変化してきた。当センターでは地域への支援が増えつつあり、市町村や事業所等へのバックアップや困難事例への対応等が増えてきている。平成30年度より「発達障害者地域支援コーディネーター」が増員されて、身近な場での支援と切れ目のない支援を目指して市町村で生かせる一次支援マニュアルを作成した。このマニュアルを生かして今後5か年かけて、身近な地域で相談体制を確立するためのシステムの構築に取り組み始めている。

区 分	内 容
相談支援	発達障害児（者）及びその家族等からの相談に応じ、適切な指導・助言・情報提供などを行った
発達支援	発達支援に関する相談・情報提供をした 施設（福祉施設・園学校等）への支援や支援方法の助言を行った
就労支援	就労に向けて必要な相談支援を実施した（必要に応じて労働機関との連携を図った）
普及啓発 及び研修	発達障害への理解を深める啓発活動で講演会を実施した 発達障害に関わる支援者や保護者等の研修会を実施した
その他	発達障害者支援センター運営検討委員会・連絡協議会を実施した 各圏域へ巡回相談や支援者支援のための相談を実施した

2 主な年間実施行事

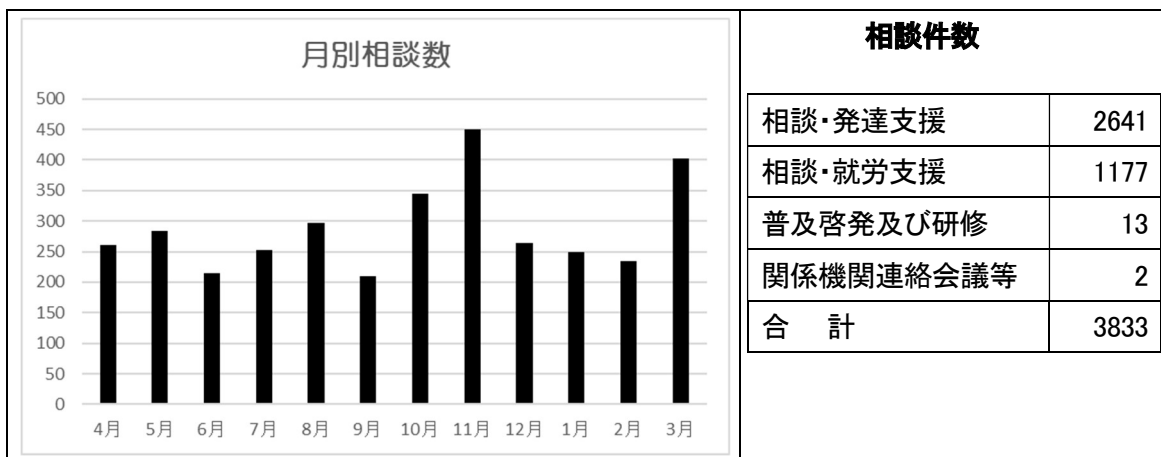
実施月	内 容
4 月	発達障害啓発週間事業「気になる子どもへの具体的関わり」 啓発セミナー「働くを考えるセミナー」「当事者のためのイベント」 奈良県発達障害者支援センター運営検討委員会
5 月	公開講座「障害のある子どもの就労支援の現状と課題」
6 月	全国発達障害者支援センター総会・実務者研修会（京都） 奈良県発達障害者支援センター連絡協議会
7 月	トレーニングセミナー「自閉症理解、スキル習得講座」 ペアレントメンター事前研修会
8 月	講演会・シンポジウム「発達の期になる学生へのかかわりを考える」
9 月	メンター養成講座・公開講座

12月	全国発達障害者支援センター近畿ブロック会議
1月	市町村職員窓口研修会
3月	発達障害者支援機関連絡会議 公開講座「働く力を育てるために」

3 職種別職員構成

職種	施設長	事務	相談員	心理職	合計
基準（定数）	1		5	2	8
正規（含契約）	1		5	2	8
非常勤		2			2
現員数合計	1	2	5	2	10

4 支援実績



5 主な研修

(1) 職員参加研修

- ・発達障害者支援センター実務者研修
- ・全国発達障害者支援センター職員研修
- ・近畿ブロック発達障害者支援センター研修
- ・メンター研修会

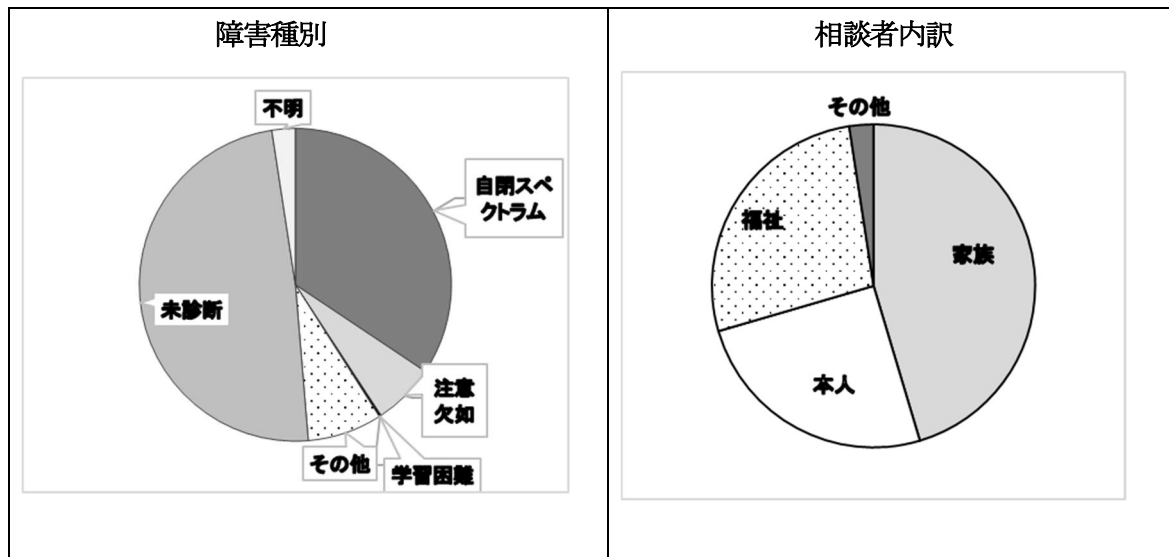
(2) 学校・施設向け研修

- ・子ども若者支援機関
- ・職業センター職員
- ・専門学校
- ・県内小中学校教職員
- ・法務局、裁判所職員
- ・図書館職員
- ・大学職員
- ・福祉職員

(3) 市町村向け

- ・巡回相談
- ・市町村職員向け研修
- ・圏域別研修

6 県、市からの委託事業、補助事業



国の委託事業・・・・・・発達障害者支援センター事業

奈良県の委託事業・・・・地域支援ネットワーク事業

奈良県の委託事業・・・・発達障害者家族支援体制整備事業

(ペアレントメンター事業)

7 地域貢献、広報活動

- ・当事者グループ「WITH」の活動
- ・センターのホームページでの講演会や活動の紹介

8 主な見学者

幼・小・中・高・大の教育関係関係者
新規就労移行事業所、就労事業所、社会福祉協議会

9 苦情の実情

- ・相談までの時間がかかりすぎる（身近な場での支援に向けて検討中）
- ・電話がつながりにくい（電話対応が多いためつながりにくい）

10 その他、特筆すべき事業内容、参加している会議等

- ・奈良市自立支援協議会
- ・生駒市自立支援協議会
- ・奈良県域就業情報交換会
- ・サロン川西
- ・なら中和障害者就労支援機関連絡会議
- ・発達障害者雇用支援連絡協議会
- ・奈良市子ども発達センター推進会議
- ・奈良県内子ども若者支援ネットワーク会議

極楽坊保育園

1. 事業の概要

平成 30 年度造形表現・図画工作・美術教育研究全国大会公開保育を 11 月に実施し、全国から多数の見学者が来場した。

園児の状況について、昨年度に引き続き、保育士の補充採用に注力したものの、年度中に補充することができず、定員まで児童を受け入れることができなかった。施設整備では、夏季の猛暑による熱中症対策として、屋外でのプール遊びが安全にできるよう、日除けの設置を行った。

2. 主な年間行事

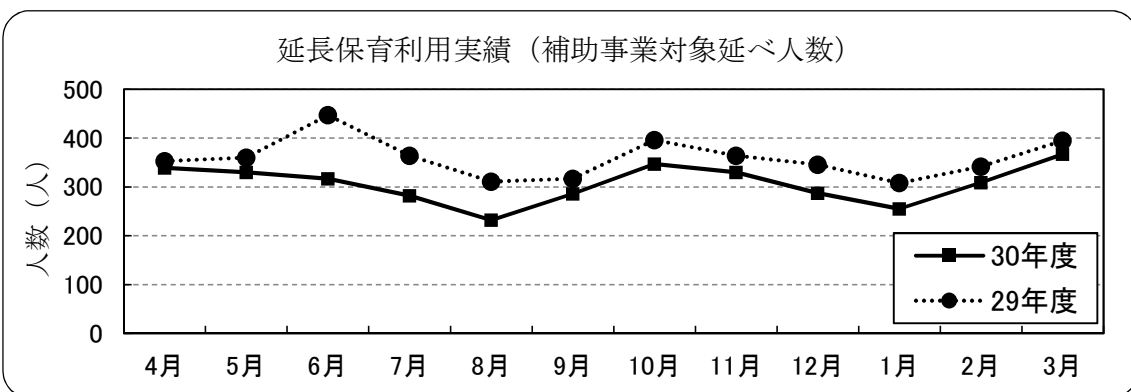
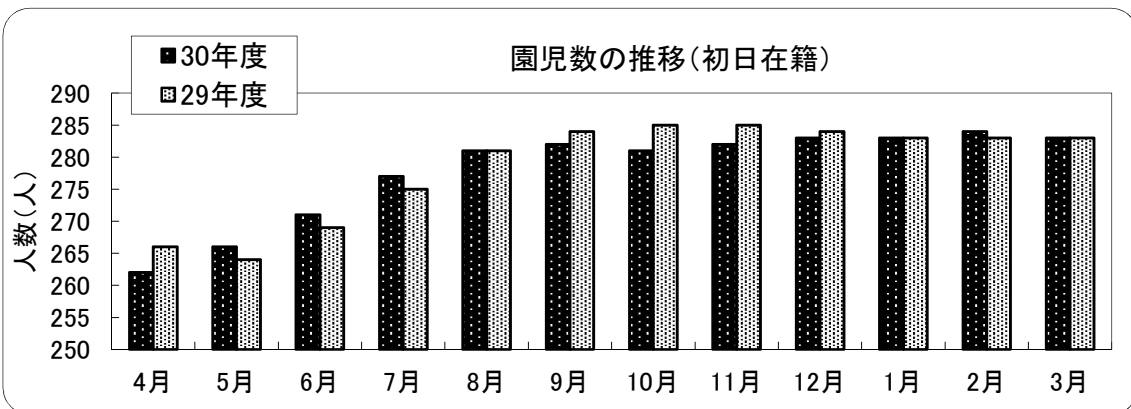
月	行 事 内 容
4 月	6 入園式 6～19 各組懇談会
5 月	8 花祭り 9 遠足 18 愛護会総会 19 幼児部保育参観 23 交通安全教室 25 泰圓忌
6 月	19 人形劇観賞 21 プール開き 23 愛護会手作り活動 29～30 青組合宿保育
7 月	6 七夕のつどい 21 夏祭り
8 月	28 プール終了
9 月	5 敬老のつどい
10 月	4 黄組参観試食会 9 いもほり 12 赤組参観 14 運動会 17 遠足 27 あすかフェスティバル
11 月	10 作品展 15 造形美術・図画工作・美術教育研究全国大会奈良大会公開保育 21 七五三詣り
12 月	1 乳児部保育参観 4 お礼訪問 5 青組参観試食会 7 成道会 14 もちつき 21 クリスマス会
1 月	25 人形劇観賞
2 月	1 保育園節分行事 15 涅槃会 16 春をよぶ集い（乳児・赤） 21 赤組懇談試食会 23 春をよぶ集い（黄・青） 26 青組懇談試食会
3 月	1 もも・しろ組懇談会・ひなまつり 5 ばら組懇談会 7 黄組参観懇談会 12 入園説明会 23 卒園式
(月例行事) 誕生会、避難訓練、たてわり保育、ヨガ(青・黄組)、交流保育・施設訪問 (その他の項参照)、職員会議、調整会（クラスチーフ会議）、給食献立研修会、安全衛生委員会 (健康診断) 4/19,27 10/9,11 内科、4/26,27 10/25,26 尿検査、5/16 眼科、5/10 耳鼻 咽喉科、6/28 歯科、6～8 月職員定期健康診断、11/8 職員インフルエンザ 予防接種、11/27 職員麻しん・風しん抗体検査	

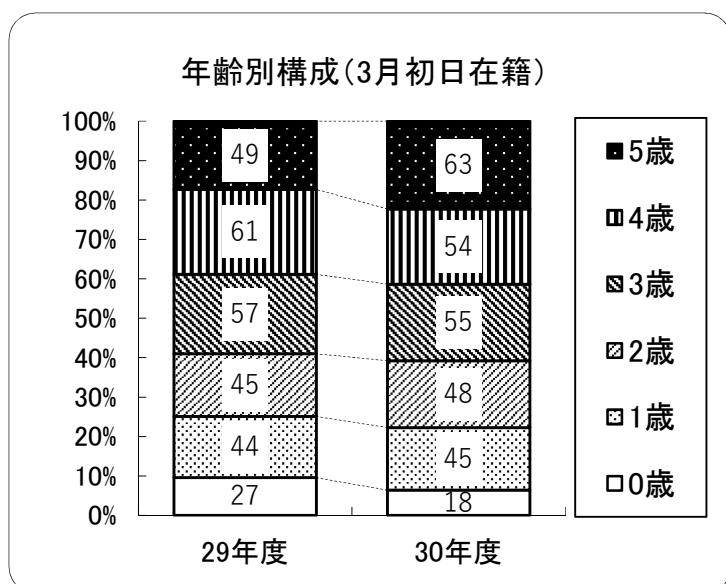
3. 職種別職員構成（3月末）（カッコ内は休職）

	園 長	主 任	主 任 保育士	保育士	事 務	栄養士	調理師	その他	合 計
定 数	1	1	33						35
常 勤	1	1	2	32(3)	1	1	3		41(3)
非常勤				2	1		1		4
現員計	1	1	2	34(3)	2	1	4		45(3)

4. 月別利用実績 定員 300 名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	充足率 92.6%
初日	262	266	271	277	281	282	281	282	283	283	284	283	
入園	40	8	5	6	4	3	0	1	1	0	1	0	
退園	4	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	68	





5. 主な研修

月	研修内容
4 月	
5 月	保育所保育内容研修会、飛鳥安全ネットワーク、日本保育学会、奈良県社会福祉法人経営セミナー
6 月	法人衛生管理研修会、わらべうた研修、全国私立保育園研究大会
7 月	奈良県社会福祉法人経営青年会研修、ステップアップ研修、近畿ブロック保育研究集会
8 月	教育保育内容研修会、全国青年経営者会コーチングトレーニング講座
9 月	法人主任研修（9～11 月）、奈良県社会福祉法人経営青年会県外研修、男性保育士研修、奈良市保育会県外研修、全国社会福祉法人経営青年会海外研修
10 月	法人経理研修、社会福祉法人経営青年会ゼミナール研修、社福研創設 20 周年記念特別研修会
11 月	造形表現・図画工作・美術教育研究全国大会、全国社会福祉法人経営青年会全国大会、全国社会福祉大会、わらべうた研修、法人施設長研修
12 月	保育所・幼稚園音楽リズム研修会、奈良市被虐待児童対策地域協議会実務者研修会、奈良県保育協議会県外研修、奈良県保育研究大会、
1 月	マネジメント研修、法人研究発表会、奈良県経営協セミナー
2 月	法人栄養士会研修、法人事務研修、近畿社会福祉法人経営者協議会近畿ブロックセミナー
3 月	法人新採用職員研修、奈良県社会福祉法人経営セミナー

その他、職員の自主的な研修受講に対する支援を行った。

6. 施設の改善・備品購入・修繕等

(1) 修繕、改修

1 階・2 階プール日除けテント設置、

(2) 備品購入

7. 県、市からの委託事業・補助事業

(1) 1 歳児保育事業 保育士加配により、1 歳児保育の配置基準を 6:1 から 5:1 に改善。1 歳児月平均 45 名。

(2) 延長保育事業 平日 7 時 15 分～18 時 45 分
土曜 7 時 30 分～18 時 30 分

8. 地域貢献・広報活動

(1) 交流保育、施設訪問

①交流保育

(月例行事) 飛鳥幼稚園、仔鹿園、あじさい園、サンライフ奈良、サンライフ明日香。

(施設訪問) 梅寿荘、延寿、梅寿荘デイセンター、和楽園など

②地域交流

(i) 奈良市保育所・幼稚園課及び奈良警察署・高畑交番へ一年間のお礼に訪問。

(ii)子育て支援事業：園庭開放・行事等を通じ地域の方との交流を図った。

(周知方法) 園前掲示板のポスター掲示、近隣店舗等へのチラシ設置。

(参加実績) 計 13 回実施、児童延べ 56 名参加。

(2) 広報活動

(毎月発行) 園だより、クラスだより及びクラスカレンダー、給食だより (献立表含む)。

(随時発行) 愛護会だより、平成 30 年度ひまわり文集。

インターネットホームページによる行事案内など。

9. 主な寄付金

愛護会 (保護者会)、卒園児保護者などから 4 件、総額 346,420 円であった。

10. ボランティア・招待

11. 実習生・職場体験等の受け入れ

①大学・短大・専門学校

奈良佐保短期大学 見学 実習	21 名 3 名	京都女子大学	3 名
		白鳳女子短期大学	2 名
		帝塚山大学	4 名
奈良教育大学 見学	26 名	奈良文化女子短期大学	3 名
龍谷大学（短大）	2 名	奈良保育学院	3 名
大阪樟蔭女子大学	1 名	四天王寺大学	1 名
奈良市立看護専門学校	37 名	同志社女子大学	1 名

②高校・中学

県立 高円高校 家庭クラブ 体験	20 名 29 名	市立 飛鳥中学校	12 名
		市立 春日中学校	8 名
		市立 都南中学校	10 名
奈良女子大学付属中等 教育学校	24 名	市立 三笠中学校	6 名

12. 主な見学者

入園希望者 他

13. 苦情の実情

受付回数 2 件

- ・近隣店舗への迷惑駐車について（2 件）

いこま乳児保育園

1. 事業の概要

29 名の新入児が入り定員は 4 月より充足したが、賑やかなスタートであった。途中入園が少なかったため各クラス落ち着いた保育ができた一年でもあった。

資質向上を図るために施設内では、ビデオ撮影をして自分たちの保育の振り返りを確認しあった。

環境整備では、いのしし対策に柵を見積もったが、年度中に取り掛かれず来年度持ち越しとなった。

2. 主な年間実施行事

月	行 事 内 容
4 月	1 新入児親子歓迎会 7 愛護会総会・クラス懇談会
5 月	8 花まつり 12 愛護会役員会 19 ばら親子で遊ぼう Day! 25 2 歳児遠足（平群北公園） 26 さくら親子で遊ぼう Day!
6 月	7 歯科検診 10 愛護会交流会・役員会 23 ひまわり親子で遊ぼう Day! 30 ちゅうりっぷ親子で遊ぼう Day !
7 月	4 プール開き・春季健康診断 6 七夕誕生会 14 愛護会役員会 18 不審者訓練 27 クレヨン演奏会 31 全体リズム
8 月	4 愛護会役員会 24 滝寺地藏盆 24 プール終了 26 さくら・すみれ親子で遊ぼう Day! 27 ばら川遊び 28 さくら川遊び 29 敷地内合同訓練 31 夏祭り
9 月	1 鑑賞会・役員会 27・28 運動会予行練習
10 月	6 運動会 10 2 歳児芋掘り 13 愛護会役員会 26 2 歳児遠足（宝山寺児童遊園）
11 月	1 さんまパーティ 6 交通安全訓練 10 お散歩交流会・役員会 13 滝寺七五三参り 28 秋季健康診断
12 月	3 人形供養 8 愛護会役員会 21 クリスマス会
1 月	12 愛護会役員会 14 とんど 27 法人研究発表会
2 月	1 節分 9 みんなのフィスティバル
3 月	1 ひな祭り 2 クラス懇談会 7 お別れ遠足（平群中央公園） 16 卒園式 19 人形劇鑑賞 22 お別れ会 25 H31 年度クラス発表

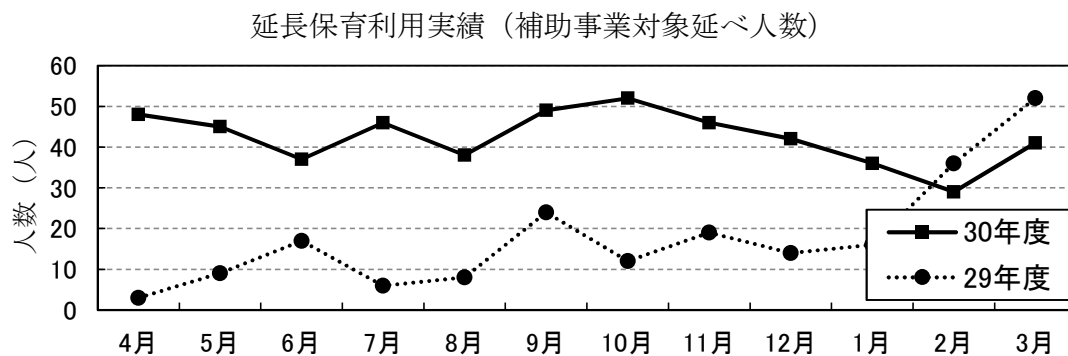
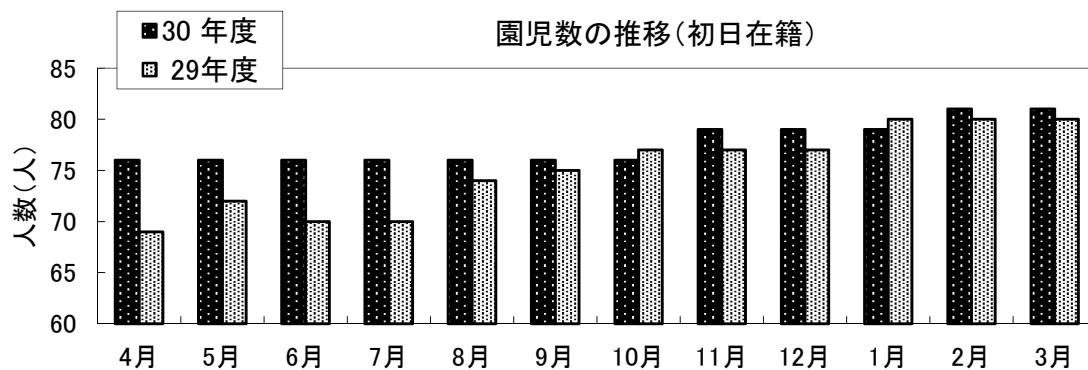
<毎月>誕生会・避難訓練・職員会議・食育の日・給食会議・

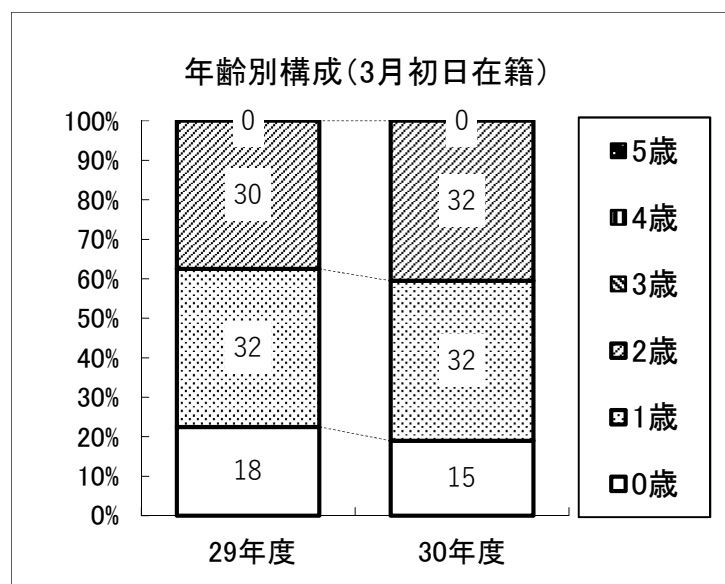
3. 職種別職員構成

職種	施設長	事務	主任保育士	保育士	栄養士	調理師	合計
定数	1	1	1	18	1	1	23
常勤	1	1	1	16	1	2	24
非常勤				12		1	11
現員計	1	1	1	28	1	3	35

4. 月別利用実績・延長保育利用実績・年齢別構成

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
初日	76	76	76	76	76	76	76	79	79	79	81	81	充足率 103%
入園	29	1	0	0	0	0	0	3	0	0	2	0	
退園	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	





5. 主な研修

月	研 修 内 容
4	美術部会・年齢別保育研修
5	リクルーター研修・幼小接続事業研修・救急法研修・領域別研修・ 生駒市保育会研修・就学前教育教職員研修
6	法人衛生管理研修・奈人権保育第1回研修会
7	法人ステップアップ研修・乳児部会研修・近畿ブロック保育研修 不審者訓練・救急法講習　県保育士研修・食と健康を考えるシンポジウム 感染症対策研修
8	熱中症対策研修・Grade3・保健衛生会議
9	法人主任研修・美術部会・Grade3・乳児部会
10	生駒市保育士研修会・Grade3・乳児院研修・法人主任研修・乳児部会 事務研修・実習指導者研修・法人事務研修・事故防止研修
11	Grade3・美術部会・施設長研修会・造形表現図画工作美術教育全国大会 市保育士会研修・月曜会研修・法人主任研修
12	Grade3・乳児部会・
1	キャリアアップ研修・防災教育研修・生駒市保育士研修会・市人教研究大会・ 全国人権保育研究集会・日本保育保険協議会近畿ブロック研修 法人研究発表・市保育士会研修
2	キャリアアップ研修・奈人権保育研究大会・新採用者内定研修 子どもの育ちを支える運動研修会
3	新採用研修・乳児部会・施設給食関係者研修・奈良県民間保育園連盟研修 人権保育実践研修・基礎研修

6・施設の改善、備品購入、修繕等

- ・アクティブプレイ・ソフト平均台・4連マット等
- ・修繕 手洗い改善・点検に伴う修理・スチームコンベクション修理等

7. 県・市等からの委託事業、補助事業

- ・乳児保育事業 ・延長保育事業 ・地域子育て支援拠点事業

8. 地域貢献、広報活動

- ・園庭開放
- ・梅寿荘デイセンターや憩いの家・いこまこども園2歳児さんとの交流
(感染症などで中止になったことも多かったので交流会の見直しが必要)
- ・園だより・クラスだより・保健だより・給食だより・このゆびとまれ冊子

9. 主な寄付金

- ・卒園記念品 (ピアノカバー)

10. ボランティア、招待

愛護会活動 (古着リサイクル)

11. 実習生、職場体験等の受け入れ

- 実習生 ・奈良文化女子短期大学 1名 ・大阪樟蔭女子大学 8名
- ・相愛大学 1名
 - ・職場体験 ・生駒中学校 5名・緑ヶ丘中学校 4名

12. 主な見学者

入園希望の保護者や新採用見学者

13. 苦情の実績 2件

- ・噛みつきについて (1件)
- ・保護への対応や子どもの受け入れについて (1件)

14. その他、特筆すべき事業内容など

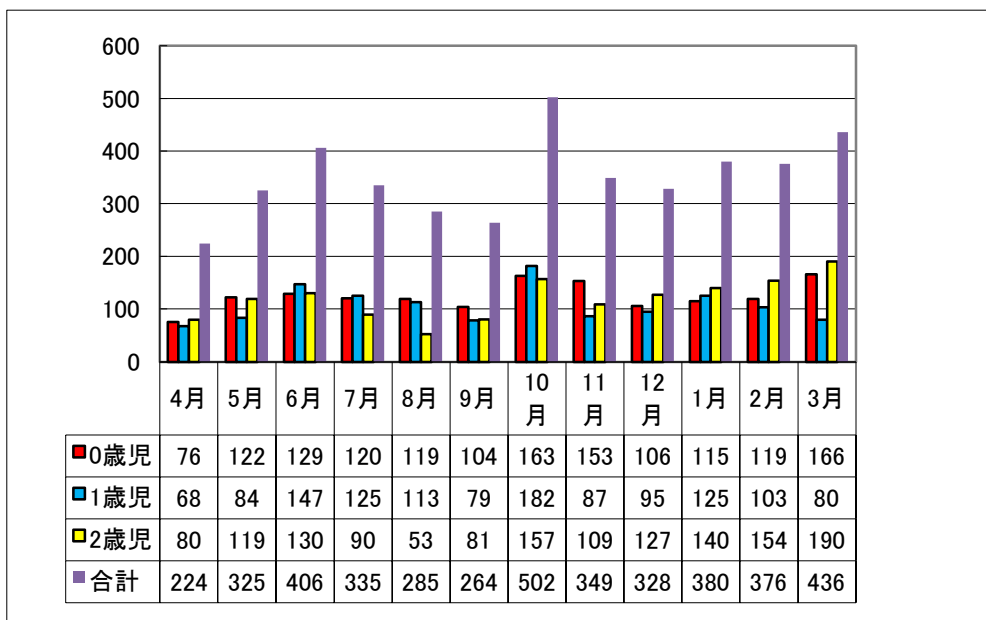
地域子育て支援センター

今年度も出向き行事のベビーマッサージから拠点を知り来所される方、利用者さんからの紹介で来所される方、第2子出産後に来所される方が多く子育ての悩みなどを共有・助言するなど利用者同士で助け合う姿も見られた。看護師さんや栄養士さんの専門的なお話も身近に聞けるので好評であった。今年度も拠点からの入園希望者も多く入園に繋がっている。

1. 相談内容分析結果（面接・電話を含む）

育児相談内容の分類	件数
発育・発達に関する事	353
健康・医学的問題に関する事	259
しつけ・教育に関する事	330
生活習慣に関する事	256
家庭関係・親子関係に関する事	181
子育て不安・育児ストレスに関する事	200
就労との両立に関する事	58
経済的に問題に関する事	9
子育て以外の家族関係（夫婦・祖父母等）に関する事	87
保育所・センターの利用・サークル等に関する事	251

2. 参加人数 年齢別・月別人数グラフ



3. H30年度、拠点事業の年齢別参加人数

	0歳児	1歳児	2歳児	子ども	大人	合計
実施数 236回	1492	1288	1440	4210	3837	8047

1日の利用数 34.1名 組数 3816組（1日16組）

いこまこども園

1. 事業の概要

年度当初より職員不足の解消できず、保育園部（2，3号認定）においては終始定員を満たすことができなかったが、幼稚園部（1号認定）のニーズは年度途中より増加した。病後児保育利用は年々減少にあり開設以来最低の数字となった。

また前期は集中豪雨により、雨水がベランダから保育室へ流れ天井が抜ける被害がでた。階下の給食室、事務室、ホール等へも漏水し園舎北半分が水浸しとなったため電気工事を含めた修繕を行った。

後期に入り園庭の南半分を塞いでの乳児棟増築事業を開始。いくつかの障害により工事を停止するという状況もあったが、関係者の尽力により慎重、安全に工事が進められ、3月末には待望の竣工落慶法要が執り行われた。生駒市待機児対策事業による本格的な0歳児のみの保育室の完成となった。

3月上旬、1歳児園児がO157を発症。生駒市からの指導により発症関係クラスを3日間の学級閉鎖とした。また郡山保健所によって、関係クラス園児・職員、発症家族の検便を行った結果、兄弟間園児の感染が確認されたが、いずれも健康状態が安定していたことと、園内提供物が原因ではなかった為、拡大することなく3月中に終息宣言を行った。

法人研究発表では「メンター制度を取り入れた職員育成」～見守りの中での人育て～は、入職3年～5年の職員をメンターに、新任をメンテーターとしてペアを組み定期的に面談をもった。職員間で悩みや問題を共有したことでコミュニケーションの増加、悩みや不安が軽減された。園内外の研修としては、人的環境、物的環境を整え、園児、職員にとって安心安全な保育環境づくりの研修を、国・県主導で進められている処遇改善に伴うキャリアアップ研修は「保育の質を高めるための担保」として義務付けられ、大半の職員が受講し自己研鑽を行った。

2. 主な年間行事

月	行 事 内 容
4	6 始業式 7 入園式 13 新入園児歓迎会 14 クラス懇談会・愛護会総会
5	8 お花まつり 10 交通安全教室 16 尿検査 22 防犯教室 24 歯科検診 25 幼児組生駒山上遠足
6	1 創立記念日 2 園内清掃 5 内科検診 12 火災総合訓練 14 内科検診 22～23 青組お泊り保育 26 プール開き
7	6 七夕のつどい 9 シェイクアウト訓練 20 一学期終了
8	4 どんどこ祭り 29J アラート訓練
9	3 始業式 6 不審者侵入訓練 14 祖父母参観 19 職員健康診断 23 宝山寺万灯会

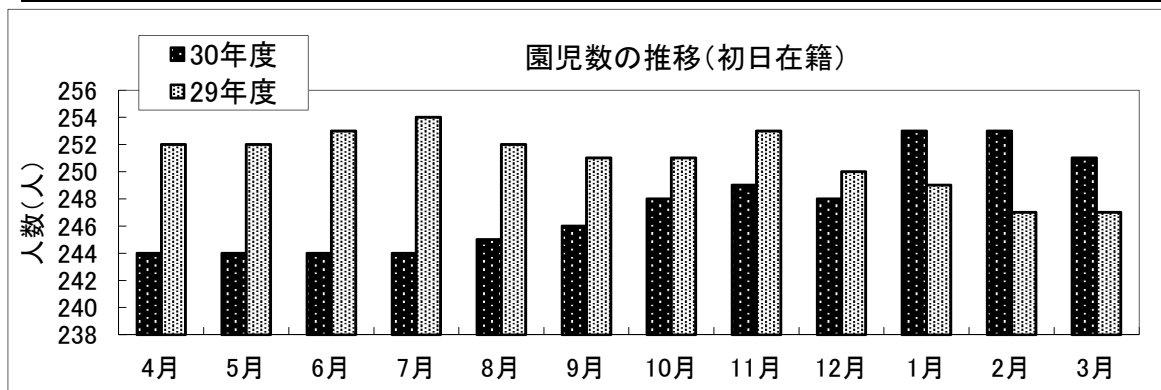
	行灯絵奉納 29 愛護会秋祭り
10	11 地鎮祈願法要 28 運動会 31 秋の遠足
11	6 警察防犯紙芝居 9 検尿 13 焼き芋会 13 七五三詣り（滝寺）15 七五三詣り（宝山寺）20 内科検診・インフルエンザ予防接種 21J アラート訓練
12	1 作品展示週間 3 滝寺人形供養 11 餅つき 21 クリスマス会 21 二学期終了 28 保育終了
1	4 保育開始 8 始業式 9 1 1 0 番の日広報活動 11 幼年消防クラブ出初式参加 18 上棟祈願法要 20 愛護会防災研修会◇四歳・五歳児、職員、CAP 指導 8 回
2	1 節分会 2 保護者への CAP 指導 19 指導監査 20J アラート訓練 24 春をよぶつどい
3	1 ひな祭り会 2 入園説明会 6 お別れ遠足 8 お別れバイキング 22 三学期終了 23 卒園式 30 竣工落慶法要・新年度準備
毎月	誕生会・消火避難訓練・身体計測・職員会議・給食会議・愛護会役員会

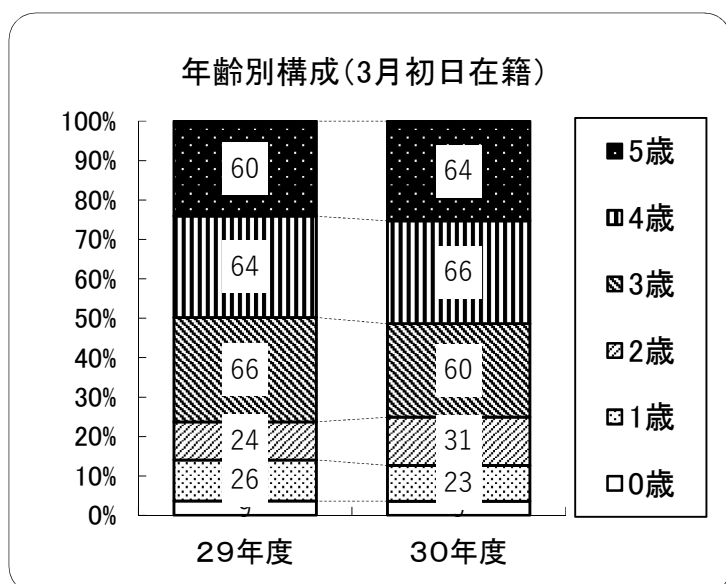
3. 職種別職員構成（3 月末）

職種	園長	副園長	事務	保育教諭	保育補助	看護師	その他	合計
定 数	1	1	1	24				27
常 勤	1	1	1	19				22
非常勤			1	7	2	1	2	13
現員計	1	1	2	26	2	1	2	35

4. 月別利用実績 定員 265 名（1 号認定 15 名、2 号認定 180 名、3 号認定 70 名）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	充足率
1 号	9	9	9	9	12	12	14	16	17	17	18	18	101%
2,3 号	235	235	235	235	233	234	232	232	232	236	235	233	94%
合計	244	244	244	244	245	246	246	248	249	253	253	251	97%





5. 病後児保育実績

◇年間利用数 11 名

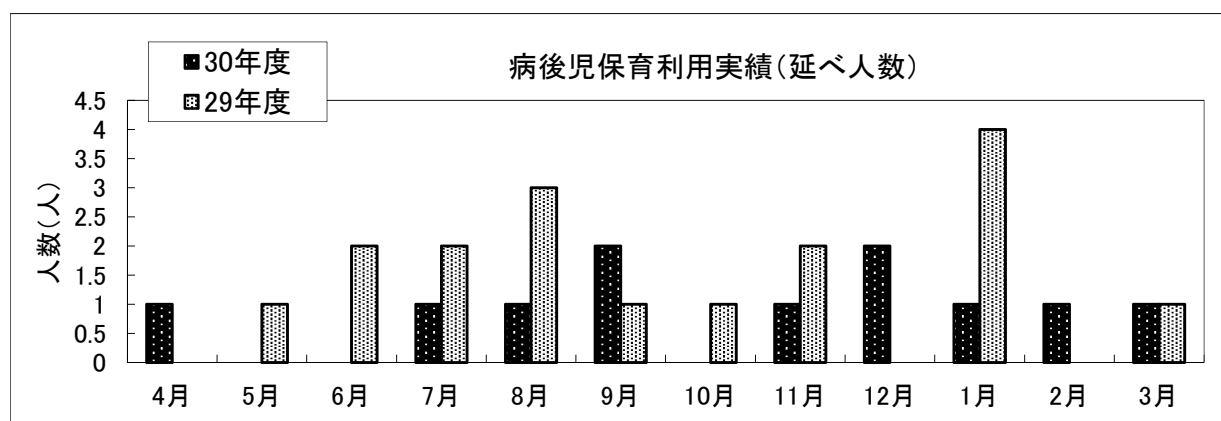
◇病後児保育室利用登録数】 353 名

◇利用病名 (延べ人数)

急性気道感染症 (8 名)・嘔吐下痢症 (1 名)・突発性発疹 (1 名)

病後児保育利用実績

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
人	1	0	0	1	1	2	0	1	2	1	1	0	11



6. 主な研修

月	研 修 内 容
4	生駒市公私立保育園保健担当研修会 法人事務研修
5	市保育士会総会・研修会 県保育士会総会・研修会 保育協議会総会・研修会 赤十字研修会 保幼小接続研修会 民間保育園連盟研修会
6	市給食担当研修会 健康保険委員研修
7	市救急法研修会 県人権教育研究会 近畿ブロック保育研究大会 保育士竜谷会 感染症対策研修会
8	平和・解放教育講演会 夏期保育研修計 16 名 県外国人教育研究会 地域ぐるみ 保幼小交流学習会 スポーツプログラム研修 教育・保育内容研修
9	青年経営者会研修
10	日保協全国研究大会 法人事務研修
11	市保育園保健担当研修会 市保育士会研修会 事故防止研修会 園職員研修：元 興寺見学・仏像切り絵体験 図画美術全国奈良大会
12	県保育研究大会 保育内容研修会 県保育士働き方リーダー会議
1	県キャリアアップ研修 県保育内容研修会 法人研究発表会 市保育会研修 会 生駒市園長会 生駒市防災研修
2	県キャリアアップ研修
3	法人新任研修会

7. 施設の改善・備品購入・修繕等

- (1) 水害による漏水箇所の修繕
- (2) 乳児棟増築
- (3) 乳児保育室ロッカー
- (4) 乳児保育室大型滅菌庫
- (5) 園舎各所改修

8. 県、市からの委託事業・補助事業

- (1) 乳児保育事業
- (2) 延長保育事業
- (3) 病後児保育事業
- (4) 生駒市火災予防推進事業（幼年消防クラブ）

9. 地域貢献、広報活動

- (1) 地域子育て家庭への園庭開放・育児相談
- (2) 施設の開放利用（かぎろひコーラス）
- (3) 地域ぐるみ推進委員会に参加（緑ヶ丘中学校区）

- (4) 「小さな親切」運動に参加 (古切手収集)
- (5) 地域高齢者の方々と交流事業実施 (幸楽)
- (6) 地域大学との卒業研究協力 (近畿大学)
- (7) 地域大学との共同研究 (食育：近畿大学)
- (8) 幼年消防クラブ啓発活動
- (9) 園だより「そよかぜ」・クラスだより毎月発行
- (10) 愛護新聞 (年 2 回発行)・卒園文集発行

10. 主な寄付

- ・乳児棟増築工事竣工祝

11. ボランティア

- (1) かぎろひコーラスグループ (クリスマス会出演)
- (2) 「似ラックスクラブ」作品展に似顔絵奉仕
- (3) 畿央大学教員 1 名、学生 5 名 (卒園証書カバー染付指導)

12. 実習生、職場体験の受け入れ

① 大学・短大

常盤会短大	2	京都女子大学	3	大阪信愛女学院	2
同志社女子大学	1	奈良佐保短期大学	4	畿央大学	1
帝塚山大学	1	甲南女子大学	1	龍谷短大	1

② 中学

生駒市立緑ヶ丘中学	3	生駒市立生駒中学	4	生駒市立上中学	3
奈良市立富雄中学	2	生駒市立大瀬中学	3		

13. 主な見学者

- (1) 入園のための施設見学
- (2) 採用のための施設見学

14. 苦情受付など

受付回数 5 回

- 保護者交通マナー
- 建設中の騒音
- その他

あすかの保育園

1. 事業の概要

4月、5月は0歳児クラスの入所人数が3名未満だった為運営費の主任保育士専任加算の適用が外されるという影響があったが、夏には定数となり安定した。

今年度は、新指針に沿った乳幼児の保育のあり方を見学や研修を通して職員で共通理解を行った。また小学校接続に向けてはアプローチカリキュラムの作成や、地域の保幼少との交流会や連絡会に参加するなど積極的に取り組んだ。環境面ではホールの塗装工事及びホール、乳児室の照明のLDE化を実施した。

2. 主な年間実施行事

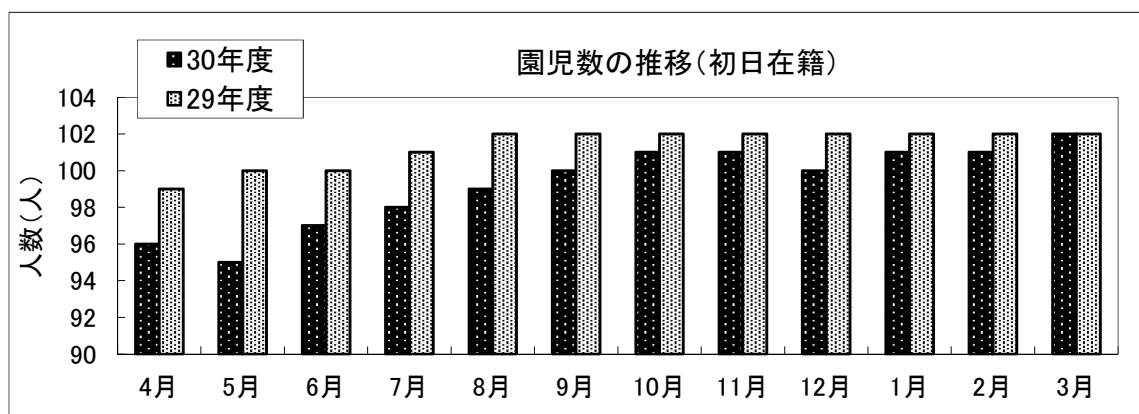
月	行 事 内 容
4月	2 入園式 19 交通安全教室 21 愛護会総会
5月	8 花まつり 16 遠足 19 クラス懇談会 23 前期健康診断 26 保育参観 30 検尿
6月	4 歯科検診 22・23 合宿 26 プール開き
7月	14 夏まつり 19 防犯訓練
8月	4 あすか野ふれあい祭り・どんどこ祭り 28 防犯紙芝居
9月	3 プール終い 20 聴力検査
10月	6・8 運動会（雨天の為2日間） 16 人形劇（民生委員） 19 職員健康診断 23 遠足 25 消防訓練 26 あすか野幼稚園交流会 29 焼いもパーティー
11月	2 祖父母参観 8 さんまクッキング 14 後期健康診断 20 防犯教室 21 あすか野幼稚園交流会
12月	1 大掃除 5 おもちつき 6 絵本読み聞かせ 11 クリスマスバイキング 21 クリスマス会
1月	10 観劇「劇団風の子」 19 クラス懇談会
2月	16 発表会 22 あすか野幼稚園交流会
3月	1 新入面接 7 お別れバイキング 8 絵本読み聞かせ 12 お別れ遠足 23 卒園式
月 例 行 事	誕生会・避難訓練・身体計測・全体リズム・お茶のおけいこ（年長児） 職員会議・給食会議・愛護会役員会（年6回）・クッキング・ルッキング

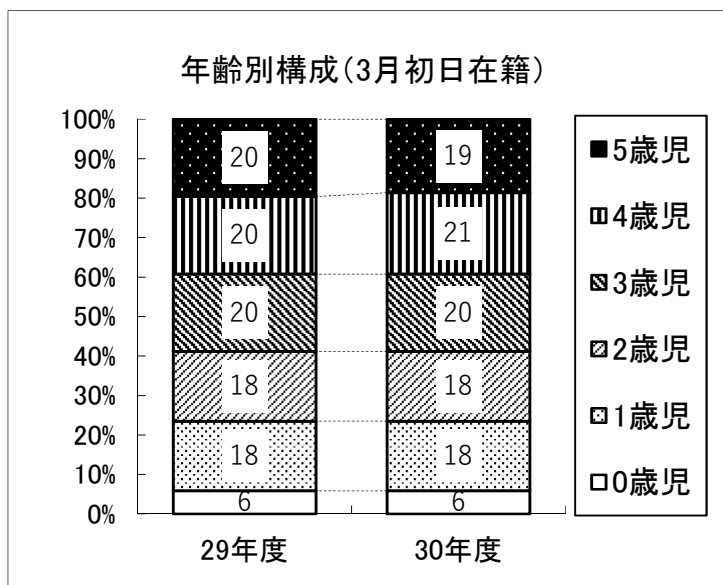
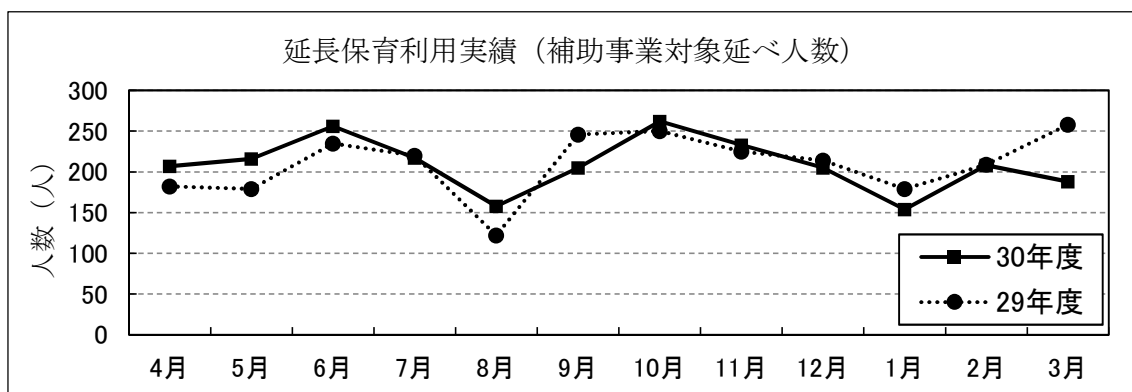
職種	園長	主任 保育士	事務	保育士	栄養士	調理師	その他	合計
定数	1	1	1	11	1	1		16
常勤	1	1	1	11(1)	1	2		18
非常勤				8			3	11
現員合計	1	1	1	19(1)	1	3	3	29(1)

3、職種別職員構成（3月末現在）（カッコ内は育休中）

4、月別利用者実績 定員 90 名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
初日在籍	96	95	97	98	99	100	101	101	100	101	101	102	充足率 110%
入園	15		2	1	3	1	1		1		1		
退園	1			2				1				19	





5、主な研修

月	研 修 内 容
4 月	市園長会 年齢別保育講座
5 月	市保健担当者会議 赤十字幼児安全法研修 市保育士総会 年齢別保育講座 民間保育園連盟研修会 県園長会 市人権教育研修会総会 市保幼小接続会議 領域別保育講座 市給食担当者会議
6 月	法人衛生研修 衛生研修 県園長研修講座 子育て支援ネットワーク 市給食担当者会議
7 月	法人ステップアップ研修 近畿ブロック保育研究大会 救命法講習会 夏の実技講座 県保育士部会研修会 市要保護児童対策協議会 県労働局雇用環境ワークショップ
8 月	保育所保育内容研修会 市人権教育新人研修 県栄養士スキルアップ研修 地域ぐるみ保幼小交流学习会
9 月	法人主任研修 市保育士会研修 市園長会
10 月	法人保育研修会 法人主任研修 特定給食施設職員研修会
11 月	保育所健康安全保育研修会 市保健担当者会議 県保育園研修会

	全国造形美術研究大会 市保育士会 法人主任研修 市保幼小接続事業研修会
12 月	県保育研究大会 県保育内容研修会
1 月	市園長会 市人権問題研究大会 法人研究発表会 市防災教育研修 市保育士会研修 県保育内容研修会 キャリアアップ研修
2 月	市保育士会研修 法人栄養士研修会 児童福祉施設給食関係者研修会 法人事務研修 キャリアアップ研修
3 月	市給食担当者会議 県給食関係者研修会 民間保育園連盟研修会 法人新任研修会

6、施設の改善、備品購入、修繕等

- (1) ホール天井部鉄骨塗装工事
- (2) 乳児保育室・ホール・プラザの照明の LED への更新
- (3) 正門横壁のブロック撤去、ミニフェンスの取り付け工事
- (4) 大型木製遊具の撤去

7、県、市からの委託事業、補助事業

- (1) 延長保育事業
- (2) 乳児保育事業

8、地域貢献、広報活動

- (1) 園庭開放
- (2) 地域ぐるみ推進委員会に参加
- (3) あすかの幼稚園との交流保育(年 3 回)
- (4) 園だより・クラスだより・給食だより (月 1 回発行)
- (5) 愛護会ニュース (随時発行)
- (6) 保健だより・卒園文集発行

9、主な寄付金

愛護会より行事補助・卒園記念寄付

10、ボランティア、招待

園児と交流 (奈良北高校家庭クラブ)

年長児お茶のお稽古 (杉原) 環境整備 (中川・丸尾)

保育ボランティア (関西国際大学 1 名)

11、実習生、職場体験等の受け入れ

大学・短大

大阪樟蔭女子大学	2 名	奈良学園大学奈良文化女子短期大学	2 名
帝塚山大学	1 名	奈良保育学院	1 名
大阪国際短期大学	1 名	平安女学院	1 名

中学生職場体験

生駒中学校	3 名	緑ヶ丘中学	3 名
上中学校	3 名		

12、主な見学者

入園希望者他

13、苦情の実情 3 件

駐車場・騒音・怪我による永久歯の生え変わりについて

こども支援センターあすなろ

3. 事業の概要（基本方針に対して）

個別支援計画に沿った個別指導や療育、小集団での遊びを通じて、こども一人ひとりの発達を援助するとともに、基本的生活習慣や集団生活に適応できる社会性を 育む支援を行い、必要に応じて子育て支援や家庭支援を行った。さらに関連機関等との連携を図るために保育園、幼稚園、こども園で施設支援を行った。

また、療育に適した良好な環境づくりのため、職場内研修や外部の専門研修に積極的に参加するとともに、照明設備の LED 化や電話機器の更新等を行い、施設設備の充実を図った。

4. 主な年間実施行事

月	行 事 内 容
4	あすなろサービス開始 母子通園 家庭訪問 滝寺お花祭り
5	つくしんぼ(保護者の集い) 健康課母子連絡会 就学に向ける勉強会① どならない子育て練習法
6	内科健診 ことばの教室連絡会 就学に向ける勉強会② プール開き どならない子育て練習法
7	七夕祭り 阪奈中央看護学校実習（～10 月）
8	あすなろの集い
9	つくしんぼ 健康課母子連絡会 窓から参観
10	親子遠足 うんどうかい（於：市民体育館） どならない子育て練習法 さくらんぼ広場
11	親子通園 総合消防避難訓練 どならない子育て練習法
12	滝寺人形供養 クリスマス会 大掃除
1	法人研究発表会
2	生駒市健康課連絡会 就学に向けての勉強会（年中）ドックセラピー
3	ひな祭り 新規利用児説明会 卒園式
その他	誕生会、合同リズム、身体測定、職員会議、給食会議など毎月実施 避難訓練 2 ヶ月に 1 回実施

生駒市障害者地域自立支援協議会(担当者会、こども支援部会、権利擁護部会)に参加
生駒市要保護児童対策地域協議会実務者会議に出席

5. 職種別職員構成

職種	施設長	事務	保育士	相談支援専門員	発達相談員	看護師	合計	栄養士調理士	嘱託医
基準(定数)	2	1	14	2	0	0	19	委託	委託
正規(含契約)	2	1	19	3	1	0	26	委託	委託
非常勤	0	0	22	1	1	2	26	委託	委託
現員数合計	2	1	41	4	2	2	52	委託	委託

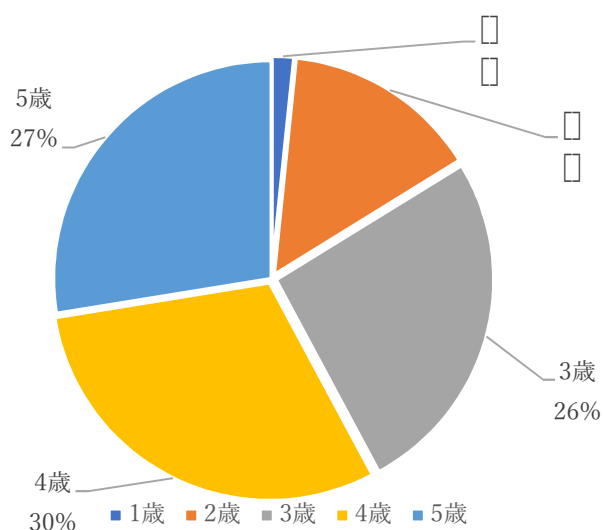
6. 在籍数月別実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
あすなろ	21	26	26	26	26	27	27	27	27	27	27	27
メディカル	84	85	87	88	89	90	90	91	90	91	91	91
あずさ	59	62	63	65	65	66	67	67	67	67	67	67
合 計	164	173	176	179	180	183	184	185	184	185	185	185

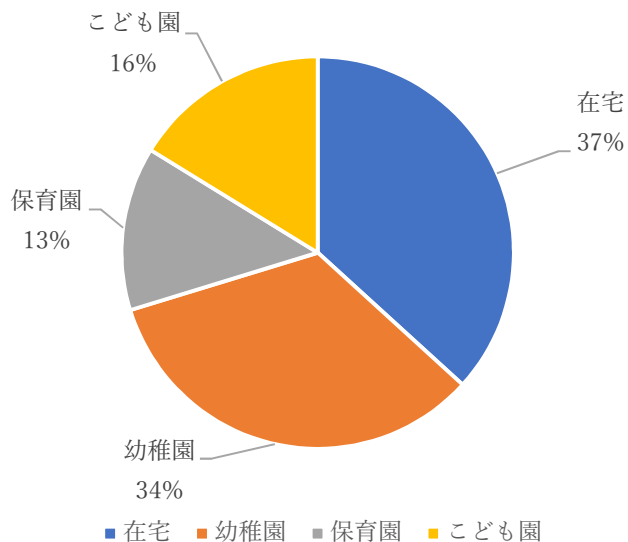
7. 利用児の状況

	在宅	幼稚園	保育園	こども園	合計
1 歳	3	0	0	0	3
2 歳	27	0	0	0	27
3 歳	25	9	8	6	48
4 歳	9	23	10	14	56
5 歳	4	30	7	10	51
合計	68	62	25	30	185

年齢別



通園別



主な研修・会議

月	研 修・会 議 内 容
4	養育支援事業にかかる研修会
5	ファシリテーター養成研修 赤十字幼児安全研修
6	職場内職員研修（リズム運動） 全国児童発達支援協議会全国職員研修 重症心身障害児への3大ケア 視覚障害聴覚障害のある子どもの支援 方法研修 ミュージックケア奈良セミナー マカトン法ワークショップ
7	自閉症スペクトラム症にかかる研修 法人ステップアップ研修
8	全国障害者問題研究会全国大会
9	法人主任研修会（9・10・11月）CDS 全国職員研修会・発達支援事業人材育成研修
10	相談支援就業支援セミナー 全国児童発達支援通園事業連絡協議会研修
11	感覚統合研究大会奈良 サービス利用計画専門研修 発達診断セミナー
1	法人研究発表会 奈良県サービス管理責任者研修 マカトン法ワークショップ 施設内嘔吐研修
2	全国施設管理者研修会
その他	奈良県障害者総合支援センター見学会 盲学校幼稚部授業見学会

8. 県、市からの委託事業、補助事業

相談支援業務の件数（相談実人数）

月	一般相談	計画相談 （モニタリング）	発達相談	電話相談	施設支援等	個別支援会議等	関係機関調整	同行支援	その他の会議	合計
4	21	28	6	14	1	2	129	0	9	210
5	18	70	17	23	5	3	124	0	15	275
6	22	44	23	33	4	4	122	0	3	255
7	15	62	20	11	4	5	139	1	11	268
8	26	96	26	4	4	3	158	0	3	320
9	21	80	20	38	5	0	132	0	10	306
10	15	88	18	19	3	3	141	1	2	290
11	29	72	24	19	3	4	140	0	7	298

12	25	81	18	31	5	4	154	0	4	322
1	38	39	17	42	3	3	131	0	10	283
2	29	44	9	41	2	3	133	0	6	267
3	13	276	8	24	1	0	177	1	7	507
合計	272	980	206	299	40	34	1680	3	87	3601

9. 主な施設設備の充実

照明設備のLED化、電話機器の更新、こども用洗面台改修等

10. 地域貢献、広報活動

- (1) 生活支援センターあすなろ、生駒市内外の保育園や幼稚園へ出向き、こども支援及び指導者支援を実施
- (2) 広報紙「あすなろだより」の発行
- (3) ファミリーサポート スキルアップ講座 講師
- (4) 子育て総合支援センター主催ステッピングストーンズ・トリプルPファシリテーター派遣

11. 主な寄付

- (1) 複数の保護者から玩具、絵本の寄贈、保護者の祖父母から雛人形、一般市民から絵本

12. 実習生、職場体験等の受け入れ

- (1) 阪奈中央看護専門学校生 40名実習
- (2) 奈良女子大学大学院生1名、同大学学生5名

13. 主な見学者

- (1) 帝塚山大学教授、学生
- (2) 中地区民生児童委員
- (3) 生駒市内の保育園、幼稚園の教職員の方々

14. 苦情の実情

- (1) 保育に関するもの3件（うち、他園との連携を密にしてほしいと要望1件）
- (2) 施設設備（駐車場の確保）に関するもの6件
- (3) 職員の対応に関する苦情1件

15. その他、特筆すべき事業内容など

特になし

児童発達支援いっぽ

1. 事業概要

発達の支援を必要とする幼児に対して一人ひとりのニーズに応じた支援を行うとともに母子分離が困難で小集団での療育を希望される児童を対象に親子教室を実施しました。奈良市から指定管理の期間を1年短縮して平成32年度までとするとの通告があり、今後の対応が課題となっています。

2. 主な年間行事等

月	行 事 内 容		
4	保育開始・家庭訪問	10	園外保育・防犯訓練
5	親子教室・アフタークラス	11	保護者勉強会・職員研修
6	保護者勉強会	12	クリスマス会
7	療育ビデオ観賞・懇談会	1	ビデオ観賞・懇談会
8	公開療育・交流保育	2	公開療育
9	センター合同避難訓練	3	お別れ会・社会体験

個別療育、避難訓練は毎月実施

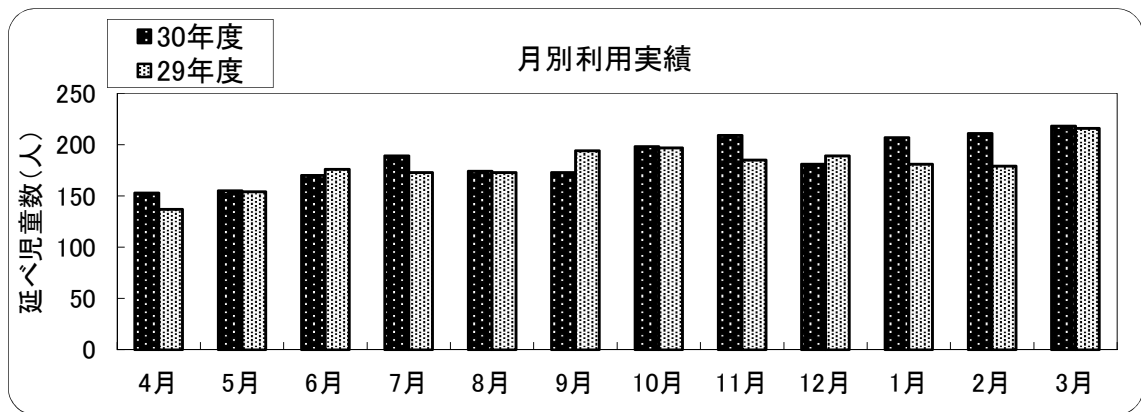
3. 職種別職員

職 種	施設長	管理責任者	保育士	事務職員	合 計
定 数	0	1	2	0	3
正規職員等	1 (兼)	1	2	0	4
非常勤職員	0	0	4	1	5
職員数合計	1	1	6	1	9

4. 月別利用実績（延利用人員）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開設日数	21	24	26	25	26	22	26	24	23	23	23	23	286
利用人員	153	155	170	189	174	173	198	209	181	207	211	218	2,238

年間利用率 78.3%(H29年度 75.3%)



5. 利用児の年齢別・通園状況（平成31年3月現在）

（1）年齢別

	男児	女児	合計
1歳児	3	2	5
2歳児	5	4	9
3歳児	13	1	14
4歳児	9	5	14
5歳児	5	1	6
合 計	35	13	48

（2）通園状況

在宅	保育所	幼稚園	認定こども園	合計
5				5
9				9
6		5	3	14
	4	8	2	14
	2	4		6
20	6	17	5	48

6. 職員の研修参加状況

- （1）障害児支援に関わる各種研修会等
- （2）児童発達支援事業所等連絡会(全国・奈良県・奈良市)
- （3）音楽療法研修会
- （4）法人主催研修、センター内自主研修

7. 地域、家庭等との連携状況

（1）地域支援

- ① 保育所・幼稚園等訪問 22園・24回
- ② 公開療育（いっぽ概要説明・療育参観・意見交換）の開催
 - I. 7月31日～8月4日（5日間） 17機関 33名参加
 - II. 1月28日～2月2日（5日間） 19機関 41名参加
- ③ 親子教室の開催 延べ36日 17組参加（延べ178組）

（2）家族支援

- ① 個別療育相談 139回
- ② 家庭訪問 22回
- ③ 保護者勉強会 3回開催 47人参加

④保護者交流会 12 回開催 42 人参加

⑤医療・作業療法等機関訪問 7 機関 16 回

⑤幼稚園、医療機関等関係機関への所見交付 4 件

＊その他随時個別に相談、助言等を行いました。

(3) 関係機関

①奈良市関係各課との連携を図りました。

②児童発達支援事業所及び医療機関等の関係機関との連携を図りました。

8. 広報活動

毎月「月だより」を発行

9. 地域貢献

(1) 親子教室、アフターフォロークラスの実施

(2) 奈良市障がい児通所支援連絡協議会に参画し事務局を担当

(3) ボランティアの受入れ

10. 苦情の実情 職員の対応について 1 件

平城児童センター

1. 事業概要

遊びや様々な体験活動等を通して児童の健やかな成長や情操を豊かにする取り組みを行いました。児童の異年齢間や保護者間の交流を深めることができました。利用者数が減少したので広報活動の強化を含めた対策が必要となっています。玄関通路、駐車場の修繕やキャンプ場の環境整備を行いました。

2. 主な年間行事など

4月	各サークル説明会 出席カード作り・春を見つけよう（はじめ・どろ）
5月	花植え・手形作り（はじめ・どろ）よもぎ摘み・餅付き（はじめ・どろ・地）農作業、平城宮跡散策、避難・消火訓練（地）
6月	どろんこ遊び（はじめ・どろ） 田植え（どろ） 芋掘り・コロッケ作り（はじめ・どろ）親子自炊（地）
7月	セタラリー（はじめ・どろ）流しそうめん（はじめ・どろ・地） デイキャンプ・創作活動（地）ボディペインティング（はじめ・どろ）
8月	合同夏祭り（はじめ・どろ・地）神戸どうぶつ王国（地）
9月	九条公園で遊ぼう（はじめ・どろ） 一閑張り（はじめ・どろ） マジック体験・チャレンジザゲーム（地）
10月	稲刈り（はじめ・どろ・地）いも料理（はじめ・どろ）運動遊び（地）段ボールすべり（はじめ・どろ）秋の運動会（地）
11月	曾爾キャンプ（地）自主保育（はじめ）コフフンで遊ぼう（はじめ・どろ） 新米パーティ（はじめ・どろ）
12月	木の実細工（はじめ・どろ）クリスマス会（はじめ・どろ・地） 収穫祭・リトミック（地）
1月	初詣・福笑い（はじめ・どろ）陶芸赤膚焼体験（地）ロング巻き寿司（はじめ・どろ）餅つき（はじめ・どろ・地）凧作り・凧揚げ（地）
2月	歌姫ロール（はじめ・どろ）元興寺節分会（はじめ・どろ）野鳥観察（はじめ・どろ）平城宮跡歴史公園散策（地）避難訓練・野外たんけん（地） 立体お雛様作り（はじめ）
3月	お別れ会（地）修了証書作り（はじめ・どろ）災害体験カレー（はじめ・どろ）修了式（はじめ・どろ・地）植樹（地）韃靼帽（はじめ）

（はじめ）『はじめてのいっぽ』／（どろ）『どろんこの森』／（地）『地域とのふれあい交流』

3. 職種別職員構成（平成31年3月末日現在）

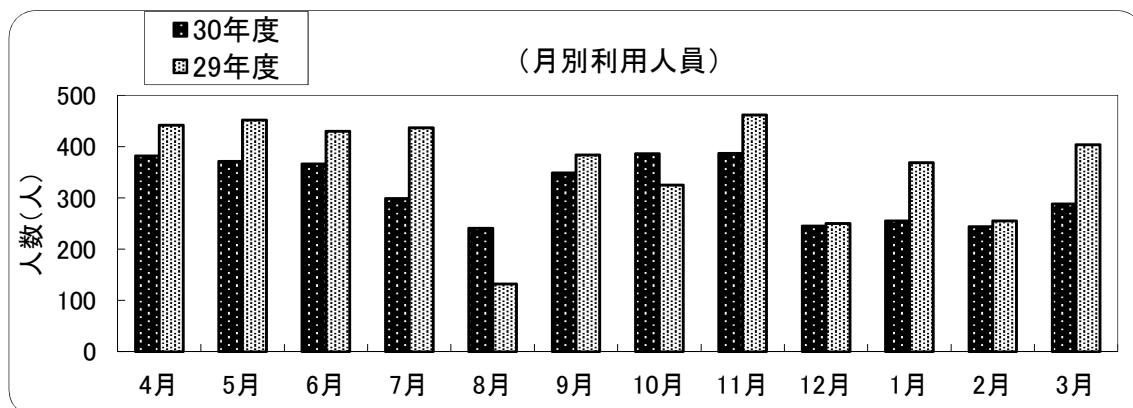
職 種	管理者	児童厚生員	その他	合 計
定 数	0	2	0	2
現 員	1(兼)	2	1	4

*児童厚生員2名：パート その他（環境整備員）1名：（パート）

4. 月別利用実績

	4	5	6	7	8	9	10
一般利用者数(キャンプ)	82	40	39	36	89	20	66
主催事業参加者数	300	331	327	263	152	329	320

11	12	1	2	3	合計	②合計
73	70	17	0	124	656	777
314	175	238	244	164	3,157	3,565



5. 職員の研修参加状況

児童健全育成推進財団会員総会（総会・研修会）

民間児童館ネットワーク会議（総会・研修会等）・ガラスアート研修

6. 奈良市の補助事業（民間児童館活動事業補助）

（1）地域とのふれあい交流 （2）はじめてのいっぽ （3）どろんこの森

7. 施設の改善、備品購入、修繕等

（1）玄関亀裂修繕工事・駐車場補修工事 台風9号に伴う倒木の処理

（2）自家発電機・屋外物置の購入

8. 地域貢献

（1）地元自治会に施設・設備の提供

（2）近隣耕作者に駐車場の提供や敷地内通行の便宜提供

（3）ボランティアの受入れ

9. 広報活動

（1）ホームページにセンターの概要及び主催事業の活動紹介等

（2）主催事業は奈良市広報紙（ならしみんだより）に掲載

（3）地域自治会及び子ども会育成会連絡協議会に広報用ビラの配布依頼

（4）公民館等に広報用ビラの掲載依頼（公民館・図書館・幼稚園等）

10. 苦情の実情 特になし

老人福祉施設 梅寿荘

2. 事業の概要

事業計画に対して、①の介護報酬改定後の事務的な対応は大きな混乱なくおこなえた。この改定で介護施設に期待される重度者対応や看取りなども例年以上に取り組むことができた。②の人材確保策として、ホームページに新たな採用サイトを立ち上げ、各専門学校との連携を構築するなど各取り組みをおこない、新卒採用に結びつけることができた。③の地域貢献では法人が参画する「まほろばレスキュー事業」の担当として、他法人とも連携し、実際に1件の困窮者をレスキューするなどの活動をおこなった。④の設備更新では、大きな設備としてボイラー設備を更新するなど、建物の経年にもなって順次すすめることができた。

全般的に、特養では8名の優先入所、18件の緊急ショートステイ利用を、養護では1名の措置入所を受け入れ、地域の福祉ニーズに応えた。一方で、特養では年間17名の退所があったものの、新規入所者本人の都合で入所できないなどのケースが相次ぎ、受け入れ調整が追いつかず、特養の利用率は低い水準に陥ってしまった。

2. 主な年間行事

月	行 事 内 容
4	2 理事長訓示 20 春の健康診断 27 施設内新任職員研修会
5	22 買物サロン 26 津軽三味線演奏
6	30 動物ふれあい会
7	1 豊永会民謡 2.3 七夕食事会
8	9 夏祭り 12 盆供養 17 法人新人交流会 19 吹奏楽演奏 25 動物ふれあい会
9	17 敬老会 19 マリンバ演奏 24 秋の彼岸法要 28 外食会
10	9 秋の散策 17 ミニ運動会
11	7 秋の散策 20 買物サロン 25 停電検査
12	6 動物ふれあい会 28 おもちつき 31 仕事納め
1	1 法要、お屠蘇配り 10 宝山寺参り
2	2 節分会 8 高齢者部門ボランティア懇親会 15 県実地指導監査
3	(ア) ひな祭り夕食会 5 極楽坊保育園来荘 18 サックス演奏 19 歌謡ショー 24 春の彼岸法要 29 奈良北高校来荘

毎月の行事：戸外買物（第2水曜）

3. 特養（職種別職員構成、月別実績、利用者状況）

職種別職員構成

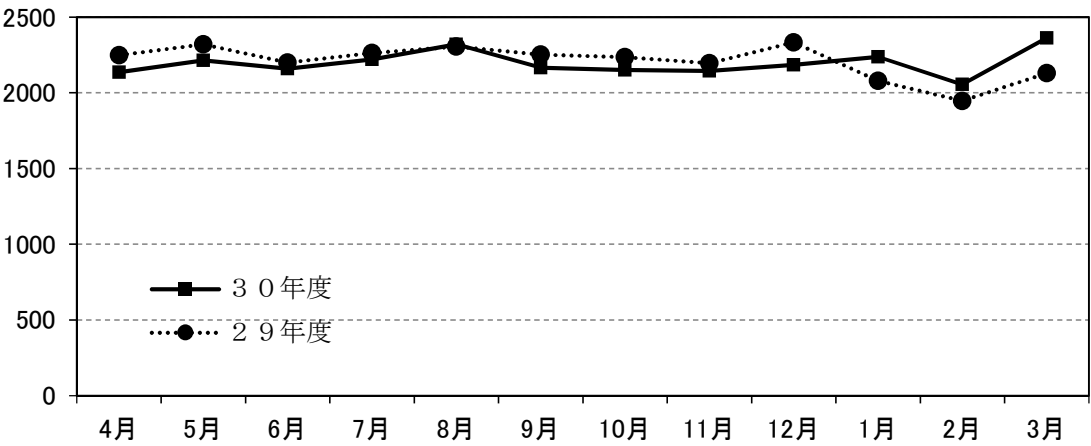
職種	施設 長	事務	介護 職員	相談 員	ケア マネ	看護 職員	栄養 士	調理 員	嘱託 医	合計
国の示す定数	1	－	27	1	1	3	1	－	1	35
正規（含契約）	1	2	27	1	2	3	1	4	0	41
パート	0	0	17	0	0	1	0	1	1	20
現員数合計	1	2	44	1	2	4	1	5	1	61

期末時点

月別実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
長期利用者延べ数	1983	1997	1966	2082	2116	2065	2019	2025	2081	2120	1926	2223	24603
入所	1	1	1	4	0	1	1	0	3	4	2	1	19
退所	2	2	1	1	1	1	1	2	1	2	2	1	17
短期利用者延べ数	153	218	194	139	204	100	133	119	104	118	129	140	1751
利用率（％）	89.0	88.5	90.0	89.6	93.6	90.2	86.8	89.3	88.1	90.2	91.7	95.3	90.3

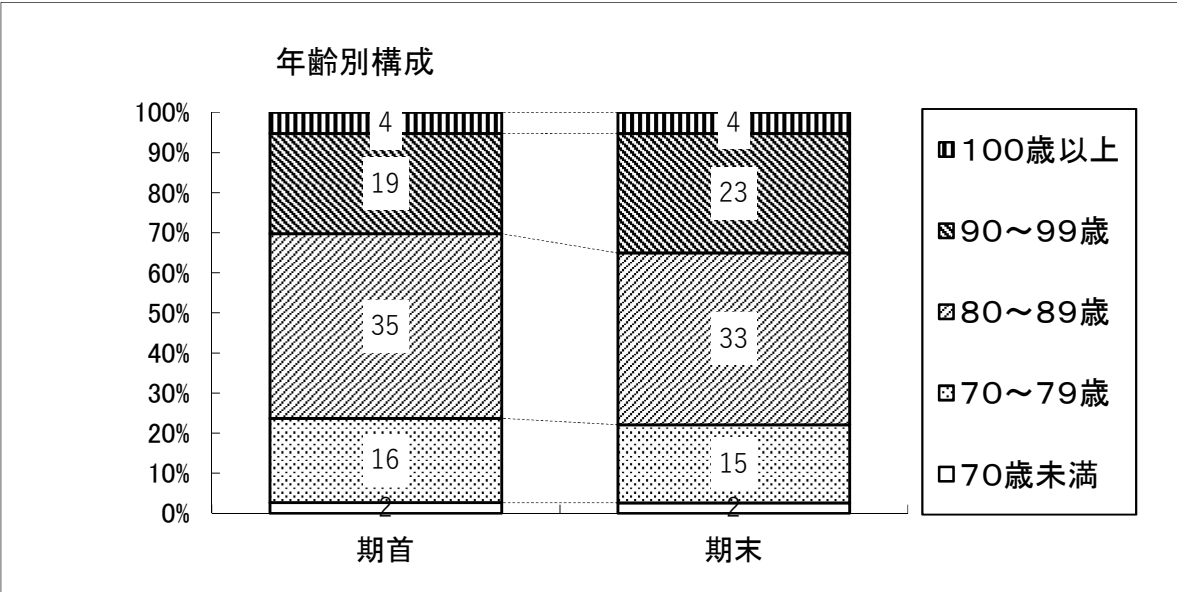
月別利用実績対比



利用者状況・年齢

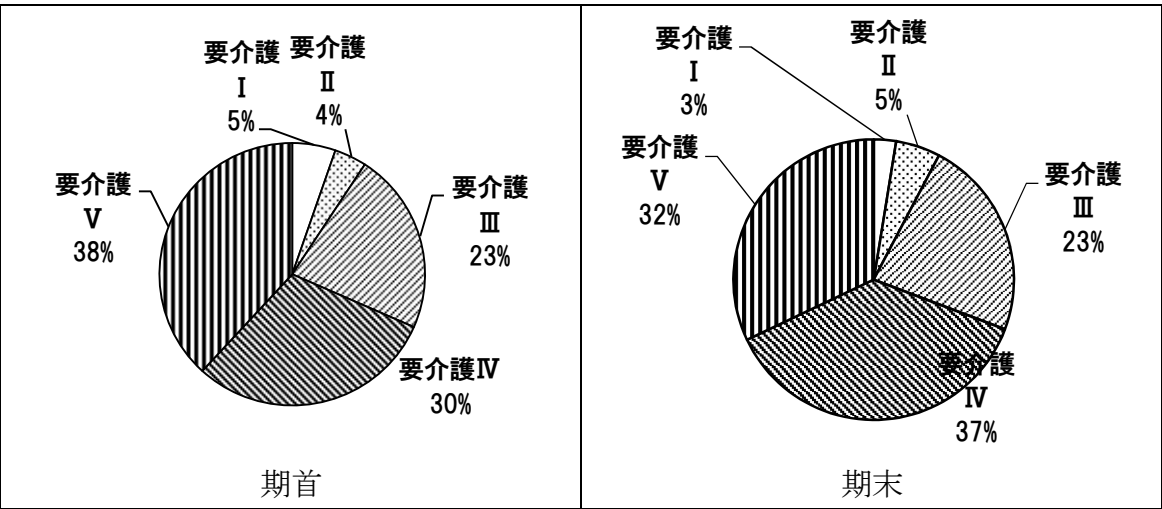
	70歳未満	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上
期首	2	16	35	19	4
期末	2	15	33	23	4

最年少64歳、最年長105歳



利用者状況・要介護状態

	平均	要介護Ⅰ	要介護Ⅱ	要介護Ⅲ	要介護Ⅳ	要介護Ⅴ
期首	3.92	4	3	17	23	29
期末	3.91	2	4	18	29	25



4. 養護（職種別職員構成、月別実績、利用者状況）

職種別職員構成

職種	施設長	事務	介護職員	相談員	ケアマネ	看護職員	栄養士	調理員	嘱託医	合計
国の示す定数	1	—	5	1	1	1	1	—	1	1 1
正規（含契約）	1	1	6	1	1	1	1	0	0	1 2
パート	0	0	6	0	0	0	0	1	1	8
現員数合計	1	1	1 2	1	1	1	1	1	1	2 0

期末時点

月別実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月初入所者数	20	20	20	20	20	20	20	20	19	20	20	20
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

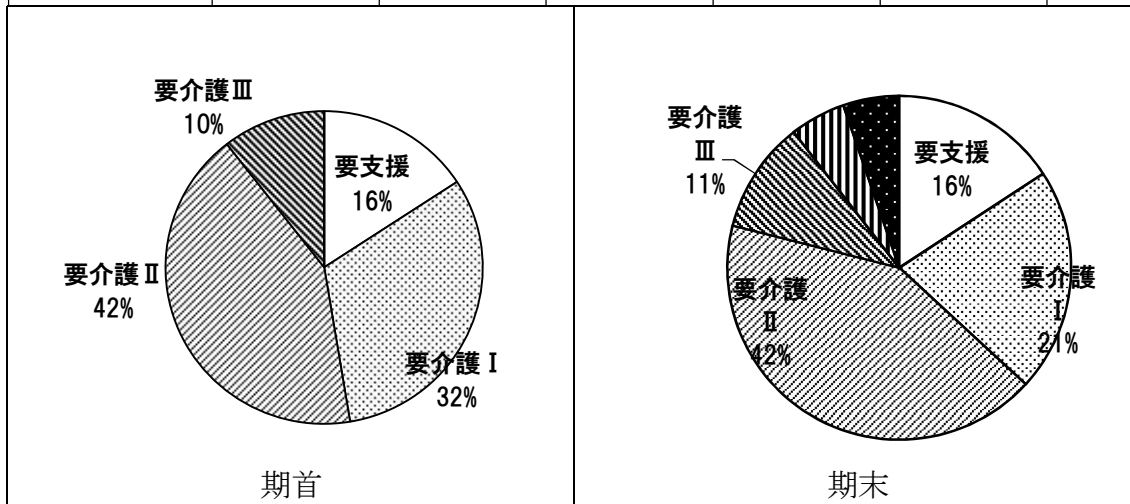
利用者状況・年齢

	70歳未満	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上
期首	1	5	9	4	1
期末	0	6	9	4	1

最高齢107歳

利用者状況・要介護状態

	要支援	要介護Ⅰ	要介護Ⅱ	要介護Ⅲ	要介護Ⅳ	要介護Ⅴ
期首	3	6	8	2	0	0
期末	3	4	8	2	1	1



5. 主な研修・会議への参加（特養・養護共通）

（１）外部の研修会議

月	内 容
5	青年経営協役員会、栄養情報提供書研修、県老施協総会、喀痰吸引研修説明会
6	県老施協サービス向上委員会、県老施協介護職員実践講座（通年）
7	近老施協職員研修会、介護職員ファーストステップ研修（通年）、青年経営協セミナー、食中毒予防講習会、県老施協養護部会
8	県社協栄養士研究会、まほろば幸いねっとレスキュー事業定例会議
9	県老施協施設長連絡会議、ケアマネージャー更新研修（通年）、青年経営協合同研修会
10	特定給食施設関係職員研修会、災害時の対応研修、県老施協事務職員研修、全国青年経営協セミナー、県老施協施設長連絡会議、まほろば幸いねっとレスキュー事業定例会議
11	県老施協施設職員研究会、県老施協養護部会オープンセミナー、全国老施協北九州大会、依存症の理解と回復過程研修、社会福祉士会実習指導者勉強会
12	県老施協施設長連絡会議、県老施協栄養士研究会、まほろば幸いねっとレスキュー事業定例会議
1	県老施協養護部会生活相談員研修
2	県老施協栄養士研修会、県老施協臨時総会、近老協セミナー
3	県老施協総会、県老施協養護部会職員研修会

（２）内部の研修会議

○施設内新任職員研修会、毎月の施設内研修会を実施

○法人の役員会、研修委員会、事務研修、衛生管理研修、新人職員交流会、ステップアップ研修、主任研修、施設長研修、研究発表会、年頭連絡会、内定式、新任職員研修、延寿と合同の優先入所会議に参加

6. 施設の改善・備品購入・修繕等

（５） 経年劣化に伴い、建物全体の非常用発電機を更新した

（６） 経年劣化に伴い、ボイラー２基を更新した

7. 県、市からの委託事業

特になし

8. 地域貢献・広報活動

(4) 参加・協賛

門前町自治会、生駒聖天さんどう会、エコねっと生駒、介護者家族の会、認知症啓発 RUN 伴

(5) 非営利団体への施設開放

生駒市（どんどこ祭り・滝寺プール利用者駐車場、コミュニティバスの駐停車）、寿大学（駐車場）、少年少女合唱団・ペパーミント（練習会場）、近畿乳児院協議会（研修会場）

(6) 講師などの人材派遣

時期	派遣先／催事	内容
6月 1日	奈良県自治研修所／2年目職員研修	講師派遣
6月 22日	県老協／介護職員実践講座	講師派遣
8月 2日	奈良介護労働安定センター／介護職員初任者研修	講師派遣
12月 25日	佐保短期大学／研究発表会	事例発表
通年	生駒市／介護認定審査会	委員派遣
通年	法人／介護職員初任者研修	講師派遣
通年	奈良県社協／介護福祉士 FS 研修	講師派遣
通年	奈良県社協／介護支援専門員実務者研修	講師派遣

(7) 「まほろば幸いネット」のレスキュー事業、西部圏域リーダー法人として、定例会や関係機関への訪問説明などをおこない、11月に他法人と連携して、実際の困窮事例のレスキューをおこなった。

(8) 機関誌「ことぶき」を年間4回発行し、ホームページでの情報発信、新たな採用情報サイトの立ち上げをおこなった。

9. 主な寄付金、補助金等

特になし

10. ボランティア・招待

定期活動として、喫茶、買物奉仕、お花教室、陶芸教室、買物付添い、障子はり、縫い物、メッシュクラフト、囲碁、傾聴などのボランティア活動で利用者の生活を支えていただいた。

また、2月8日に高齢者部門ボランティア懇親会を日航ホテル奈良で開催し、元興寺文化財研究所の服部光真先生に「元興寺の歴史と遺産」をテーマにご講演いただき、その後参加者89名のボランティアと職員とで相互交流をおこなった。

11. 実習体験等の受け入れ

介護福祉士実習（関西学研医療福祉学院） 5 名

社会福祉士実習（関西福祉科学大学） 2 名

栄養士実習（帝塚山大学） 2 名

介護職員初任者研修実習（梅寿荘養成講座・奈良介護労働安定センター） 8 名

福祉施設体験（奈良県自治研修所・教員免許取得） 4 5 名

職場体験（生駒中学校・緑ヶ丘中学校） 6 名

12. 主な見学者

5 月 関西福祉科学大学 1 5 名

10 月 奈良弁護士会 4 名

12 月 種智院大学 9 名

※ 他、採用に向けての見学、説明会の希望者を随時受け付け。

13. 苦情の実情

受付 2 件、主に家族から介護内容について。説明をして解決済み。

14. その他

特になし

老人総合福祉施設 あくなみ苑

特別養護老人ホームあくなみ苑

ショートステイあくなみ苑

1. 事業概要

現在導入中の介護ロボット（リショナー）のご利用対象者の方の検討、見直しを行った結果、対象のご利用者の方は2名おられ導入した台数2台が稼働し活躍していたが、現在、1台は使用できていない。リショナーの効果に関してはご利用者の負担軽減と職員負担の軽減が行えており、効果としては大きいものがあると考えられるが対象者になる方のADL等による条件で使用が制限される事が今後の課題である。

あくなみカフェに関して当初の最終目標である地域の方の参加については、苑のハード面で保健所からの許可をもらう上で予算を大幅に上回ってしまう工事費がかかってしまう事から、目標は一旦保留という形を取る事となった。ご利用者へのカフェの提供に関しては年度内に2回実施をする事が出来た。内容としては体操やボール遊びや歌を唄って楽しんで頂いた後にあくなみカフェ委員会のメンバーを中心に作成したケーキ等を提供させて頂き、普段のおやつの様子に比べると介助の必要な方や少食である利用者の方も積極的に食べていただき、普段とは違った様子が伺えた。ご家族の方への参加は、たまたま面会に来て下さったご家族様に参加して頂いたといった結果となった。来年度も引き続き行う事と今年度実現出来なかった部分の検討と改善を行うよう対応する。

医療的な知識や技術の習得を図る中で、特に看取りを行う上で必要な心構えや意識、看取り介護を必要とされるご利用者の状態等について研修を行い、看取り介護を行う上で職員の精神的な負担等の研修を行った。

喀痰吸引の研修は本年度、5名の職員が参加する事が出来た。内2名の職員に関しては外部での実施研修も修了しており、喀痰吸引を行う事が出来るようになった。実施研修に関して、指導看護師が勤務しているが対象ご利用者がいない為自施設で行えなかった。

新人育成シートの活用について、指導担当職員と他の職員との連携の為のシートだが連携が取れていない事があり、育成シート使用方法に課題が残った。

認知症ケアの促進については、年2回の尊厳と倫理・認知症研修という形で行う事が出来た。実施した後は各職員が普段より意識を高く持っていたように思う。今後も年に何回か定期的に行える研修にしていく。

稼働率においては、特にインフルエンザやノロウィルスといった感染症は流行しなかったものの、入院される方が多くショートステイで穴埋めしたものの計画通りの稼働率に至らなかった。更に経年劣化に伴う修繕費もかさんだこともあり、大幅な減収に繋がった。

2. 主な年間実施行事

月	行 事 内 容
4	お花見 花まつり
5	慰問（鳳陽会様）
6	防災訓練 移動売店えがお
7	夏まつり
8	盆供養
9	敬老会 慰問（生駒清流様）
10	慰問（ビバオカリナクラブ様） 運動会
11	防災訓練（夜間想定）
12	クリスマス会 餅つき（あわ保育園）出張デパート
1	年賀式 とんど
2	節分（豆まき）
3	ひな祭り

3. 職種別職員構成 3/31 現在

職種	施設長	事務	介護職員	相談員	看護師	栄養士	嘱託医	合計
基準（定数）	1		24	1	3	1	1	31
正規（含契約）	1	4	20	1	4	1	0	31
非常勤	0	0	13	0	4	1	1	19
現員数合計	1	4	33	1	8	2	1	50

4. 利用実績（定員50床）

（定員50名）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	1407	1459	1448	1428	1477	1515	1537	1500	1530	1472	1293	1500	17566
延べ入院者数	89	94	76	145	91	24	70	30	76	122	95	50	962
稼働率(%) 特養+短	93.8%	98.2%	98.3%	93.8%	97.8%	100.3%	99.7%	98.0%	97.0%	94.8%	96.0%	96.1%	97.0%(平均)

※入所理由：一般入所が12名 優先入所が4名 特例入所1名

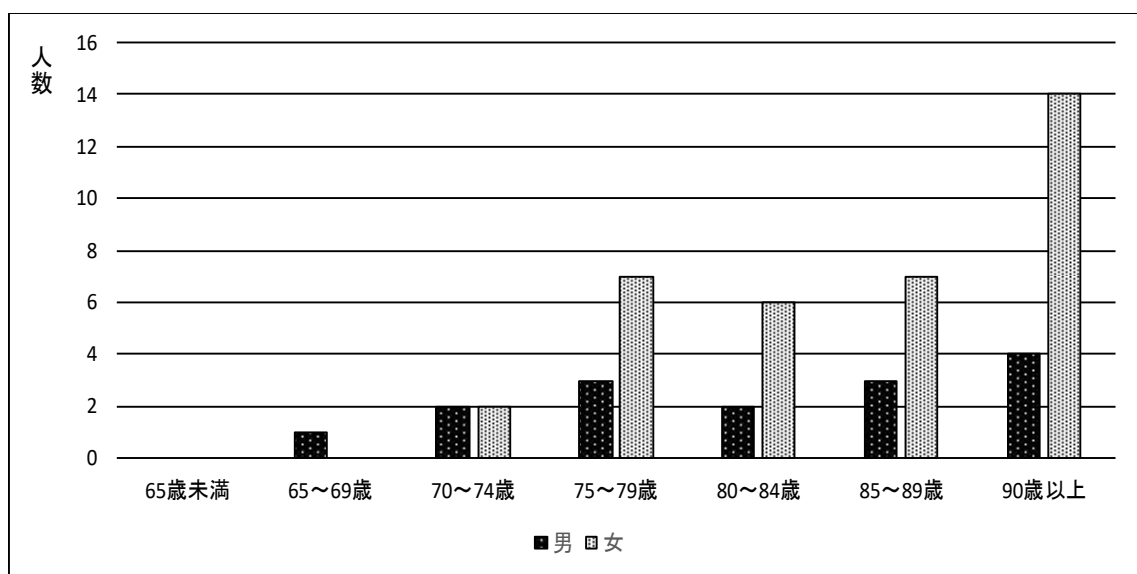
年齢階層別状況

（単位：人）

年齢区分	65未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90以上	計
男	0	1	2	3	2	3	4	15
女	0	0	2	7	6	7	14	36
計	0	1	4	10	8	10	18	51

平均85.3歳（男82.8歳）（女86.4歳）

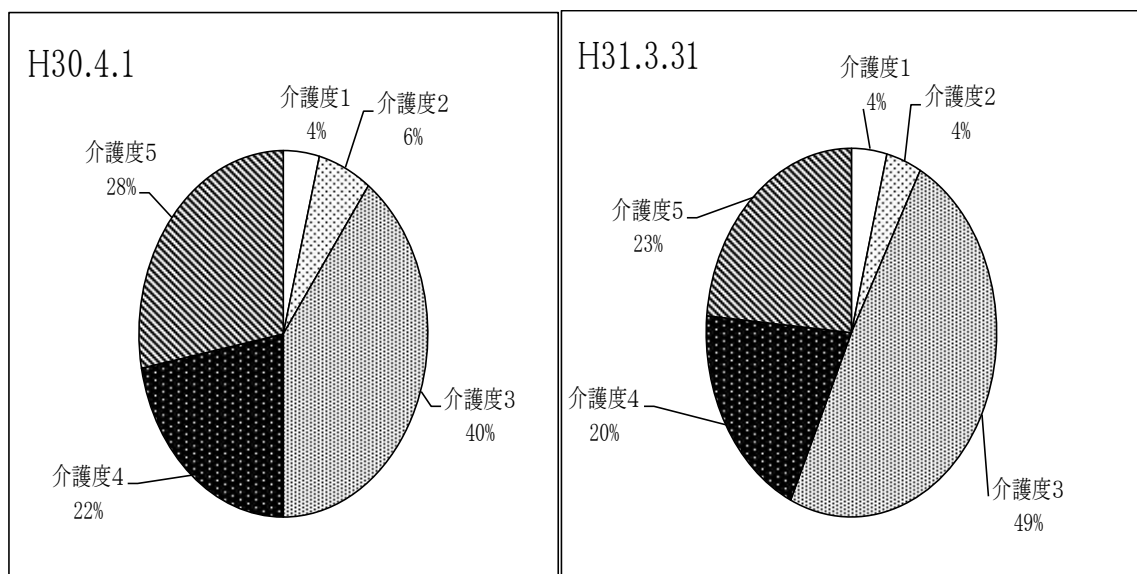
（H31.3.31現在）



要介護区分

区分	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計
H30.4.1	2	3	20	11	14	50
H31.3.31	2	2	25	10	12	51

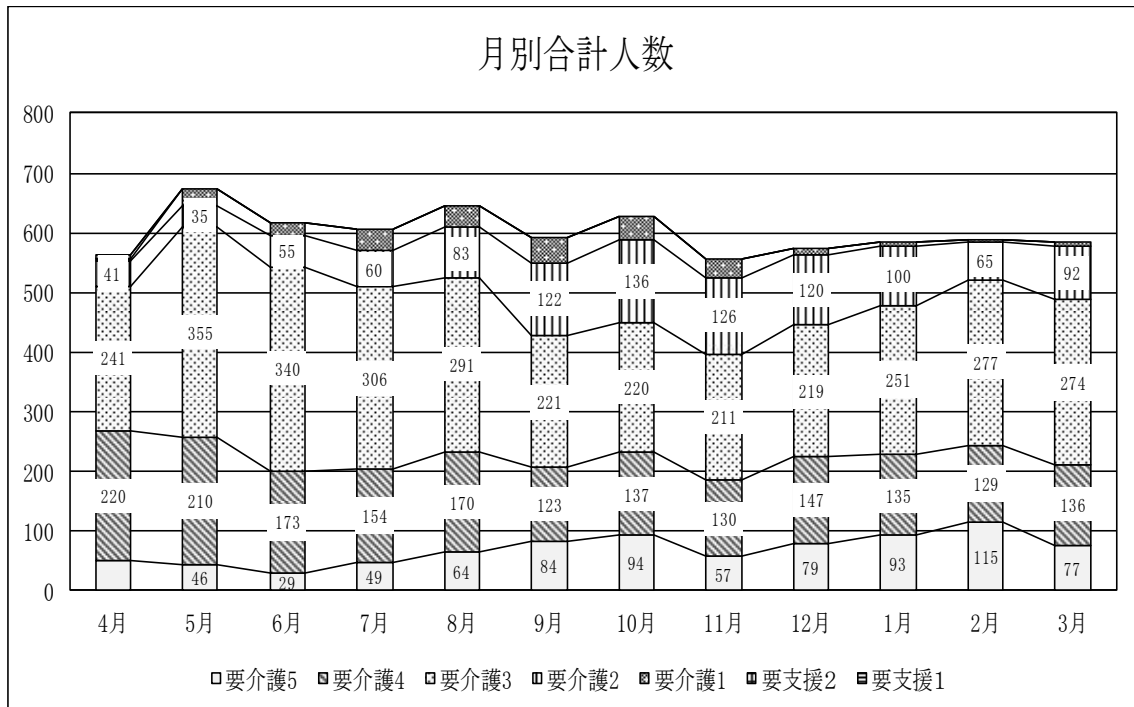
平均介護度 3.54



5. ショートステイ月別実績 (定員20床)

(単位:人・日)

(定員20名)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護5	50	46	29	49	64	84	94	57	79	93	115	77	837
要介護4	220	210	173	154	170	123	137	130	147	135	129	136	1864
要介護3	241	355	340	306	291	221	220	211	219	251	277	274	3206
要介護2	41	35	55	60	83	122	136	126	120	100	65	92	1035
要介護1	3	27	19	38	38	41	39	34	9	7	3	7	265
要支援2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延べ利用者数	563	673	616	607	646	591	626	558	574	586	589	586	7215
稼働率(%)	93.8	108.5	102.6	97.9	104.1	98.5	100.9	93	92.5	94.5	105.1	97.6	99.1(平均)
一日平均	18.7	21.7	20.5	20.2	20.8	19.7	20.1	18.6	18.5	18.9	21.0	18.9	19.8(平均)



6. 主な研修・会議

月	研 修 ・ 会 議 内 容
4	介護支援専門員実務研修 介護福祉士ファーストステップ研修企画会議
5	老施協テーマ別研修会 老施協総会 経営協セミナー 福祉職員キャリアパス対応生涯研修〈チームリーダーコース〉 福祉職員キャリアパス対応生涯研修〈初任者コース〉 福祉サービスマナー研修 介護支援専門員実務研修
6	喀痰吸引等研修説明会 介護支援専門員実務研修 介護職員実践講座 認知症介護実践者研修
7	社会福祉法人経営青年会研修 認知症介護実践者研修 民生児童委員との意見交換会 介護福祉士ファーストステップ研修 法人ステップアップ研修 近畿老人福祉施設研究協議会奈良大会
8	安全運転管理者講習 介護職員実践講座 奈良県認定調査員新任研修 県老協テーマ別研修委員会 全国経営協セミナー 介護福祉士ファーストステップ研修
9	郡山保健所感染症対策研修会 老施協施設長連絡会議 認知症実践者研修 喀痰吸引等研修 老施協看護職員研修 主任介護支援専門員更新研修 福祉職員キャリアパス対応生涯研修〈初任者コース〉 認知症介護実践者研修 介護福祉士ファーストステップ研修
10	認知症介護実践者研修 喀痰吸引等研修 介護職員実践講座 法人主任研修 老施協施設長連絡会議 奈良県社会福祉士基礎研修 老施協事務研修 介護福祉士ファーストステップ研修 県老協テーマ別研修委員会 郡山保健所所轄内特定求職施設等関係職員研修会
11	喀痰吸引研修 奈良県老人福祉施設職員研究会 認知症介護実践者研修 奈良県内4町介護従事者研修会 栄養士研修会 介護職員実践講座 全国老人福祉施設大会（北九州大会） 法人主任研修 介護福祉士ファーストステップ研修 法人施設長研修
12	老施協施設長連絡会議 喀痰吸引等研修 感染症対策医師等研修会 介護福祉士ファーストステップ研修
1	介護福祉士ファーストステップ研修 喀痰吸引等研修 介護職員実践講座 経営協セミナー 近老協施設長研修会

2	喀痰吸引等研修 学習療法ふくおかシンポジウム報告会 近畿ブロックセミナー奈良大会 県老協テーマ別研修委員会 県老協テーマ別研修会 認知症介護実践リーダーフォローアップ研修 福祉有償運送協議会会議 生駒郡内介護支援専門員研修 法人栄養士研修 県老協栄養士研究会 法人事務研修
3	奈良県社会福祉士会基礎研修 老協総会 ひめゆり講座 新人職員研修 経営協セミナー 安堵町介護保険運営協議会 介護保険事業者集団指導

主な施設内研修

月	研 修 ・ 会 議 内 容
5	新人研修
6	手洗いについての研修
7	失禁についての研修
9	身体拘束適正に関する研修
10	嘔下についての研修 急な嘔吐、ノロウィルス対策研修
11	嘔下についての研修
2	身体拘束に関する研修

その他 毎月、主任会議、運営会議、各種委員会を実施。

7. 施設・設備の改善

経年劣化に伴う機械室の配管修理
吸収式冷温水機（冷暖房）のポンプ、基盤の入れ替え。
汚水管の樹木の根詰まりによる除去
その他、経年劣化に伴う細かい修繕

8. 地域貢献、広報活動

- (1) あくなみ苑夏祭りをを行い、地域の方々や地域の事業所を招待し、積極的に交流を図った。
- (2) SNSを中心に施設での行事を速やかに情報を発信を行いました。また、季刊誌を地域自治体や関係機関に配布することで、施設を知って頂けるように努め、連携の強化を図った。

9. 主な寄付金

寄付金総額 468,000 円

10. 実習生、職場体験等の受け入れ

教員免許取得に係る介護等体験（奈良教育大学）
公共職業訓練に関わる職場体験（広陵町商工会）
介護労働講習（介護労働安定センター）
看護学生実習（奈良県立医科大学）

11. ボランティア、招待

- （1）積極的なボランティアの受け入れを行い、新たなボランティアとしてフラダンスクラブの受け入れを行った。
- （2）河合町傾聴ボランティアによる、月1回のサービス提供をして頂いた。
- （3）斑鳩町一般ボランティアによる、月2回の喫茶（手作りおやつ等）サービスの提供をして頂いた。
- （4）安堵町民生委員の方々による、月1回の喫茶（手作りおやつ等）サービスの提供をして頂いた。
- （5）鳳陽会の方々による、踊り、歌等の慰問にお越し頂いた。
- （6）昭和公民館大正琴スイトピーの皆様により12月と3月に大正琴の演奏をして頂いた。
- （7）蛇皮線、津軽三味線竿田流の方々の演奏
- （8）バビ！オカリーナの皆様によるオカリナ演奏
- （9）斑鳩町立あわ保育園の園児の皆様と餅つき大会

12. 苦情に関する事

介護内容や対応について7件の苦情がありましたが、6件は改善し1件はご家族に説明し納得していただいた。

13. その他

要介護認定において要介護3以上でないと特養へ入所できなくなった事で、介護職員への負担が増大している。また、ご利用者の入所期間が短くなりつつあり、入院される事も増えてきている中、介護の質を落とさないように人員確保に努めた結果、厳しい財務状況に陥ってしまった。ショートステイで何とか空床を出さないようにしてきたが、今後はICTやロボットを活用することで少ない人員でも介護の質を落とさないように努めていきたい。

あくなみ苑デイサービスセンター

1. 事業概要

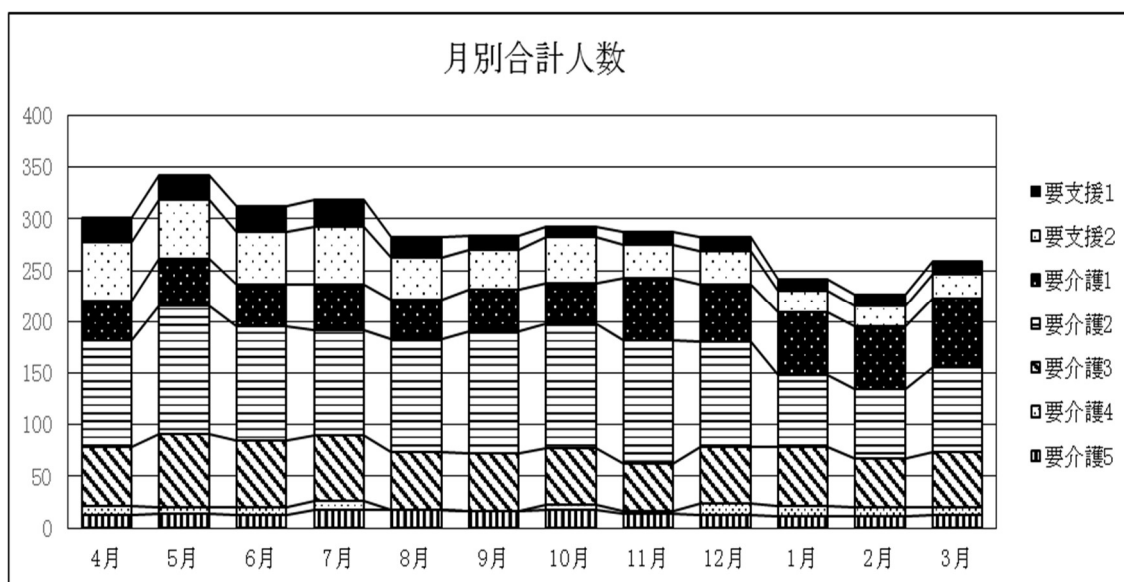
介護予防・日常生活支援総合事業が本格的に移行され、各市町村との連携が今まで以上に求められた。運営推進会議においては、緩和型サービスの検討、地域貢献活動等、地域のニーズを掘り起こして、地域に合った事業を安堵町や近隣施設と連携して、今後の実現に向けて検討した。また、介護保険改正に向けて、ご利用者が戸惑われないように、職員間で改正概要の周知を行ない、加算等の見直しも含めて、適切なサービスの提供が行なえるように検討した。

ご利用者に関しては、地域密着型という少人数のご利用者に対して、ゆとりをもって、お一人お一人としっかりと向き合って支援した。その中でも、ご利用者から「どこかに行きたい」や、「外に出て花を見に行きたい」等、在宅では何らかの理由で外出困難なご利用者が多くおられる為、外出の希望が多く聞かれたので、地域の社会資源を活用し、外気支援を行った。外出の機会を設けることで、外気に触れる心地よさを感じていただき、在宅での引きこもり予防や、社会参加に繋がれるように支援することができた。稼働率においては、特に秋口から冬場にかけて利用中止者が続出し、その穴埋めが中々できなかった為、月によれば60%代の時もあり、大幅な減収に繋がった。現在は少しずつではあるが、徐々に新規のご利用者が増えてきている状態である。

2. 利用実績

(単位：人・日)

(定員18名)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護5	13	14	13	18	18	16	18	14	13	12	12	13	174
要介護4	8	6	7	8	0	0	5	2	11	9	8	7	71
要介護3	58	71	65	64	55	56	54	47	55	57	48	54	684
要介護2	103	124	111	102	110	119	121	119	102	70	67	82	1230
要介護1	38	46	40	45	39	41	40	61	56	61	60	67	594
要支援2	57	57	52	56	41	38	45	32	32	21	20	23	474
要支援1	24	24	24	25	19	14	10	13	13	11	12	13	202
事業対象者					4	10	12	14	14	16	16	17	103
延べ利用者数	301	342	312	318	286	294	305	302	296	257	243	276	3532
開所日数	21	22	21	22	22	22	22	21	22	20	20	22	257
平均利用者数	14.3	15.5	14.8	14.4	13	13.3	13.8	14.3	13.5	12.8	12.1	12.5	13.7



3. 職員配置状況

平成30年3月31日現在 (○数字は兼務)

デイ	センター長	事務	相談員	機能訓練士	看護職員	介護職員	栄養士	その他
定数	1		1	1	1	3.3		
常勤	①	①	1	1	1	3	①	
非常勤						1		1

4. 主な研修・会議

月1回の職員会議、

主任会議、運営会議、研修（施設内研修も含む）、委員会においては特養と同じ。

5. 施設・設備の改善

特殊浴槽の入れ替え。

6. 地域貢献、広報活動

特養と同じ。

7. 実習生、職場体験等の受け入れ

特養と同じ。

8. ボランティア、招待

(1) 積極的なボランティアの受け入れを行い、新たなボランティアとしてフラダンスクラブの受け入れを行った。

- (2) 安堵町傾聴ボランティアによる、月 1 回のサービス提供をして頂いた。
- (3) 鳳陽会の方々による、踊り、歌等の慰問にお越し頂いた。
- (4) 昭和公民館大正琴スイトピーの皆様により 12 月と 3 月に大正琴の演奏をして頂いた。
- (5) 蛇皮線、津軽三味線竿田流の方々の演奏
- (6) バビ！オカリーナの皆様によるオカリナ演奏
- (7) 斑鳩町立阿波保育園の園児の皆様と餅つき大会
- (8) 元職員による食事、入浴介助

9. その他

中重度加算の取得やご利用者の要望をできる限り応えようと努めたが、長期入院や特養への入所等の理由で辞められたご利用者の後の、新規利用者がなかなか決まらなかったことが、財務状況が悪くなった主な原因である。しかしながら広報活動の効果がここにきて漸く出てきたこともあり、新規利用者が少しずつではあるが増えてきている。人口の少ない安堵町で今後も小規模通所介護の特徴を生かして一人一人のご利用者に寄り添った介護の提供に努めていく。

あくなみ苑居宅介護支援センター

1. 事業概要

居宅ケアマネジャーも認知症ケアの施設内研修に参加をし、より理解が深められるように努めた。

集中減算の算定を受けないように、毎月、利用者数を確認し、併設事業所とも相談、連携を深め、減算の対象とはならなかった。

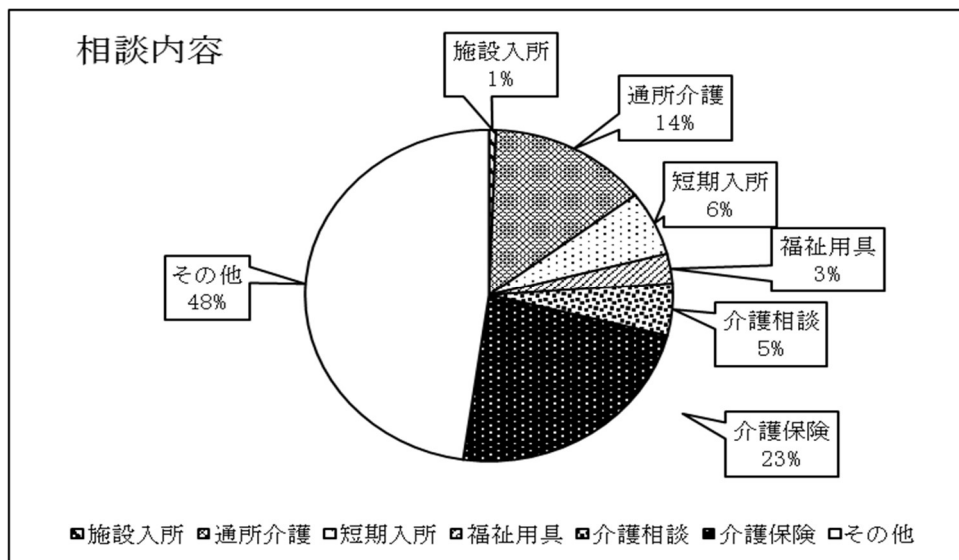
広報活動に努め続けてみるも、利用者数の大幅増にはつながらず、今年度の喫緊の課題である。

総合事業については、市町の緩和型サービスの整備が進まずに、現行型サービスの調整が多くなってる。利用者の状態像、心身の状況に応じて、ニーズの把握、確認に努め、引き続き介護保険サービス外の相談援助も行なえるように努めてまいりたい。

2. 相談件数

	相談 件数	相談方法				内 容						
		電話	来訪	訪問	その他	施設 入所	通所 介護	短期 入所	福祉 用具	介護 相談	介護 保険	その他
4月	133	31	7	40	55	0	13	10	4	5	36	70
5月	166	36	13	48	69	1	25	7	2	8	35	68
6月	186	56	13	40	77	1	22	5	1	8	39	100
7月	154	33	11	42	68	2	33	5	2	11	49	76
8月	194	46	27	44	77	2	21	26	14	9	46	68
9月	192	48	15	52	76	1	18	9	8	13	51	79
10月	172	27	21	44	80	2	28	8	2	5	42	62
11月	137	40	13	38	46	2	21	7	3	6	25	60
12月	178	46	6	53	73	2	27	3	10	8	34	78
1月	209	61	20	59	69	2	29	8	3	10	40	101
2月	146	34	15	34	63	2	14	17	2	6	30	68
3月	187	42	26	39	80	8	22	18	6	10	27	100

※相談件数はその他も含む(訪問介護・看護・リハビリ、一般福祉施策等)



3. 職種別職員構成

職種	センター長	主任ケアマネ	専従ケアマネ	合計
正規	1	1		2
非常勤			1	1
現員数合計	1	1	1	3

4. 主な行事等

月	行 事 内 容
4	ケア会議〔安堵町〕
5	安堵町事例検討会 斑鳩町介護支援専門員連絡会
6	ケア会議〔安堵町〕 生駒郡地域ケア会議多職種勉強会
7	民生児童委員との意見交換会 主任介護支援専門員更新研修 夏まつり 生駒郡内介護支援専門員合同研修会 磯城郡介護支援専門員合同研修
8	ケア会議〔安堵町〕 主任介護支援専門員更新研修 認知症地域支援推進員研修
9	主任介護支援専門員更新研修 生駒郡地域ケア会議多職種勉強会
10	ラン伴
11	西和地域7町退院調整ルールづくり事業全体会議
12	ケア会議〔安堵町〕、斑鳩町介護支援専門員連絡会 奈良県キャラバンメイト養成研修 安堵町講演会
1	西和7町障害者等支援協議会全体会議
2	生駒郡内介護支援専門員研修会 磯城郡介護支援専門員合同研修
3	キャラバンメイト養成研修 斑鳩町在宅医療介護連携における講演会

5. 主な研修・会議

主任会議、運営会議、研修（施設内研修も含む）、委員会においては特養と同じ。

6. 地域貢献、広報活動

特養と同じ。

7. 実習生、職場体験等の受け入れ

関西大学（社会福祉士受験資格取得）

桃山学院大学（社会福祉士受験資格取得）

8. 市町からの委託事業

（1）認定調査の委託

（2）予防給付、日常生活支援総合事業の委託

9. その他

安堵町内の高齢化率は上がっているが、要介護認定を受けた方は横ばいである。これは健康寿命が延びているという結果なので喜ばしいことではあるが、事業所にとっては頭の痛いところである。来年度においては、積極的に他市町村においても新規利用者の獲得に努めていく。

ケアハウスあくなみ苑

1. 事業概要

高齢化に伴いケアハウスでは、利用者の自立（生活）した暮らしを営むよう支援させて頂いた。介護が必要になった場合、担当ケアマネージャー、本人、ご家族様（保証人）との連絡を密にとり、精神的な不安を軽減するよう支援を行った。

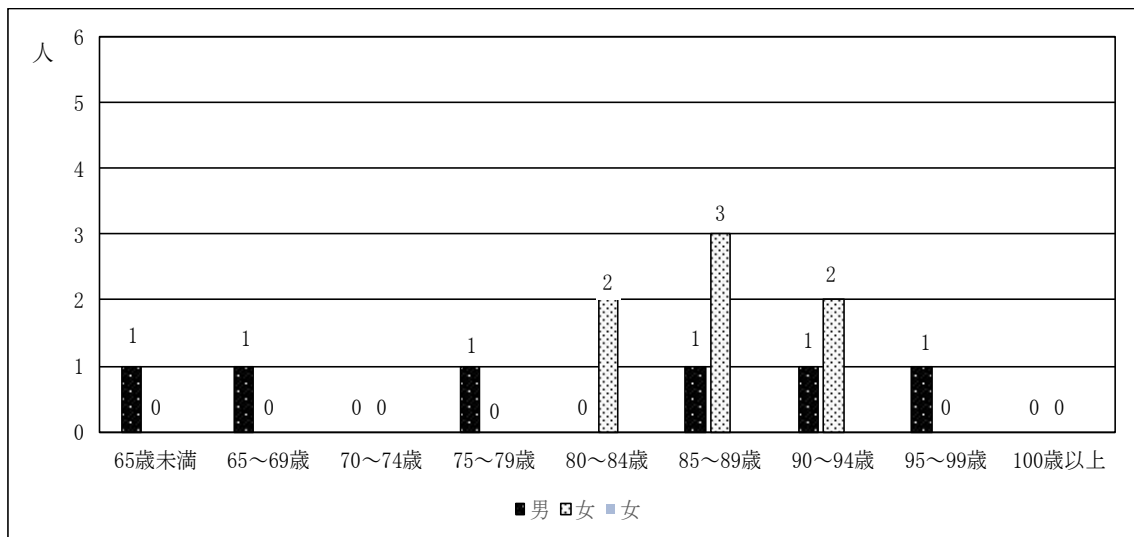
生活支援として社会機能維持を目的とし、買い物の付添・散策・食事会・カラオケを実施し、入居者同士のコミュニケーションを図った。

個別として受診付添等の希望があればニーズに応じて支援した。快適な生活を送って頂くように環境整備にも努めた。

今年度においては、入退所される方が例年比べ多く、空室になる期間が続き計画通りの稼働率が維持できなかった。

2. 利用実績

(1) 男女別年齢構成



(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所者数 (1日現在)	11	12	12	12	12	12	12	12	13	12	11	13
入所	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
退所	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1

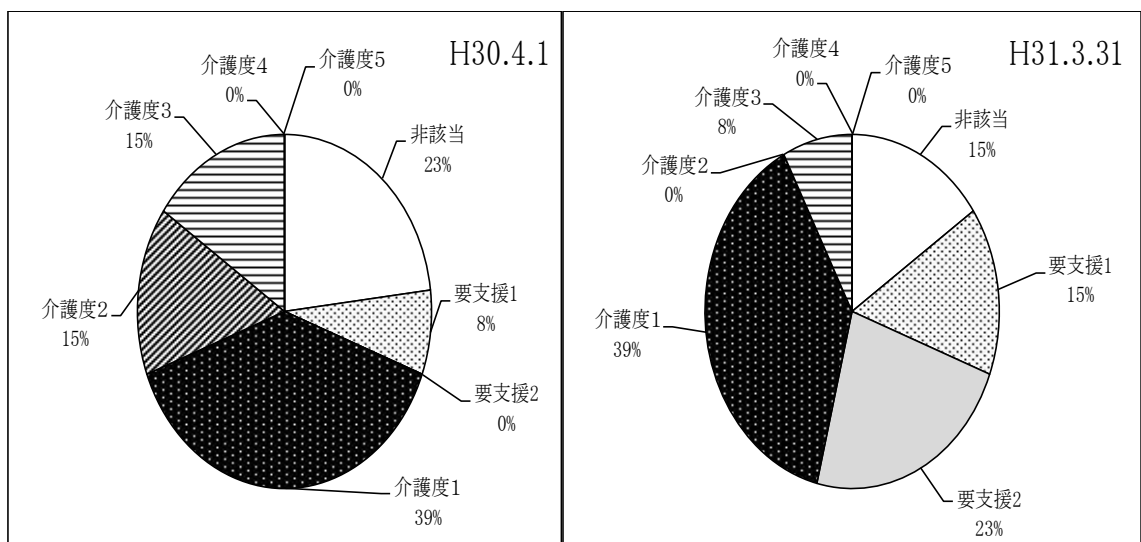
平均83.9歳（男81.3歳）（女86.1歳）

(H31.3.31現在)

	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上
男	1	1	0	1	0	1	1	1	0
女	0	0	0	0	2	3	2	0	0

(2) 要介護度区分

区分	非該当	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計
H30.4.1	3	1	0	5	2	2	0	0	13
H31.3.31	2	2	3	5	0	1	0	0	13



3. 年間行事

4月	お花見 お花まつり 端午の節句 苑外散策	10月	運動会
5月		11月	苑外散策 防災訓練
6月	防災訓練 入所者健康診断	12月	クリスマス会 餅つき
7月	七夕まつり	1月	年賀式 とんど
8月	盆供養 夏まつり	2月	節分
9月	敬老会	3月	ひな祭り

☆買い物ツアー(都度) ☆懇親会(月1回)

4. 職員配置状況

平成31年3月31日現在(○数字は兼務)

ケア	施設長	相談員	介護職	栄養士
定数	1	1	1	
常勤	①	①	2	①
非常勤			2	

4. 主な研修・会議

運営会議、研修（施設内研修も含む）、委員会においては特養と同じ。

6. 地域貢献、広報活動

特養と同じ。

7. ボランティア、招待

- (1) 積極的なボランティアの受け入れを行い、新たなボランティアとしてフラダンスクラブの受け入れを行った。
- (2) 鳳陽会の方々による、踊り、歌等の慰問にお越し頂いた。
- (3) 昭和公民館大正琴スイトピーの皆様により12月と3月に大正琴の演奏をして頂いた。
- (4) 蛇皮線、津軽三味線竿田流の方々の演奏
- (5) バビ！オカリーナの皆様によるオカリナ演奏
- (6) 斑鳩町立阿波保育園の園児の皆様と餅つき大会

8. その他

夫婦部屋が二部屋あるが、ご夫婦で入居される方の申し込みがない状況が続いている。現状、個室よりも少し割高な部屋代で両部屋ともお一人でご入居していただいているが、今後のことも考えて個室化に改装するか、ケアハウスを特養への転換も含め、設置主体である三室園組合と安堵町、奈良県と協議していきたい。

総合施設 やすらぎの杜 延寿

1. 事業概要

2018年度は、2025年問題に向けた大改革として診療報酬とのW改定が行われた。一つは、地域包括ケアシステムの推進として、どこに住んでいても適切な医療・介護サービスを切れ目なく受けることのできる体制整備。医療ニーズへの対応や一層の医療・介護連携の推進、認知症の人への対応の強化、また口腔衛生管理の充実や栄養改善の取組の推進、地域共生社会の実現に向けた取組の推進である。もう一つは、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現として、リハビリや通所介護における心身機能の維持に係るアウトカム評価の導入である。そして、褥瘡の発生予防のための管理や排泄に介護を要する方への支援に對尾する評価の新設、身体拘束等の適正化の推進である。その他、多様な人材の確保と生産性の向上、サービスの適正化・重点化を通じた制度の安定性・持続化の性の確保が強調された。これらは私達がこれまで積み重ねてきたことを強調されたことで、“手間暇惜しまず丁寧に”をモットーに、更に研鑽を重ねた。また褥瘡発生予防や排泄支援など新設された項目には積極的にを行う体制を整えた。

特別養護老人ホーム 延寿 短期入所 延寿

1. 事業概要

業務の効率化と質の高いケアの両立・継続を図るため、チームケアの充実とグループ間の協力体制の強化を図った。また視野の広い上位等級者の育成や職種間・部署間の連携を強化に努めた。その結果、隣接グループの夜勤を引き受けることも可能になるなど、スキルアップが図れた。それは、十分な人員配置ではなくとも知恵を絞り、利用者対応や委員会活動のための時間を捻出することなど、柔軟な対応を可能とした。職員の育成に関しては人事考課制や等級別研修などを通じ、その人の思いを考え、そしてより知ることのできる可能性に着目し、各居室担当者がケアプランの立案に向け発信できるように成長してきた。次に各種委員会活動について、口腔委員会は、口腔内チェックシートを活用し口腔内環境の改善に努めた。取組は全職員に浸透はしたものの個別の課題把握や問題解決については、委員のスキルアップや発信力アップを図る必要がある。マナー委員会は、ヘアブラシの個人別使用、ベッドの清掃や掛布団のたたみ方、またトイレ内の消臭や除菌など環境面の整備を図った。セーフティー委員会は、ヒヤリ・ハット報告の集計・分析に努め、委員間の共有が図れたため事故を未然に防ぐ意識の向上につながった。しかしまだまだ意識レベルに差があるのも事実であり今後の課題である。排泄委員会は、「あなたに合ったトイレ環境でベストケア」をスローガンに、マナー委員会と協力しトイレ環境の整備に努め、また排泄時の姿

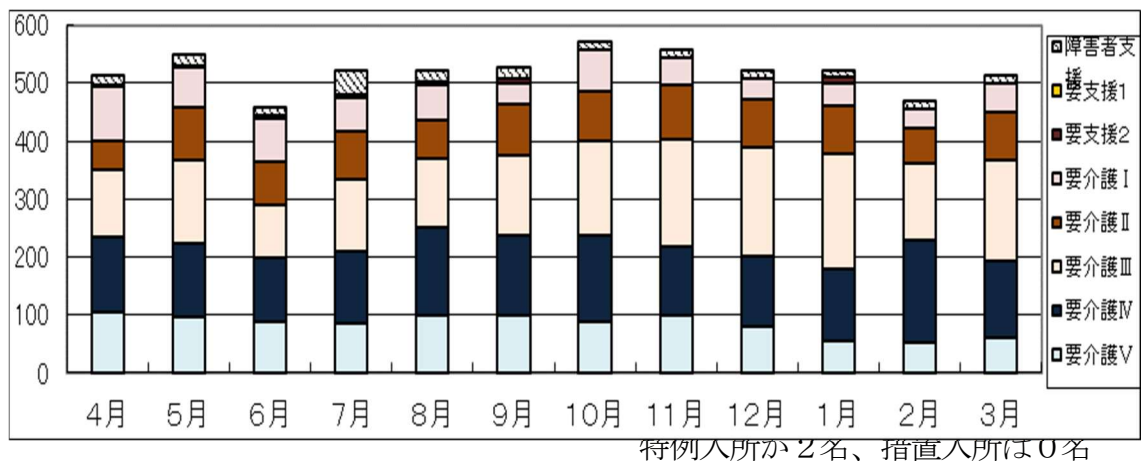
勢など個々の様々な課題にも取り組んだ。独自に作成した排泄アセスメントシートは今期新設された「排泄支援加算」の取得に大いに役立った。そして自然排便を目標にするケースも増えつつある。シーティング委員会は、シーティングやポジショニングの重要性については、かなり浸透してきた。意欲を持つ職員も増えた。しかし対応方法の個別性が高いこと、また全ての者が同じ対応を続けることで効果が明らかになるものであるため、課題山積なのも事実である。新人職員などを含め全体のスキルアップを図る必要がある。このような活動内容を発信し、人材確保に繋がる広報活動に努めた。ショートステイは、その人の暮らしを知ることにも努め、安心して利用頂ける環境整備を図った。また利用期間中楽しく過ごして頂くため余暇時間の充実に努めた。以上、着実に成長してきたのも確かであるが、今後の課題もしっかりと見えている、これからも相互にチームケアを意識しながら、一人一人が研鑽に努める。

2. 特養月別実績、稼働率

(定員84名)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
延べ入所者数	2,367	2,495	2,384	2,397	2,440	2,321	2,395	2,318	2,471	2,445	2,187	2,313	28,533
延べ入院者数	87	85	112	178	162	142	172	122	100	101	80	260	1,601
その他空床	66	24	24	29	2	57	37	80	33	58	85	31	526
稼働率	93.9	95.8	94.6	92.1	93.7	92.1	92.0	92.0	94.9	93.9	93.0	88.8	93.06
短期入所者数	514	549	458	523	521	526	572	558	521	522	470	514	6,248
延入所数(特+短)	2,881	3,044	2,842	2,920	2,961	2,847	2,967	2,876	2,992	2,967	2,657	2,827	34,781
稼働率(特+短)	96.0	98.2	94.73	94.19	95.52	94.90	95.71	95.87	96.52	95.71	94.89	91.19	95.29

短期入所月別実績、稼働率

(定員16名)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
要介護Ⅴ	104	95	89	86	98	99	87	99	80	55	51	61	1,004
要介護Ⅳ	131	127	109	123	153	139	149	119	122	124	178	132	1,606
要介護Ⅲ	115	144	91	124	119	136	163	185	186	200	133	173	1,769
要介護Ⅱ	50	92	75	84	67	90	87	95	83	82	60	83	948
要介護Ⅰ	93	69	75	58	59	36	71	45	36	38	33	50	663
要支援2	3	4	4	4	7	7	0	0	0	12	0	0	41
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害者支援	18	18	15	44	18	19	15	15	14	11	15	15	217
合 計	514	549	458	523	521	526	572	558	521	522	470	514	6,248
一日平均	17.13	17.71	15.27	16.87	16.81	17.53	18.45	18.60	16.81	16.84	16.79	16.58	17.12
稼働率	107.1	110.7	95.4	105.4	105.0	109.6	115.3	116.3	105.0	105.2	104.9	103.6	106.69

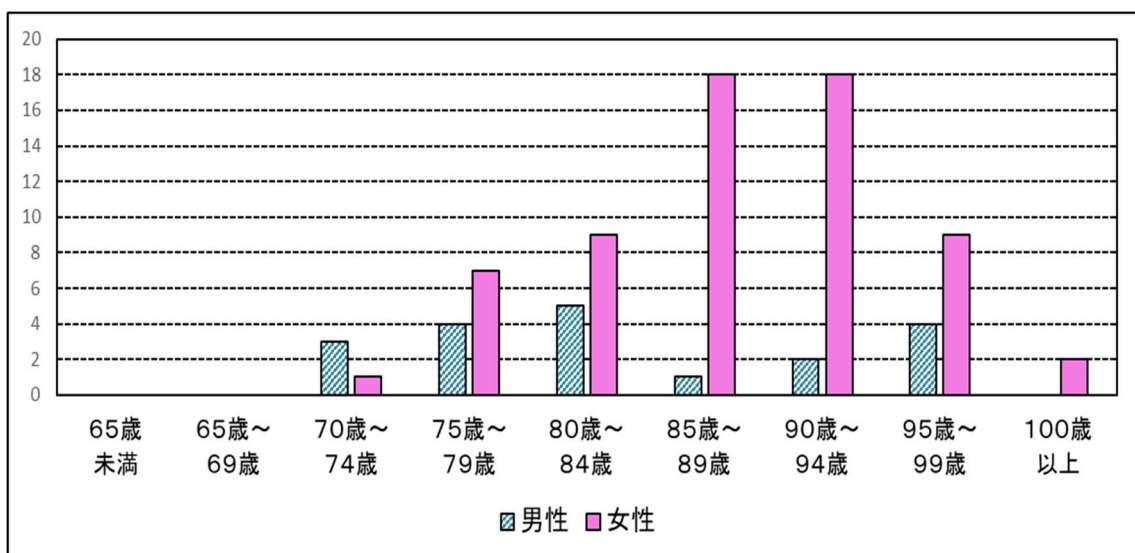


短期入所者のうち緊急入所が32件

(介護者の入院7件、介護者の体調不良5件、介護者急遽不在の為2件、本人の体調不良10件、大風接近事前避難5件、エアコン故障の為1件、同居者と距離を置く為1件、近隣よりクレーム独居生活困難な為1件)

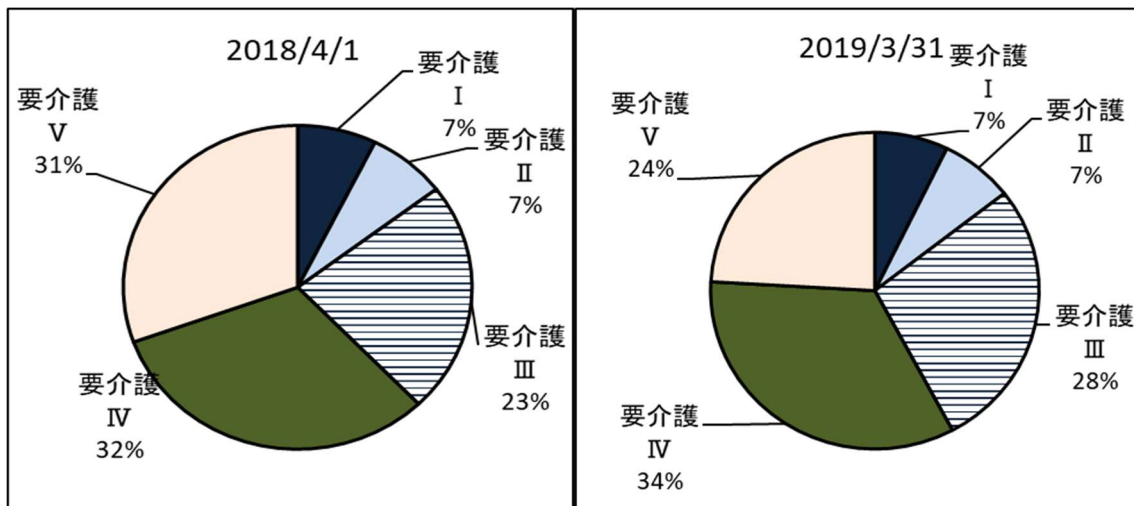
4. 年齢別構成

2019/3/31	65歳未満	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	平均年齢
男性	0	0	3	4	5	1	2	4	0	83.79
女性	0	0	1	7	9	18	18	9	2	87.95



5. 要介護度区分

特養	要介護Ⅰ	要介護Ⅱ	要介護Ⅲ	要介護Ⅳ	要介護Ⅴ	平均要介護度
2018/4/1	6	6	19	26	25	3.71
2019/3/31	6	6	23	28	20	3.60



6. 職種別職員構成 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

特養	施設長		事務	相談員	機能訓練	看護師	介護職	栄養士	その他	宿直	嘱託医
定数				1		3	25	1			
常勤	1		1	3	1	5	35	1			
非常勤							4		4	3	1
短期	施設長		事務	相談員	機能訓練	看護師	介護職	栄養士	その他	宿直	嘱託医
定数							6				
常勤	①		①	③	①	⑤	6	②			
非常勤									④	③	①

7. 主な年間実施行事

4月	お花見、買物サロン	10月	鍋パーティー
5月	ベランダ菜園	11月	家族会、インフルエンザ予防接種
6月	障子張替え（家族交流）、お茶席、消防訓練	12月	ショート交流会、秋の行楽
7月	七夕祭り、壱分幼稚園交流、買物サロン、夏祭り	1月	Xmas、餅つき、消防訓練
8月	お盆供養、	2月	年賀、初詣、書初め
9月	敬老会、秋の彼岸法要	3月	節分会
			ひな祭り、春の彼岸法要、極楽坊保育園交流、買物サロン

※ その他：おやつ作り・外出支援（不定期）、お誕生日祝い（毎月）

8. 主な研修

4月	生駒市居宅支援事業者協会総会・研修会、ファーストステップ研修企画会議、介護支援専門員更新研修、バリアフリー展見学
5月	福祉職員キャリアパス対応生涯研修初任者コース・チームリーダーコース、能力開発セミナー、福祉サービスマナー研修
6月	法人衛生管理研修、スーパービジョンフォローアップ研修、喀痰吸引等研修説明会、報酬月額算定基礎届等事務説明会
7月	認知症介護実践リーダー研修、介護福祉士ファーストステップ研修、福祉職員キャリアパス対応生涯研修中堅職員コース、居宅介護支援研修、近畿老人福祉施設研究協議会、オープンセミナー、法人ステップアップ研修、食中毒予防講習
8月	スーパーバイザー養成講座、介護職員実践研修、認定調査員新任研修、口腔ケアと航空リハ、リハビリケア研修、栄養士研究会
9月	認知症介護実践者研修、法人主任研修、感染症対策研修、看護職員研修、看取り支援・看取りガイドラインについて
10月	対人援助技術研修、ワーキングチーム、総合事業と自立支援研修、事務職員研修、特定給食施設研修、全国老人福祉施設研究会議
11月	県老人福祉施設職員研究会議、中堅アドバンス、ケアマネフォーラム、地域包括ケア推進大会、法人調理実習、居宅介護支援研修、栄養士研究会、通所ケア研究大会、ストレスマネジメント研修、生活困窮者支援実践報告
12月	近老協介護ロボットミーティング、県社会福祉大会、難病関係職員研修
1月	認知症の方の意思決定支援を支える、食形態の選択と変更のタイミング、介護現場のメンター制度、法人研究発表会
2月	介護支援専門員実習受入説明会、VR認知症プロジェクト研修、入退院マニュアル作成、青丹学園事例研究発表、看護実践セミナー、看護看取り研修、人材確保定着戦力、居宅介護支援研修、テーマ別研修、産業保健研修、OJT基礎研修、在宅サービス研修、認知症介護実践リーダーフォー、食事の不良姿勢に有効なシーティング
3月	施設介護支援専門員研修

施設内研修

4月	新任研修、感染症・ノロ対応	10月	全体研修（災害）2等級
5月	Gミーティング	11月	感染症
6月	職業倫理、虐待・身体拘束	12月	Fミーティング
7月	Gミーティング	1月	認知症ケア
8月	看取りケア、感染症	2月	Gミーティング
9月	3等級（人事考課、ICF）	3月	Fミーティング

委員会活動

セーフティーマネジメント委員会、口腔ケア委員会、排泄委員会、シーティング委員会、マナー委員会、研修委員会、広報委員会、拘束防止委員会、虐待防止委員会、感染症対策委員会（各1回/毎月 or 各月 開催）

9. 施設の改善・備品購入・修繕等

防犯カメラの設置、屋外電源の敷設の他、厨房ガステーブル及びプレハブ冷凍庫の更新。居室空調機の更新。EVの基板及び電源装置の更新。誘導灯の更新。

主な修繕は、2F 大浴槽の修繕、厨房回転釜他の修繕や空調機の修繕、漏水の修繕など、その他多くの修繕を行った。

10. 地域貢献・広報活動

利用者様限定で毎月発行している「えんじゅだより」も3月発行で第171版になった。地域向け季刊誌「えん」は年4回発行し、第55版になった。

南山手台自治会と夏祭りで交流を図った。

6月、9月、12月、3月の年4回地域2キロ四方の清掃活動を行った。

極楽坊保育園や地域の幼稚園の園児との交流を図った。

11. 主な寄付

主に入居者家族様から総額653,000円のご寄付を頂いた。

12. ボランティア・招待

喫茶：毎週水曜日、生花・フラワーアレンジメント：第2・4金曜日、お話：毎週月曜日。

習字、詩吟、車いすダンス、コーラス、踊り、ピアノ他楽器演奏など多数。

お茶会、夏祭りボランティアや年末の清掃など。

13. 実習生・職業体験等の受け入れ

（介護福祉士実習）

5/9～6/1 青丹学園 2名

（職業訓練実習）

10/1～10/5 介護労働安定センター 2名

（介護現場体験）

8/8～8/9 三郷小学校教諭 1名

（教員免許に関わる介護等体験）

8/20～8/24 奈良女子大 2名

9/17～9/21 奈良女子大 2名

（栄養士実習）

2/14～2/15	帝塚山大学	2名
2/18～2/20		
2/25～3/ 1	帝塚山大学	2名
(その他)		
11/27	壱分小学校 体験学習	約25名
1/23～ 1/25	緑ヶ丘中学 職場体験	3名

14. 主な見学者

2/20 韓国忠清南道 知事他6名、奈良県職員3名

15. 苦情の実情

ショート介護の内容について。 8件 (不用意に衣類に名前を書いてしまった他、パットの当て方、処置フィルムの剥がれ、衣類のボタンの紛失など)

ショート言動について。 1件 (利用の予定を本人に話してしまった。)

16. その他、特筆すべき事業内容など

ケアハウス 延寿

1. 事業概要

入居者30名の皆様の平均年齢も87歳を超え、身体機能の低下が顕著な方も見受けられるようになりました。また難聴や認知機能の低下から意思疎通が困難な場面も見受けられるようにもなりました。皆様の望む暮らしに一步でも近づくように相談、見守り、必要な援助に努めました。我々の行き届かないところでは、入居者様同士の声掛け、助け合いがみられ、皆様も我々も大いに助けられました。積極的な声掛けや食事時や訪室時に注意深く観察し、日々の小さな体調変化等を見逃さないように努めた。満足度調査を行った結果、風呂のタイルの黒ずみや共同トイレの紙の補充などの声がありました。引き続き改善に取り組む。ケアマネージャーとの連携会議を毎月行い、緊急時にも迅速な対応に努めた。四季の草花を育てるなど環境整備に努めた。

2. 入居状況

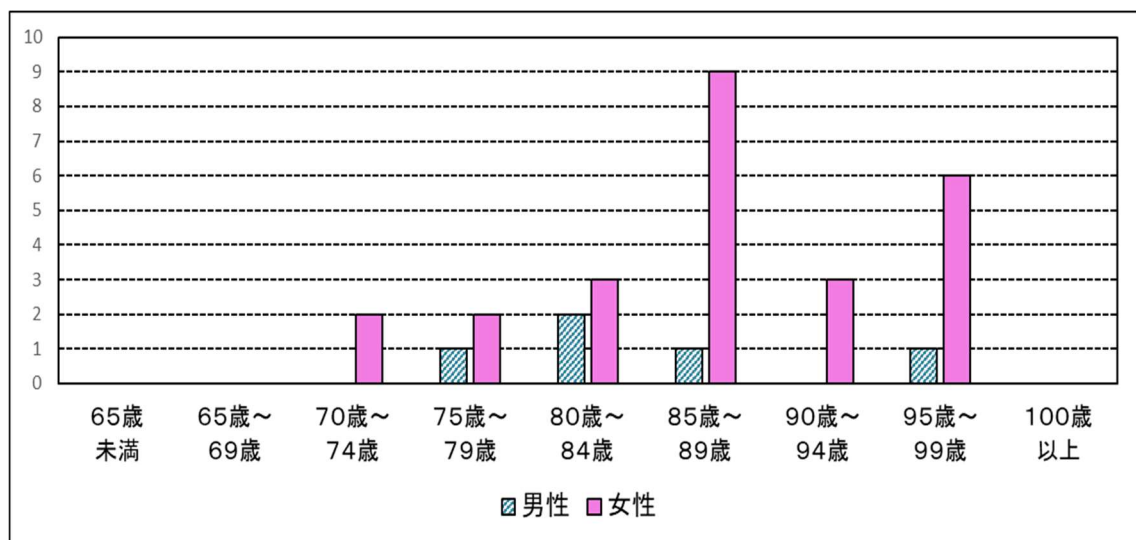
(定員30名)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
前月末在所者数	30	30	25	26	28	30	30	30	29	30	30	30	30
新規入居者数	0	0	1	2	2	0	0	0	1	0	0	0	6
退所者数	0	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	6
当月末在所者数	30	25	26	28	30	30	30	29	30	30	30	30	30

3. 入所理由他

一人暮らしに不安があり限界を感じた。また介護に限界を感じた。

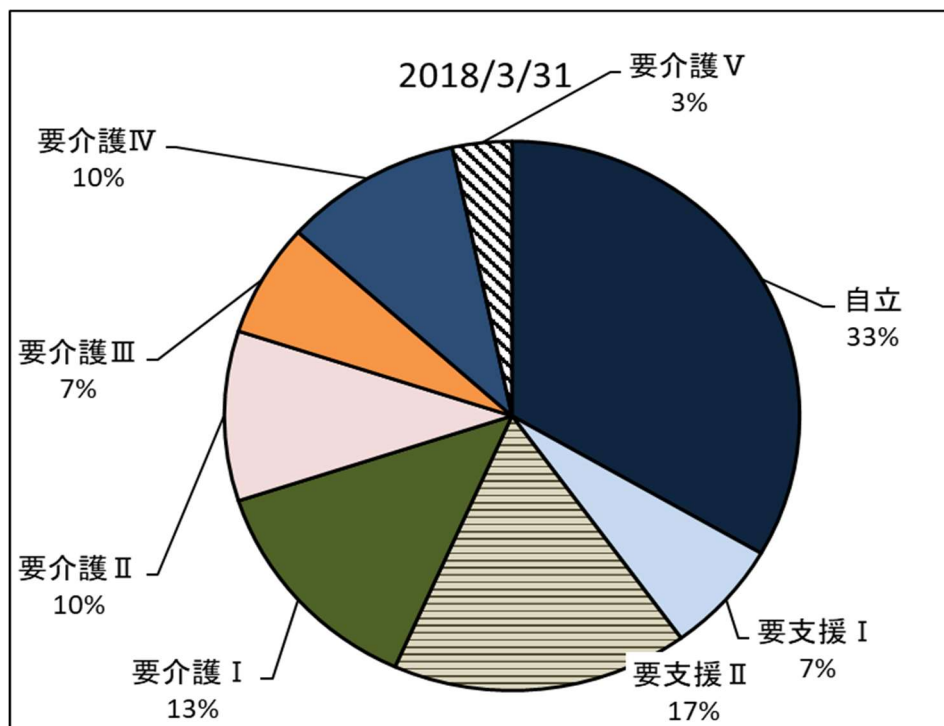
4. 年齢別構成

2019/3/31	65歳未満	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	平均年齢
男性	0	0	0	1	2	1	0	1	0	85.20
女性	0	0	2	2	3	9	3	6	0	87.40



5. 要介護度区分

ケアハウス	自立	要支援Ⅰ	要支援Ⅱ	要介護Ⅰ	要介護Ⅱ	要介護Ⅲ	要介護Ⅳ	要介護Ⅴ
2019/3/31	10	2	5	4	3	2	3	1



6. 職種別職員構成（平成31年3月31日現在）

ケア	施設長	次長	事務	相談員	機能訓練	看護師	介護職	栄養士	その他	宿直	嘱託医
定数			1	1			1				
常勤	①	①	1	1	①	⑤	1	①			
非常勤										③	①

7. 主な年間実施行事

4月	お花見、出張デパート	10月	サロンいこい、車椅子ダンス
5月	車椅子ダンス	11月	秋の行楽、インフルエンザ予防接種
6月	お花植え、消防訓練	12月	Xmas会、消防訓練、餅つき
7月	七夕祭り、夏祭り	1月	年賀
8月	盆供養	2月	節分会
9月	敬老会、秋の彼岸法要	3月	春の彼岸法要

※ 毎月の宝山寺参り、買物ツアーや生花、習字、詩吟に参加。

8. 主な研修

9. 施設の改善・備品購入・修繕等

EV 基盤及び電源装置交換、非常灯照明器具交換など。

10. 地域貢献・広報活動

11. 主な寄付

12. ボランティア・招待

13. 実習生・職業体験等の受け入れ

14. 主な見学者

何れも特養事業報告に記載。

15. 苦情の実情

脱衣所の水滴 1 件。 靴箱の靴の移動 1 件。

16. その他、特筆すべき事業内容など

デイセンター 延寿 訪問入浴 延寿

1. 事業概要（デイセンター）

予防給付対象の方々には 2015 年の制度改正以降、介護予防・日常生活支援総合事業への移行が段階的に行われ、介護予防教室やパワーアップ教室、運動器の機能向上教室にチェックリストなるものを用いて振り分けられる。また地域の予防教室やサロンも増加し、利用者からは少し分かりにくくなったのではないかと感じている。中でも運動器の機能向上教室については、その募集方法や実施期間などを含め市とも協議中ではあるが、“手間暇惜しまず丁寧に”をモットーに各教室が連携を図り、お一人お一人の運動器の機能維持向上、介護予防に努めている。また市の PT 派遣の事業を活用し、運動レクの指導方法などスキルアップに努めている。

法人内デイが連携を図りマナー委員会を設置し接遇や電話対応など具体的なマナー研修を行った。その結果、事業所間の意見交換や新規利用者の獲得にも効果があったが、時間経過と共に言葉の乱れ等が散見されるため、今後も継続して振り返り研修や周知方法の検討などを行っていく。

その他延寿全体の夏祭りに少人数ではあったがデイの利用者とその家族にも案内をさせて頂き、夜のお祭りイベントを楽しんで頂いた。好評を得た為引き続きご案内をする。

事業概要（訪問入浴）

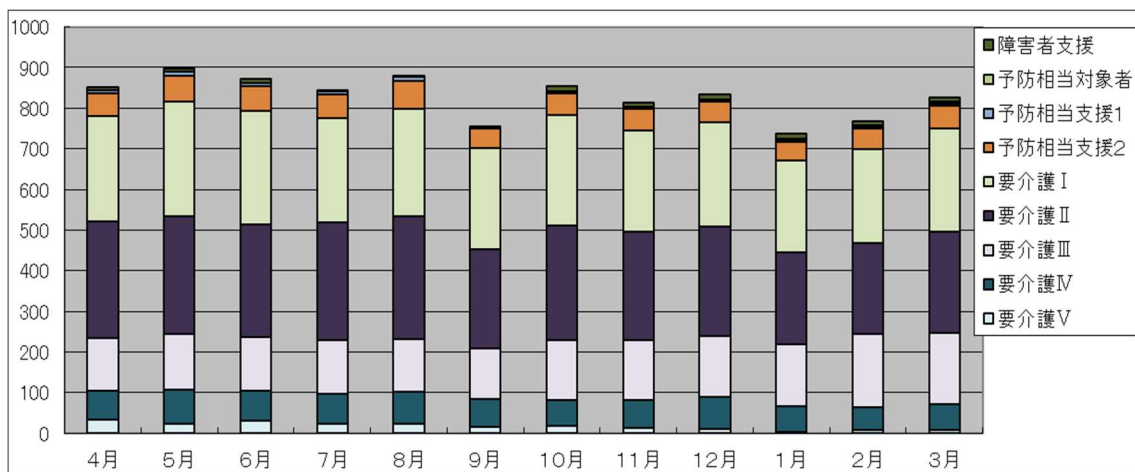
訪問入浴の利用者は益々減少している一方で、ターミナル期の新規利用者は増加傾向にある。ターミナル期の方には本当に時間が大切な為、ケアマネはもちろん、医師や訪問看護師との連携も密に、事前訪問と同時にサービスの開始をすることも試みた。地道な事業所周りや案内により認知度がアップし、このような利用に繋がっている。

少ないながらも利用者の多くは重度の方が多く、身体状況の変化にも迅速に対応するため、多職種連携を密にし、“手間暇惜しまず丁寧に”をモットーにサービス提供に努めた。またサービスマインドを心掛け丁寧な対応に努めた。

外出困難な方が多いため、季節を感じて頂ける菖蒲湯やゆず湯等の提供に努め、リラックス効果や気分転換を図った。

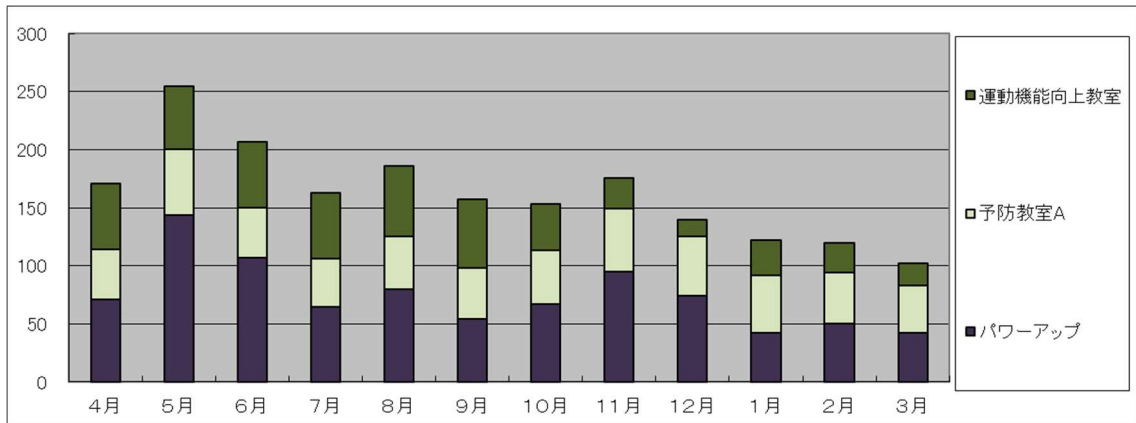
2. 利用状況

デイサービス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
要介護Ⅴ	34	24	31	23	23	16	17	13	10	4	7	9	211
要介護Ⅳ	71	82	74	74	80	67	65	68	80	63	57	62	843
要介護Ⅲ	130	138	132	131	129	125	146	147	149	151	180	177	1,735
要介護Ⅱ	287	290	277	291	303	245	283	268	269	227	224	249	3,213
要介護Ⅰ	258	283	279	257	262	248	272	250	257	225	231	253	3,075
予防相当支援2	57	62	62	58	71	49	53	53	50	48	50	57	670
予防相当支援1	6	10	8	7	9	2	5	4	4	3	4	4	66
予防相当対象者	1	0	0	0	0	0	0	0	3	4	4	4	16
障害者支援	8	8	9	2	2	2	12	11	11	11	12	12	100
延べ利用者数	852	897	872	843	879	754	853	814	833	736	769	827	9,929
平均利用者数	34.08	33.22	33.54	32.42	32.56	30.16	31.59	31.31	33.32	30.67	32.04	31.81	32.24
開所日数	25	27	26	26	27	25	27	26	25	24	24	26	308



3. 総合事業利用状況

総合事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
パワーアップ	71	144	107	65	80	54	67	95	74	42	50	42	891
予防教室A	43	56	43	41	45	44	46	54	51	50	44	41	558
運動機能向上教室	57	55	57	57	61	59	40	27	15	30	26	19	503
延べ利用者数	171	255	207	163	186	157	153	176	140	122	120	102	1,952



パワーアップ教室は2日/週、介護予防教室（A型）は3日/週、運動機能向上教室は2日/週。

4. 訪問入浴利用状況

訪問入浴	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	39	39	33	30	32	27	37	32	28	34	37	42	410
稼働日数	21	23	21	22	23	20	23	22	20	20	20	21	256
平均利用者	1.86	1.70	1.57	1.36	1.39	1.35	1.61	1.45	1.40	1.70	1.85	2.00	1.60

5. 配食弁当利用状況

配食弁当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
昼食	90	103	100	93	92	84	106	82	53	67	64	78	1,012
夕食	200	217	189	197	195	187	205	200	160	173	149	190	2,262
延べ数	290	320	289	290	287	271	311	282	213	240	213	268	3,274

6. 職種別職員構成（平成31年3月31日現在）

デ	イ	センター長		事 務	相談員	機能訓練	看護師	介護職	栄養士	その他		
定 数					1.2		1.2	8.4				
常 勤	①			1	2		2	5	①			
非常勤								11		3		
訪 入	センター長			事 務	相談員	機能訓練	看護師	介護職	栄養士	その他		
定 数							1	2				
常 勤	①			①			②	2				
非常勤										1		

7. 主な年間実施行事

4 月	創作(ブレスレット作り)、食事会	10 月	BBQ
5 月	創作(ブレスレット作り)、菖蒲湯	11 月	運動会
6 月		12 月	Xmas 会、柚子湯
7 月	七夕行事	1 月	ぜんざい
8 月	外食、買物、宝延祭	2 月	節分会
9 月	外食、買物、敬老会、家族交流会	3 月	雛祭り

その他、予防教室の茶話会や食事会など

8. 主な研修（施設外研修は特養事業報告に記載。）

施設内研修

4 月	職業倫理	10 月	全体研修(防災)
5 月	バーセル・インデックス	11 月	感染症対応
6 月	緊急対応、感染症対応	12 月	身体拘束・虐待防止
7 月	事故防止	1 月	事故防止
8 月	認知症ケア	2 月	マナー振り返り
9 月	PDCA サイクル、事故防止	3 月	運動指導

委員会活動：マナー、接遇研修

9. 施設の改善・備品購入・修繕等

主に送迎車両及び車両リフトの修理。

10. 地域貢献・広報活動 特養事業報告に記載。

11. 主な寄付

12. ボランティア・招待

4月	コール花の街
5月	車いすダンス「フレンズピア」
6月	三味線、コーラスさつき
7月	フラダンス
9月	日本舞踊花柳流、喜楽座かつぽれ
11月	ペパーミント（コーラス）7
2月	大正琴、フラダンス（グリーンノート）

その他、囲碁、将棋、麻雀、手芸、習字、詩吟等のボランティア多数。

13. 実習生・職業体験等の受け入れ

（介護福祉士実習）

9/20～9/27 青丹学園 2名

（職業訓練実習）

10/ 1～10/ 5 介護労働安定センター 2名

（教員免許に関わる介護等体験）

7/2～7/6 奈良教育大 3名

7/9～7/13 奈良教育大 3名

8/13～8/17 奈良教育大 3名

8/20～8/24 奈良教育大 3名

8/27～8/31 奈良教育大 3名

9/3～9/7 奈良教育大 3名

9/10～9/14 奈良教育大 3名

9/17～9/21 奈良教育大 3名

9/24～9/27 奈良教育大 3名

14. 主な見学者 特養事業報告に記載。

15. 苦情の実情 デイ：ケア時の対応について、2件。 訪問入浴については、0件。

16. その他、特筆すべき事業内容など

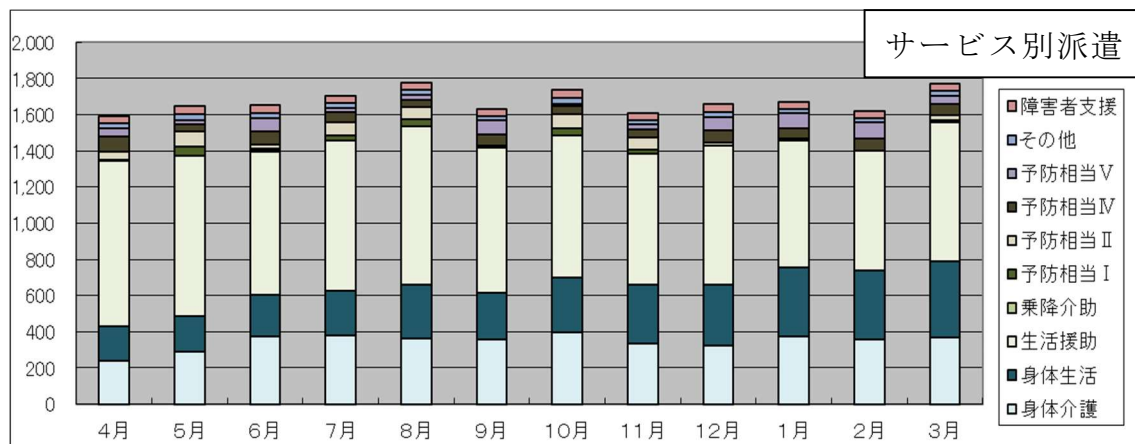
はあとぽーと 延寿

1. 事業概要

サービス提供責任者を中心にグループ化し、それぞれの課題に沿った研修を重ねることで、技術・知識・思いを高めることができた。また“手間隙惜しまず丁寧に”をモットーに報・連・相を徹底し、利用者の体調変化や要望に迅速に対応するよう努めた。引き続き徹底強化を図る。ケアプランに基づいた訪問介護計画・行動計画、目標の明確化を図り、ケアの質向上、細やかなサービス提供に努めた。また情報共有及び記録の充実にも努めた。個別目標の設定やフィードバック面接の充実により人材育成に努めた。毎月の勉強会や事例検討を重ね、スキルアップを図り、懇切丁寧なチームケアの充実に努めた。ヘルパー自身の健康管理と感染症対策に努めた。災害時を含めた緊急対応については対策案は策定できているが、マニュアル化には至っていないため今後の課題である。

2. 利用状況

ヘルパー	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
身体介護	237	289	373	380	364	357	395	336	326	374	359	368	4,158
身体生活	194	198	229	246	298	257	303	326	332	380	380	420	3,563
生活援助	913	884	796	830	876	805	790	722	770	703	663	773	9,525
乗降介助	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
予防相当Ⅰ	5	55	10	30	40	0	35	25	0	0	0	10	210
予防相当Ⅱ	45	82	27	72	63	9	82	63	18	9	0	27	497
予防相当Ⅳ	84	41	73	54	41	64	41	48	67	56	66	62	697
予防相当Ⅴ	45	22	69	23	29	75	15	26	71	89	89	43	596
その他	28	34	29	28	28	24	30	22	32	21	25	27	328
障害者支援	43	45	48	40	38	39	45	43	43	41	36	42	503
派遣回数	1,594	1,650	1,656	1,703	1,777	1,630	1,736	1,611	1,659	1,673	1,618	1,772	20,079



3. 職種別職員構成（平成31年3月31日現在）

ヘルプ	センター長		事 務	サービス 提供責任	機能訓練	看護師	介護職	栄養士	その他		
常 勤	①		①	4			4				
非常勤							21				

4. 主な研修 外部研修は特養事業報告に記載。

施設内研修

4 月	訪問介護員の接遇について	10 月	防災について(全体研修)
5 月	介護技術(排泄、口腔ケア)	11 月	感染症対応
6 月	認知症ケア	12 月	生活援助について
7 月	コミュニケーション技術・セルフカウンセリング	1 月	介護技術（清拭・入浴介助）
8 月	困難事例・ヒヤリ・ハット事例検討	2 月	プライバシー保護
9 月	緊急対応、救急法	3 月	職業倫理と法令について

5. 施設の改善・備品購入・修繕等

6. 地域貢献・広報活動

7. 主な寄付

8. ボランティア・招待

9. 実習生・職業体験等の受け入れ

10. 主な見学者

15. 苦情の実情

- 買物時の金額や釣銭について 2 件。
- コンセント配線について 1 件。
- ゴミ出しについて 1 件。
- 移乗時の擦傷について 1 件。

16. その他、特筆すべき事業内容など

居宅介護支援センター 延寿

1. 事業概要

法改正などについて他事業所と合同で学ぶ機会を持ち、情報交換ができる体制が整った。また事業所内でも法解釈など研鑽を重ね各種書類の整備に努めた。

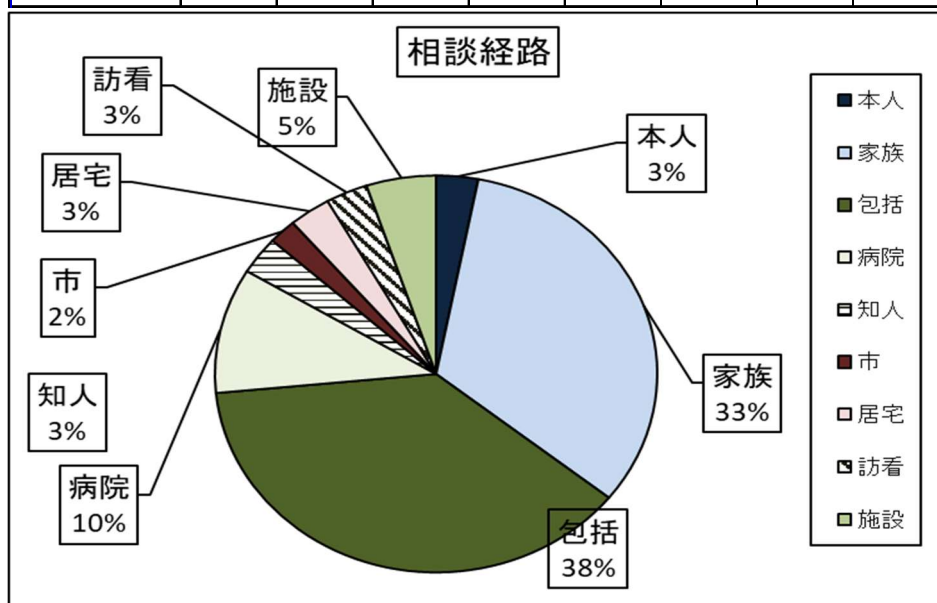
ケース会議を毎週行い、“手間隙惜しまず丁寧に”をモットーに新規ケース、更新・変更ケースについて懇切丁寧な対応に努めた。また複数人対応を心掛け、情報共有が密に行えていることにより、担当不在時にも迅速・丁寧な関りが図れている。新規ケースや困難ケースの事例検討を強化し、担当ケアマネの課題分析力のスキルアップに努めた。毎月の勉強会はもちろん、ケアハウス間の会議やショートステイとの情報共有、また、梅寿荘包括や梅寿荘居宅との合同の研修機会を設け、様々なケースを学ぶ機会を持ち、事例検討を重ね、他者の視点を参考にした多くの学びに努めた。

2・利用状況

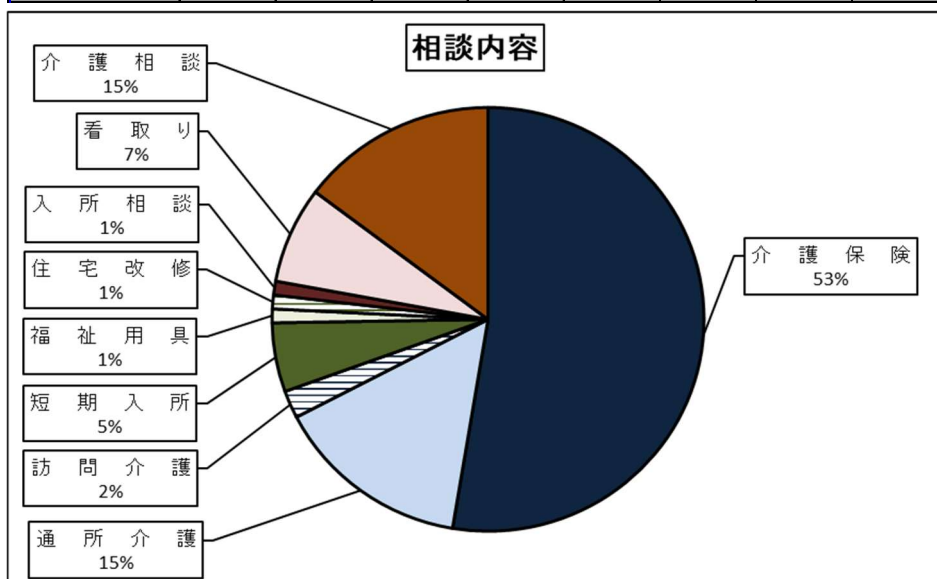
居 宅	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成件数	230	230	239	238	240	237	250	253	255	254	254	240	2,920
予防計画作成数	13	11	15	14	15	12	12	12	9	12	11	10	146
認定調査件数	14	11	8	6	7	5	11	3	3	6	3	12	89

3. 相談件数

	本人	家族	包括	病院	知人	市	居宅	訪看	施設	合計
相談経路	3	32	37	10	3	2	3	3	5	95



	介護保険	通所介護	訪問介護	短期入所	福祉用具	住宅改修	入所相談	看取り	介護相談	合計
相談内容	50	14	2	5	1	1	1	7	14	95



4. 職種別職員構成 (平成31年3月31日現在)

居宅	センター長	事務	ケアマネ	機能訓練	看護師	介護職	栄養士	その他		
常勤	①	①	6							
非常勤			1							

5. 主な研修 特養事業報告に記載。

施設内研修

4月	業務分担、入退院連携について
5月	制度の留意事項、ターミナル支援について事例検討
6月	看取り時のマネージメント
7月	生駒市内特定事業所合同研修、困難ケースの事例検討
8月	複合ケースの事例検討
9月	プライバシー保護、キャンパス生駒について
10月	介護予防・日常生活支援総合事業と自立支援、全体研修(災害時対応)
11月	うつ病の介護者が支える支援の事例検討
12月	利用者満足度調査内容、ケアネットブック及び居宅サービス計画について
1月	住宅改修、認知症の方の意思決定を支える、職業倫理
2月	法人内包括、居宅合同事例検討会
3月	利用者満足度調査結果検討・支援の見直し、軽度者申請について

毎週金曜日にケース会議の開催。視点の確認及び方向性の説明。
毎月のケアハウスとの合同会議の開催。
部署会議を通じての情報交換。

6. 施設の改善・備品購入・修繕等

7. 地域貢献・広報活動

8. 主な寄付

9. ボランティア・招待

10. 実習生・職業体験等の受け入れ

介護支援専門員実務者研修実習生 3/23・3/27・3/29・4/4 4日間 2名。

11. 主な見学者 特養事業報告に記載。

12. 苦情の実情

サービス事業者へのケア内容の改善について、1件。

13. その他、特筆すべき事業内容など

利用者満足度調査をアンケート形式で行った。

この結果を基に更に“手間隙惜しまず丁寧に”を心掛けている。

その他、ショート床の合同清掃。

梅寿荘デイセンター

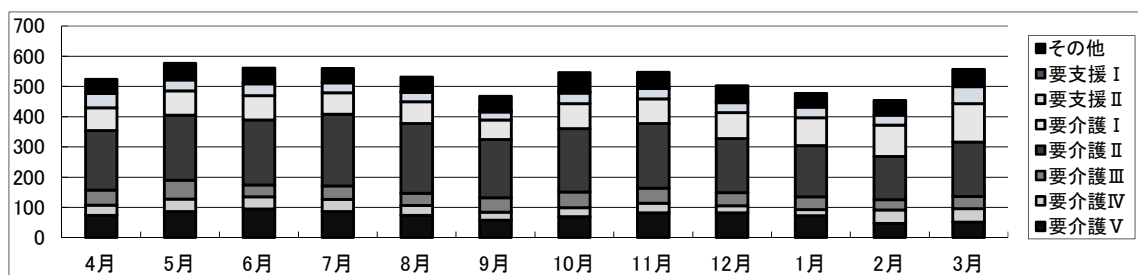
1. 事業の概要

法人理念、介護理念に基づき、また施設方針である「安全、丁寧、自立に向けた介助と思いに添った支援を心がける」を目指して顧客満足に努めました。また、個々の機能訓練計画を作成し個別に対応することで通所介護事業所が期待される介護予防や自立支援、重度者への対応の強化を図りました。法人内の4つのデイセンターでマナー委員会を立ち上げ職員の資質の向上に取り組みました。30年度は要支援者の利用低下等で利用率は昨年度と比べて減少しています。

2. 月利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護Ⅴ	73	86	95	86	73	57	69	82	82	72	47	51	873
要介護Ⅳ	34	41	40	40	33	27	30	32	23	20	44	45	409
要介護Ⅲ	50	63	39	45	41	48	52	49	44	43	34	40	548
要介護Ⅱ	197	215	215	237	231	193	210	215	179	169	143	180	2384
要介護Ⅰ	75	81	81	71	72	64	82	81	86	93	104	127	1017
要支援Ⅱ	48	36	39	33	30	27	35	35	32	35	33	56	439
要支援Ⅰ	0	0	3	3	3	4	4	1	5	0	0	0	23
その他	47	55	49	45	48	48	64	52	52	45	49	58	612
延人数	524	577	561	560	531	468	546	547	503	477	454	557	6305
開所日数	25	27	26	26	27	26	26	26	26	24	24	27	310
平均人数	21	21.4	21.6	21.5	19.7	18	21	21	19.3	19.9	18.9	20.6	20.3

月別合計人数



3. 職員状況

役職	施設長	事務員	相談員	機能訓練指導員	看護師	栄養士	介護士	調理員
正規	1 兼務	1 兼務	2			1 兼務	3	
契約			1 兼務	1			1	
パート					1 兼務		5	4

4. 主な実施年間行事

4月：お花まつり、お花見ツアー 5月：ちょブラ活動

6月：紫陽花観賞、おやつ作り 7月：七夕まつり、夏祭り 8月：おやつ作り

9月：敬老会、乳児保育園児さんとの交流、フルート・マリンバコンサート

10月：運動会、コスモス観賞ドライブ 11月：紅葉観賞ドライブ、おやつ作り

12月：クリスマス会、お餅つき大会、音楽コンサート、乳児保育園児さんとの交流

1月：初詣、おやつ作り、 2月：節分行事

3月：梅観賞ドライブ、お雛祭り

その他：外出支援（買い物、食事）夕食の提供（弁当等）

5. 研修

（1）施設外研修参加状況

5月	経営協セミナー
6月	法人衛生研修、テーマ別研修、介護職員実践者講座
7月	食中毒予防講習会、近畿老人福祉施設大会、法人ステップアップ研修
8月	経営協セミナー、介護実践者講座
9月	医学基礎知識研修講座、認知症介護実践者研修
10月	認知症介護実践者研修、事務職員研修、施設が行うサービスの質向上とは 奈良地域医療と包括ケアを考える会、介護実践者研修、テーマ別研修、全国老人福祉施設研究会議
11月	全国老人福祉施設大会、看護師職能Ⅱ委員会研修会、介護実践者講座、奈良県老施協職員研究会議、感染症研修
12月	奈良県老人福祉施設生活相談員研修
1月	近畿老人福祉施設協議会施設長研修会、苦情解決研修会、経営協セミナー 介護実践者講座
2月	近畿ブロックセミナー、VR 認知症プロジェクト、消費税法改正セミナー、認知症セミナー、介護労働講習（緊急時の介護）、テーマ別研修会、在宅サービス研修会
3月	経営協セミナー、法人基礎研修

（2）施設内研修実施状況

4月	倫理及び法令順守・コンプライアンス	5月	デいの現状、方向性
6月	サービスマインド	7月	身体拘束
8月	認知症ケア1	9月	認知症ケア2
10月	感染症・食中毒研修	11月	個人情報とプライバシー、デイ部門 研修（サービスマナー）
1月	介助の基本動作	2月	リハ研修（高齢者のリハビリ）
3月	リハビリ実施に向けて		

6. 施設の改善、備品購入、修繕等

浴室給湯配管漏水による配管工事及び保育室天井修復工事、施設内ワックスかけ、
公用車修理、桃李館敷地内側溝工事、白灯油地下タンク整備、

7. 地域貢献、広報活動

まほろば幸いネット（レスキュー事業）への参加、公開講座「ひめゆり講座」開講、
RUN伴2018（たすきリレーマラソン）参加、ひめゆりジム開催、
ホームページ、ソーシャルネットワークサービスを利用した適時情報の更新。
地域支援室との連携により地域のサロンへの参加、施設内児童施設との交流。

8. ボランティア

毎週、麻雀、囲碁、将棋ボランティア来所、仲良し会、四葉のクローバー、
グリーンノートさん、ベルリンガーコージ演奏、フルート・マリンバ演奏
ウクライナ民族楽器バンジーナ演奏と歌カテリーナさん

9. 実習生、介護体験受け入れ

法人介護職員初任者研修実習生（5名）

10. 苦情、要望受付対応

苦情1件（ご家族から）

苦情：朝のお迎えが遅くなったことに対して

対応：説明とお詫びをして納得していただいた。

11. その他、特記すべき事業内容など

マイナビ就職説明会（法人説明会）

デイセンター憩の家

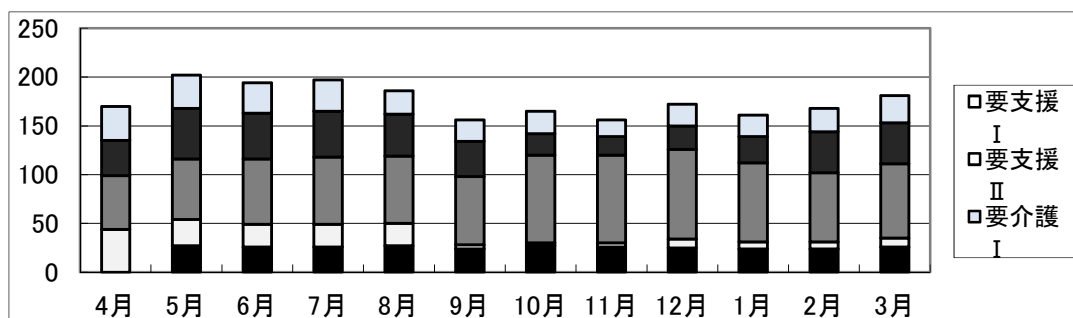
1. 事業の概要

法人理念、介護理念に基づき、また施設方針である「たとえ認知症になったとしても、いつまでも住み慣れた地域の中で馴染みの方々と共に暮らしていけるよう支援する」ことを目指し、日々の援助と家族交流会、運営推進会議等の開催を行いました。ご家族をはじめ地域の方々の多くの参加がありました。法人内の4か所のデイセンターでマナー委員会を立ち上げ職員の資質の向上に取り組みしました。

2. 月別利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護Ⅴ	0	27	26	26	27	24	27	26	25	24	24	26	282
要介護Ⅳ	44	27	23	23	23	4	3	4	9	7	7	9	183
要介護Ⅲ	55	62	67	69	69	70	90	90	92	81	71	76	892
要介護Ⅱ	36	52	47	47	43	36	22	19	24	27	42	42	437
要介護Ⅰ	35	34	31	32	24	22	23	17	22	22	24	28	314
要支援Ⅱ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援Ⅰ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延人数	170	202	194	197	186	156	165	156	172	161	168	181	2108
開所日数	25	27	26	26	27	26	26	26	26	24	24	27	310
平均人数	6.8	7.48	7.46	7.58	6.89	6	6.35	6	6.62	6.71	7	6.7	6.8

月別合計人数



3. 職員状況

役職	施設長	事務員	相談員	機能訓練指導員	介護士	栄養士	調理員
正規	1 兼務	1 兼務	1		1	1 兼務	
パート				2 兼務	4		1

4. 実施された年間行事

4月：お花まつり、お花見週間

5月：運営推進会議

- | | |
|---------------------|-------------|
| 6月：家族交流会茶話会、紫陽花観賞 | 7月：七夕祭り、夏祭り |
| 8月：手作りおやつ | 9月：敬老会 |
| 10月：運動会 | 11月：運営推進会議 |
| 12月：クリスマス会 | 1月：お正月遊び |
| 2月：節分行事、家族交流会（お餅つき） | 3月：春探しツアー |

5. 研修

（1）施設外研修状況

- | | |
|---|------------------------|
| 5月：経営協セミナー | 6月：法人衛生研修、テーマ別研修、 |
| 7月：近畿老人福祉施設大会 | 8月：経営協セミナー 9月：医学基礎知識研修 |
| 10月：事務職員研修、施設が行うサービスの質の向上とは、テーマ別研修
全国老人福祉施設研究会議、奈良地域医療と包括ケアを考える会 | |
| 11月：全国老人福祉施設大会、奈良県老協職員研究会議 | |
| 12月：奈良県老人福祉施設生活相談員研修 1月：苦情解決研修会、経営協セミナー | |
| 2月：近畿ブロックセミナー、VR 認知症プロジェクト、消費税法改正セミナー | |
| 3月：経営協セミナー | |

（2）施設内研修

- | | |
|----------------------|------------------------------------|
| 4月：倫理及び法令順守・コンプライアンス | 5月：デイの現状・方向性 |
| 6月：サービスマインド | 7月：身体拘束 |
| 8月：認知症ケア（1） | 9月：認知症ケア（2） |
| 10月：感染症・食中毒 | 11月：個人情報とプライバシー
デイ部門研修（サービスマナー） |
| 1月：介護の基本動作 | 2月：リハ研修（高齢者のリハ） |
| 3月：リハビリ実施に向けて | |

6. 施設の改善、備品購入、修繕等

各公用車の整備、施設内ワックスかけ、花壇・畑の整備

7. 地域貢献、広報活動

まほろば幸いネット（レスキュー事業）への参加、公開講座「ひめゆり講座」開講
RUN 伴 2018（たすきリレーマラソン）参加、ひめゆりジム開催、サロンへの参加
ホームページ、ソーシャルネットワークサービスを利用した適時情報の更新

8. 苦情、要望受付：苦情、要望については0件でした

マイナビ就職説明会

9. その他、特記すべき事業内容など：介護者家族の会参加（法人就職説明会）

デイセンター寿楽

1. 事業概要

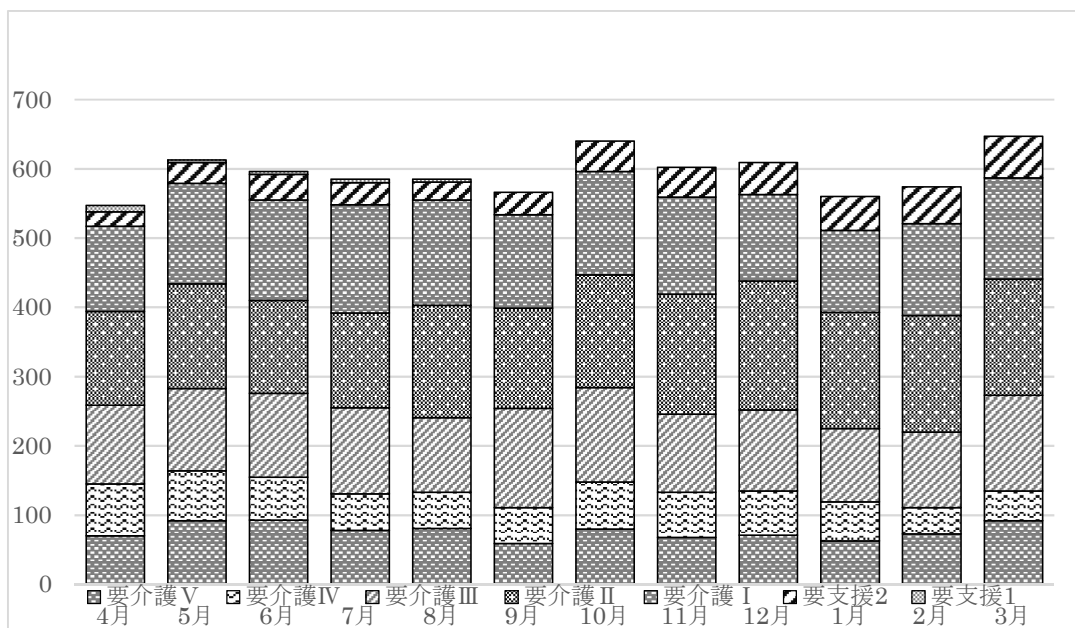
利用者一人ひとりを意識し、丁寧でゆったりとしたサービス提供を心掛けサービス提供に努め、居宅支援事業所との連携や家族との連携にも努め、利用者の要望にも柔軟な対応、医療的ニーズのある利用者の受入れを行った。

時間の合間には、簡単な脳トレやプランターによる園芸、個別での買い物などを実施し、利用者の選択肢を増やすようにした。

生活相談員を中心に居宅支援事業所への定期的な訪問も継続することで、介護支援専門員との関係性の強化にも努めた。また、初めての試みとして、市内の通所介護事業所での合同施設内研修を実施した。

2. 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護Ⅴ	70	92	93	78	81	59	80	68	71	63	73	92	920
要介護Ⅳ	75	72	62	53	52	52	68	65	64	56	38	43	700
要介護Ⅲ	114	119	121	124	108	143	136	113	117	106	109	138	1,448
要介護Ⅱ	135	151	134	137	162	145	163	173	186	168	168	168	1,890
要介護Ⅰ	123	145	145	156	152	135	149	140	125	118	133	146	1,667
要支援Ⅱ	21	30	37	32	26	32	44	43	46	49	53	60	473
要支援Ⅰ	9	4	4	5	4	0	0	0	0	0	0	0	26
延人数	547	613	596	585	585	566	640	602	609	560	574	647	7,124
平均	21.9	22.7	22.9	22.5	21.7	22.6	23.7	23.2	24.4	23.3	23.9	24.9	23.1
開所日	25	27	26	26	27	25	27	26	25	24	24	26	308



3. 職種別職員構成

平成 31 年 3 月 31 日現在

	センター長	事務	相談員	介護職	看護職	機能訓練	栄養士	調理員
基準	1		1.2	5	1.2			
常勤	1	1	2					
非常勤					③	③	1	3
現員合計								

4. 主な年間実施行事

4 月	花見	10 月	運動会・秋の行楽
5 月	避難訓練・BBQ	11 月	秋祭り
6 月	紫陽花鑑賞	12 月	クリスマス会・餅つき
7 月	昼食試食会	1 月	防災訓練
8 月	夏祭り・流し素麺	2 月	節分
9 月	敬老会	3 月	ひな祭り・観梅

5. 研修

(1) 施設外

5 月	福祉サービスマナー研修・経営協セミナー
6 月	報酬月額算定基礎届等事務説明会
7 月	近畿老人福祉施設研究協議会・食中毒予防と食品表示について
9 月	認知症介護実践者研修・法人主任研修
10 月	県老施協事務職員研修・全国老人福祉施設研究会議・法人主任研修
11 月	奈良県老人福祉施設職員研究会議・全国老人福祉施設大会・法人主任研修
1 月	近畿老人福祉施設協議会施設長研修会
2 月	近畿ブロックセミナー・マナー別研修会・在宅サービス研修会
3 月	経営協セミナー

(2) 施設内 コンプライアンス、排泄、嚥下・摂食、排泄、感染症対策

6. 施設の改善、備品購入、修繕等

送迎車 1 台購入・車いす 3 台購入・浴室換気扇の修理など

7. 地域貢献・広報活動

ひめゆり講座・RUN 伴に参加。近隣自治会、老人会、子供会に案内し、秋祭りを開催するとともに、梅寿荘地域包括支援センターの協力を得て、介護相談コーナーを設ける。

SNS や定期的な機関誌の発行、行事や情報の発信に努めた。

8. ボランティア

生駒山麓ハーモニカ・手話サークルカンナ・にこにこ会・ナネア・フラサークル

9. 実習生・体験等の受入れ

教員免許取得に係る介護等体験

10. 苦情

特になし。

11. その他、特筆すべき事業内容など

事業所パンフレットを刷新し、各居宅支援事業所に配布した。

利用者は増加傾向であったが、特に短時間の利用者と医療的ニーズの高い利用者の増加が多い。

はあとぽーと梅寿荘

1. 事業の概要

住み慣れた我が家で安心して暮らし続けるように信頼と絆を大切に、利用者に寄り添いながら訪問活動を行なった。

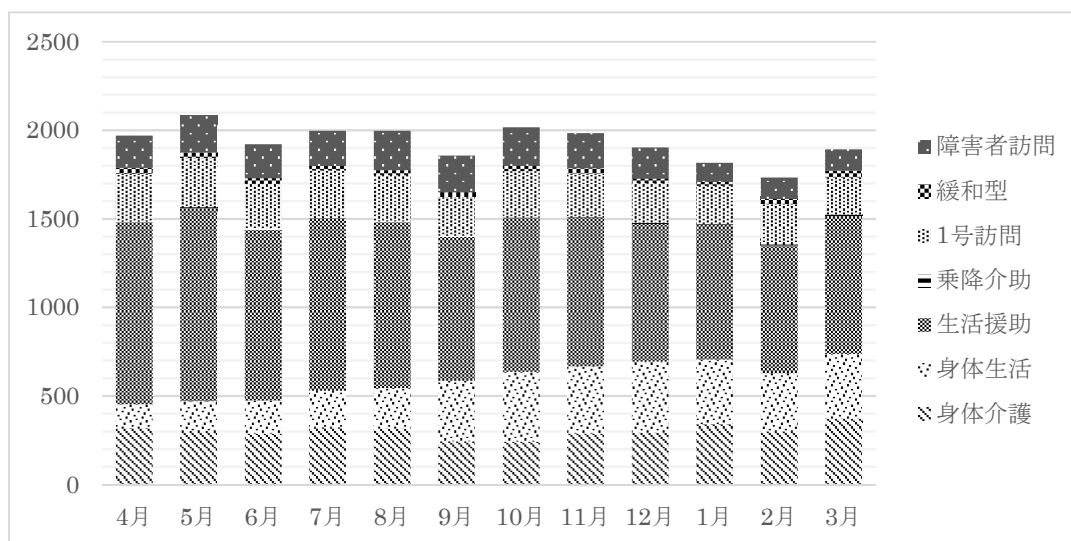
担当ケアマネジャーとサービス提供責任者との連携を深め、連絡体制を見直した。利用者情報に変化があれば、速やかに伝達し連絡ノートの記入などを行い、情報共有をし、きめ細かいサービスの提供を行った。また、毎月の研修での報告書を活用して、介護技術や知識を深め、ヘルパーの意識向上に努めた。在宅での看取りの増加に伴いターミナルケアの研修を実施して、見取りについてのケア内容を再確認した。

ミーティングでは、ヒヤリハット事例や、利用者の情報を共有して、職員間のコミュニケーションを十分に深め、チーム力を高めて利用者の自立した在宅生活が継続できるように支援した。

2. 月別実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	317	301	286	322	316	244	241	287	292	340	299	370	3,615
身体生活	135	168	189	207	228	340	394	379	402	366	330	367	3,505
生活援助	1,026	1,092	966	970	935	815	866	838	777	761	723	782	10,551
乗降介助	5	4	5	4	6	5	6	4	4	4	3	3	53
1号訪問	270	277	251	269	260	224	261	247	225	215	231	211	2,941
緩和型	33	35	31	26	29	22	29	30	27	21	28	37	348
障害者訪問	183	204	192	199	223	206	219	197	176	109	118	122	2,148
派遣回数	1,969	2,081	1,920	1,997	1,997	1,856	2,016	1,982	1,903	1,816	1,732	1,892	23,161

月別実績



3. 職種別職員構成 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

	センター長	事務員	主任	副主任	サービス 提供責任者	ヘルパー
常勤	(1)	(1)	1	1	4	6 (2)
非常勤		1				3 2 (1)

() 内は兼務者

4. 主な研修

月	研 修 内 容
4	職業倫理について
5	プライバシーの保護・接遇についての研修
6	事故防止・事故再発防止のための研修
7	コミュニケーションの基本・メンタルヘルスについて (はあとぽーと延寿と合同) 近畿老人福祉施設研究協議会・ヘルスカウンセラーによる勉強会
8	食中毒の予防・交通安全講習
9	救命救急・AEDの使用方法について・ヘルスカウンセラーによる勉強会
10	調理実習 奈良県発達障がい虐待防止・権利擁護研修
11	全国老人福祉施設職員研究会議 社会福祉法人生駒福祉会「かざぐるま」活動報告・障がい理解について モチベーション向上研修
12	ターミナルケアについての研修
1	介護技術 (身体介護・生活支援の方法)・苦情解決研修会 サービス提供責任者研修・メンター制度についての研修
2	認知症について 生駒市認知症に関する多職種連携研修会 生駒市地域リハビリテーション活動支援事業
3	利用者の事例検討・精神障がい者ホームヘルパーフォローアップ研修

5. 実習生受け入れ状況

7 月 24 日~7 月 26 日 青丹学園 1 名
10 月 19 日~10 月 25 日 初任者研修 5 名 (宝山寺福祉事業団)

6. 苦情受付状況

苦情受付件数 2 件
・職員の態度、言動について 1 件
・訪問時の公用車の駐車位置について 1 件

7. その他

・サービス提供責任者会議 月 2 回 ・ミーティング 週 1 回
・梅寿荘定例会議に参加 ・9 月、3 月駐車許可証の申請

梅寿荘居宅介護支援事業所

1. 事業の概要

医療・介護の連携強化を行うために、生駒市入退院調整マニュアルを活用し、利用者の入院時には速やかに情報提供を行い在宅療養に向けて連携を図った。また、末期の悪性腫瘍のケースも積極的に受け入れ、短期間でも安心して在宅療養が出来るよう医療・福祉と連携し支援を行った。

事業所で困難ケースの事例検討会を行い、課題分析や支援の方向性を検討し、自立支援・重度化防止や地域の資源を活用したケアプラン作成に取り組んだ。また、課題を抱えたケースには、主任ケアマネと一緒に関わることで多様な視点に気づき、問題解決・人材育成に取り組んだ。

相談が入れば迅速かつ丁寧な対応を心掛け、地域から信頼される事業所となるよう努めた。

2. 居宅介護・予防介護支援サービス費請求件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅介護	234	231	224	221	217	215	214	214	215	213	218	213	2629
予防介護	7	7	8	9	8	8	8	8	8	8	8	9	96

3. 介護認定訪問調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
調査件数	11	11	8	12	11	5	4	4	7	8	7	13	101

4. 主な研修・行事

(施設外)

4月	・生駒市居宅介護支援事業者協会総会 ・滝寺花祭り
5月	・県地域包括、在宅介護支援センター協議会研修 ・県介護支協会社員研修会 ・憩の家運営推進会議
6月	・報酬月額算定基礎届等事務説明会
7月	・生駒市居宅介護支援事業者協会研修 ・H30 年度近畿老人福祉施設研究協議会奈良大会
8月	・経営協セミナー
9月	・地域包括支援センター介護予防部会

10 月	・地域包括ケアマネ勉強会 ・県老協事務職員研修
11 月	・第 31 回奈良県老人福祉施設職員研究会議 ・阪奈中央病院ケアマネジャーフォーラム ・生駒市居宅介護支援事業者研修 ・白庭病院介護支援専門員勉強会 ・憩の家運営推進会議
12 月	・生駒市入退院調整マニュアル①合同会議
1 月	・法人研修発表会 ・法人年頭連絡会 ・奈良県経営協セミナー ・奈良県介護認定審査会委員研修
2 月	・生駒市居宅介護支援事業者協会研修 ・生駒市実地指導 ・生駒市入退院調整マニュアル②合同会議 ・奈良県地域包括、在宅介護支援センター協議会職員研究会議 ・看取りに関する多職種連携研修会
3 月	・リハビリデイサービスいおり運営推進会議 ・梅寿包括、延寿居宅合同会議

(施設内 概ね週 1 回開催)

高齢者虐待、医療との連携、認知症の理解、介護予防・総合事業、困難事例検討会、情報共有、新施設の見学

5. 職員状況

	センター長	主任介護支援専門員	介護支援専門員	事務員
常 勤 職 員	1	3	4 (1)	(1)
非 常 勤 職 員				

() 内は兼務者

6. 施設整備、備品購入、修繕

- (1) 随時公用車点検、修理
- (2) 桃李館前側溝改修工事

7. 地域貢献活動・他事業、地域との連携

- (1) 地域のサロン、運営推進会議に参加しネットワーク作り
- (2) ひめゆり講座開催、広報活動
- (3) RUNTOMO2018 (認知症啓発たすきリレーマラソン) 参加
- (4) 他施設夏祭りボランティア参加

8. 苦情等の受付状況

苦情受付件数 0

9. その他

健康診断、インフルエンザ予防接種の実施

梅寿荘在宅介護支援センター

1. 事業の概要

(1) 介護職員初任者研修養成講座

第34期介護職員初任者研修を5名の受講生で5月12日に開講しました。5名全員が評価ラインを超え11月10日に終了されています。
毎年受講生が減少していますが、広報方法の検討を行い引き続き次年度に向けて事業を進めて行きます。

(2) 地域支援室

総合事業の一環としてサロンの支援取組から始まり、今では五つのクラブ活動（健康麻雀・詩吟・俳句・はがき絵・いきいき百歳体操）に発展し、日常的なコミュニケーション、地域力の支援に繋がっています。ミュージックボランティアグループ、作品制作等で地域の住民の交流場としての役割を担っています。

- ① サロン・クラブ活動 年間参加人数 1,132名
- ② 競技かるた 年間参加人数 333名

(3) ひめゆりジム

閉じこもり、筋力低下、認知症予防を目的に筋力トレーニング、コグニサイズ、サロンの要素も含めて始めた、ひめゆりジムは3年目が過ぎた現在20名の方が登録されています。

毎月、第2・第4日曜日（月1回の場合もあり）14:00～16:00 送迎あり

利用料実費 1回500円

「月別利用人数」

4月:15名 5月:34名 6月:36名 7月:32名 8月:17名

9月:16名 10月:34名 11月:30名 12月:17名 1月:18名

2月:32名 3月:16名

「年間利用人数」 297名

ひめゆりジム対応職員

職種	作業療法士	介護予防トレーナー	生活相談員	介護職員	看護師（他事業所）
正規		1兼務	1兼務		
パート	1兼務	1兼務		1兼務	1

※看護師は他事業所の訪問看護師で事業協力での参加です。

生駒市梅寿荘地域包括支援センター

1. 事業の概要

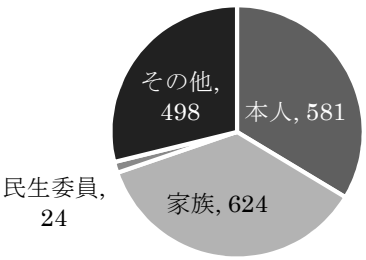
生駒市では平成27年度から総合事業がスタートし、介護予防、生活支援サービスのメニューが整い、生駒市独自の事業が円滑に展開するよう取り組みを進めてきた。今年度はその多種多様な取り組みの中から見えてきた課題を丁寧に埋めていくよう努めた。多職種が連携して開催される地域ケア会議から抽出された課題である住民主体の通いの場創設については、自治会や地域の集まりに多く出向き地域のニーズを集め支援を行った。また実態把握では家庭訪問を行い個別ニーズから見えてきた様々な地域課題をセンター内で検討した。認知症の人や家族の支援では、早期発見や理解について地域住民や小学校での啓発活動を実施した。あずさ交流ホールでの認知症カフェでは、家族間の交流や相談、他地域でのカフェ開催への支援を継続している。包括的・継続的ケアマネジメント業務では、介護支援専門員への虐待・支援困難ケースの支援が昨年度から件数が倍になり、内容も高齢者単独の問題から家族問題、経済的問題と複雑化している。職員は専門性を生かし多岐にわたる対応が可能になるよう研修等で研鑽を積み、市内のセンターと協働してケアマネハンドブックや事例の見える化集を作成、さらに認知症症状別対応マニュアルの作成を目指している。

2. 総合相談支援・権利擁護業務

(1) 総合相談年間相談件数

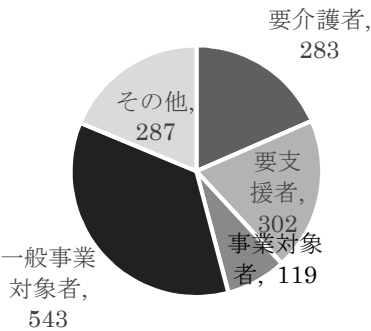
相談形態				相談者				対象者状況				
電話	来所	訪問	その他	本人	家族	民生委員	医療・行政その他	要介護者	要支援者	事業対象者	一般事業対象者	その他
1015	129	325	23	581	624	24	498	283	302	119	543	287

相談者



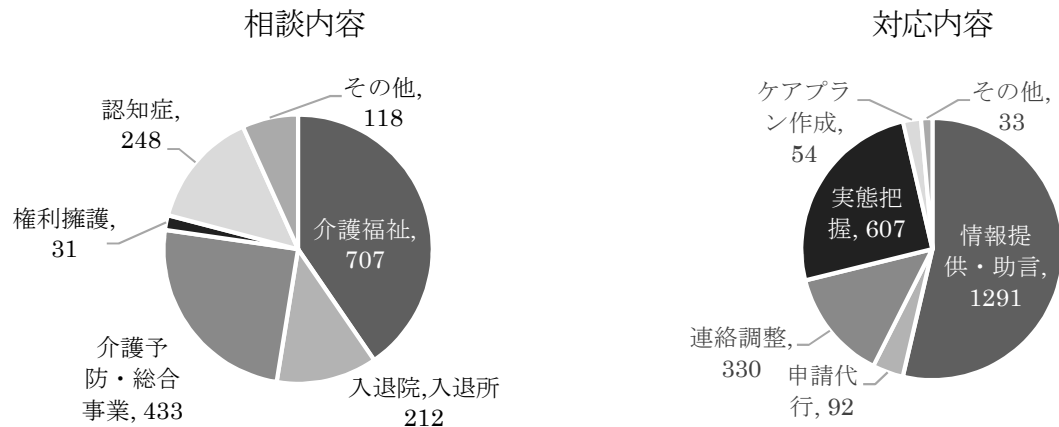
※その他…住民 病院 ケアマネ等

対象者状況



※その他…申請中 入院中 高齢者以外等

相談内容						対応内容					
介護・福祉	入院退院 入所退所	介護予防 総合事業	権利擁護 高齢者虐待	認知症	その他	助言・ 情報提供	申請代行	連絡調整	実態把握	プラン作成	その他
707	212	433	31	248	118	1291	92	330	607	54	33



(2) 介護予防生活支援体制整備 高齢者の居場所の拡充

サロン、いきいき百歳体操等立ち上げ 7 件

(3) 生活機能評価未返送者実態把握訪問 1 1 7 件

3. 包括的・継続的ケアマネジメント業務（介護支援専門員への支援等）

(1) 個別支援

サービス担当者会議への参加・開催支援 2 6 回

虐待・支援困難事例への支援・ケアマネジメント指導 1 9 9 回

個別相談・情報支援 2 8 7 回

(2) 集団支援（研修会やネットワーク構築等）

ケアマネ研修会 7 回

主任介護支援専門員部会（ケアマネハンドブック改訂） 7 回

(3) 生活支援サービスコーディネート・実態把握

行方不明高齢者検索ネットワークシステム利用候補者支援 5 0 件

4. 介護予防マネジメント業務

(1) 介護予防ケアプラン作成件数（うち居宅支援事業所への委託件数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
予防 給付	75 (18)	73 (19)	74 (18)	74 (18)	59 (9)	66 (17)	69 (17)	70 (14)	68 (14)	69 (15)	65 (13)	65 (13)
総合 事業	127 (17)	117 (16)	122 (17)	110 (16)	98 (11)	107 (15)	105 (14)	103 (14)	109 (14)	106 (11)	102 (11)	104 (11)
合計	202 (35)	190 (35)	196 (35)	184 (34)	157 (20)	173 (32)	174 (31)	173 (28)	177 (28)	175 (26)	167 (24)	169 (24)

5. 主な年間行事

(1) 地域ケア会議・部会(権利擁護、介護予防、医療介護・多職種連携)	70回
(2) 出張相談・出前講座	6回
(3) 介護予防教室	13回
(4) 認知症サポーター養成講座	7回
(5) 徘徊高齢者模擬訓練開催	1回
(6) グループホーム・小規模多機能運営推進会議参加	11回

6. 職種別職員構成

職種	センター長	事務員	看護師	社会福祉士	主任介護 支援専門員	介護支援専門員
正規	1	1 (兼務)	2 (兼務1)	(兼務1)	2	3 (兼務1)
非常勤						1

7. 主な研修

月	研 修 内 容
5	奈良県地域包括・在宅介護支援センター協議会第1回トップセミナー・職員研究会 奈良県社会福祉法人経営セミナー
6	地域包括支援センター職員基礎研修 (6、7月)
7	近畿社会福祉法人経営者協議会全体研修会 奈良県社会福祉法人経営者協議会青年経営者会オープンセミナー 近畿老人福祉施設研究協議会奈良大会 生駒市居宅介護支援事業者協会研修会 奈良県経営協セミナー
8	奈良県地域包括支援センター新任職員等研修 近畿ブロック社会福祉法人経営研究会セミナー 奈良県経営協セミナー (前期) 認知症地域支援推進員研修
9	奈良県社会福祉法人経営者協議会青年経営者会・和歌山県民間社会福祉施設経営者協議会青年部会 合同研修会 奈良県介護支援専門員更新研修 (9～2月)
10	認知症に関する多職種連携研修会 (10、11月) 全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会
11	奈良県老人福祉施設職員研究会 生駒市市民フォーラム 奈良県老人福祉施設協議会第8回オープンセミナー 全国老人福祉施設大会北九州大会 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務研修 市民公開健康講座

1 2	近畿ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会兵庫セミナー 地域包括支援センター職員課題別研修 やまと精神医療センター研修会
1	福祉サービス苦情解決研修会 奈良県経営協セミナー 奈良県キャラバンメイト・フォローアップ研修
2	全国地域包括・在宅介護支援センター研修会 認知症初期集中支援チーム・認知症地域支援推進員フォローアップ研修 若年性認知症フォーラム 近畿社会福祉法人経営者協議会近畿ブロックセミナー 奈良県地域包括・在宅介護支援センター協議会第2回トップセミナー・職員研究会 会議 看取りに関する多職種連携研修会
3	奈良県社会福祉法人経営セミナー 若年性認知症支援に係る対応力向上研修

8. 地域貢献・ボランティア支援（総合支援センターあずさ交流ホール）

- (1) 高齢者地域型体操教室・西旭ヶ丘自治会「のびのび教室」
- (2) 「らくらく体操」サロン、ちょボラねっといこま手芸サロン
- (3) 認知症カフェ「ちょボラカフェあずさ」
- (4) 認知症啓発活動「RUN 伴」参加
- (5) ひめゆり講座

9. 苦情等の受付状況

苦情受付件数 0件

10. その他

- (1) 生駒市より認知症地域支援・ケア向上推進事業を受託、認知症地域支援推進員を配置
- (2) 生駒市高齢者虐待ネットワーク連絡会参加
- (3) 中地区健康まちづくり協